■このたびは、
CP150/130をお買い求め頂き、
ありがとうございます。
本機の性能を十分に発揮していただくために、必ず本取扱説明書をよくお読み下さい。また、読み終った後も大切に保管し、わからないことが出てきた時にご利用下さい。

KAWAI

Concert Performer

CP150/130

取扱説明書





SOUND RETRIEVAL SYSTEM

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。表示と意味は次のようになっています
製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。



注意
感電の危険あり
本体をあけるな



注意：火災や感電防止のため、本体を雨や湿気の多いところに、さらさないで下さい。


このマークは、感電の危険があることを警告しています。


このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。


警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。


注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

絵表示の例


△記号は注意（用心してほしい）を促す内容があることを告げるものです。
左図の場合は「指を挟まないよう注意」が描かれています。


○記号は禁止（行ってはいけない）の行為であることを告げるものです。
左図の場合は「分解禁止」が描かれています。

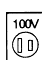

●記号は強制（必ず実行してほしい）したり、指示する内容があることを告げるものです。
左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

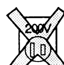


警告

◆電源は、必ずAC100Vを使う


100V以外禁止

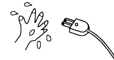




●電圧の異なる電源を使用しないで下さい。
●発火の恐れがあります。

◆水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない


濡れた手で触らない



●感電の原因になります。

◆本機を落とさない


落とさない



●運搬の際は、必ず2人以上で運んで下さい。

◆イスは次のように使用しない

●イスで遊んだり、踏み台にしない
●イスには2人以上で座らない
●イスの高さ調節は、イスから降りて行う（調節機能付きの場合）
●イス組立時、ネジをしっかり締める


使用しない

●イスが倒れたり、指をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。

◆ヘッドホンは、大音量で長時間使用しない

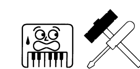

長時間使用禁止



●聴力低下の原因になる恐れがあります。

◆本機を分解、修理、改造しない

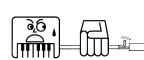

分解禁止



●故障、感電、ショートの原因になります。

◆電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く


プラグ部分を持つ



●コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

◆長時間ご使用しない時は必ず電源プラグを抜く


プラグを抜く

●落雷時に火災の原因になります。

⚠ 注意

◆本機を次のような所では使用しない

●窓際など直射日光の当たる場所
●暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
●戸外など極端に温度の低い場所
●極端に湿度の高い場所
●砂やホコリの多い場所
●振動の多い場所

使用禁止 

●故障の原因になります。

◆鍵盤蓋は、ゆっくりしめる

ゆっくりしめる  

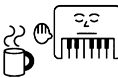
●いきおいよくしめると、指をはさみ、けがの原因になります。

◆コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う

電源を切る  

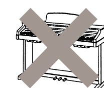
●本機や接続機器の故障の原因になります。

◆本機の内部に異物を入れないようにする

異物を入れない  

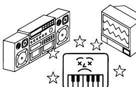
●水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

◆本機の鍵盤にもたれない

もたれない  

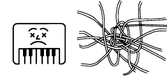
●本体が倒れる恐れがあり、けがの原因になります。

◆テレビやラジオ等の電気機器の側に置かない

他電気機器から離す  

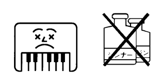
●本機が雑音を発する恐れがあります。
●本機が雑音を発したら、他の電気機器から十分に離すか、他のコンセントをご利用下さい。

◆電源コード、接続コード類はからまないように接続する

からまないようにする  

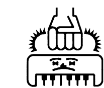
●コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

◆ベンジンやシンナーで本機を拭かない

ベンジン／シンナー禁止  

●色落ちや、変形の原因になります。
●清掃するときは、柔らかい布をぬるま湯につけて、よく絞ってから拭いて下さい。

◆本機の上に乗ったり、圧力を加えない

上に乗らない  

●変形したり、倒れる恐れがあり、故障や、けがの原因になります。

●ヘッドホン使用時、または音量下げて演奏の際は、構造上打鍵音（メカニズム音）が若干聞こえますが異常ではありません。ご了承ください。

■保証書について

●本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行って下さい。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。

●保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管下さい。

■修理について

●万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡下さい。

【目　次】

■はじめに

この度は、デジタルピアノ「CP150/130」をお買い上げいただきましてありがとうございます。

本機の主な仕様

◆サウンド（音色）

◇音色

全295音色を内蔵しています。（Page...136参照）
これらの音色は、15個のカテゴリーに分けられており、各カテゴリー毎にバリエーションが用意されています。

◇エフェクト（効果）

19種類のエフェクト、4種類のコーラス、7種類のリバーブ、3-Dエフェクトを内蔵しています。（Page...47参照）
各内蔵音色には、工場出荷時にあらかじめエフェクトとコーラスのオン/オフと種々のデプスがセットされており、これらのエフェクトの種類やかかり具合を変更することができます。

◇ユーザーサウンド（Page...54参照）

内蔵音色に変更を加えて、オリジナルの音色を作成することができます。
作成したオリジナル音色（ユーザーサウンド）はUSERボタンおよびディスクに保存することができます。

◆スタイル（伴奏）

◇内蔵スタイル

スタイルは、DRUM/BASS/ACC1～4の6つのパートより構成されている演奏パターンです。
全128のスタイル（演奏パターン）を内蔵しています。（Page...138参照）各スタイルは、4つの演奏バリエーション,4つのフィルイン,イントロ,エンディングで構成されています。

◇ACC（自動伴奏）（Page...34参照）

上で6つのスタイルパートの内ドラム以外の伴奏パートをACC（アカンパニメント）といいます。
スタイル演奏時に、ACCボタンをオンにすれば6つ全てのパートが演奏されます。このとき同時に鍵盤は2つに分割され低音側の鍵盤でコードを変更できます。（コード検出がFull Keyboardの時は、全鍵でコード変更できます。）

◇コンダクター（Page...56参照）

内蔵スタイルを簡単に好みに応じてアレンジすることができます。
EASY EDIT（イージーエディット）で各パートのオン/オフとフレーズの組合せ変更、ADVANCED EDIT（アドバンストエディット）で、各パート毎の音色、パン、ボリューム、エフェクト、グルーヴ（微妙なノリ）の設定ができます。

◇ユーザースタイル（Page...83参照）

コンダクターとは別に1からオリジナルスタイルを作成することができます。
アドバンストレコーダーでのスタイルメーカーで説明します。

◆ ソング（Page...40参照）

本機のレコーダーで録音したり外部のディスクから読み込んだりする演奏データがソングです。
制作したソングは、本体内に保存することができませんので、ディスクに保存します。

◆ コンサートマジック（Page...15参照）

鍵盤を押す度に曲の再生を進めていく機能です。誰にでも（高度な曲が弾けない人でも）鍵盤を使って演奏を楽しむことができます。

◆ ソングスタイリスト（Page...18参照）

一般によく知られている名曲を演奏するのに最適なパネル設定（レジストレーション）を400曲分内蔵しています。
ソングスタイリストでは、それらのレジストレーションを曲名を選ぶだけで簡単に呼び出すことができます。
面倒な音色やスタイル、テンポの設定無しに直ぐに演奏ができます。

◆ レジストレーション（Page...99参照）

レジストレーション（サウンド / スタイルに関するパネル設定）を本体に 80 種類記憶できます。
これらは 10 のレジストレーショングループに分けられており、各グループは、パネル上の 8 つのボタンに対応する 8 つのレジストレーションから構成されています。

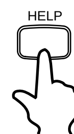
◆ レコーダー（Page...37参照）

音色とスタイルに合わせて弾いた自分の演奏（ソング）を録音することができます。
16 トラックに加えテンポ / スタイル / コードトラックによる本格的な音楽制作も可能です。
録音した曲は、電源を切れば消えてしまいますので、必要ならばディスクに保存しておいてください。

◆ ディスク（Page...102参照）

本機は、ディスクドライブを搭載しています。
サウンド / スタイル / レジストレーション / ソングに関する設定をディスクに保存することができます。
また、ソングディスクを読み込んで演奏させることもできます。

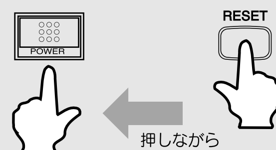
◆ HELP（ヘルプ）ボタン



43 項目にわたり、本機に関する説明を載せています。
分からない事があれば、HELP ボタンを押して解説を見ることができます。

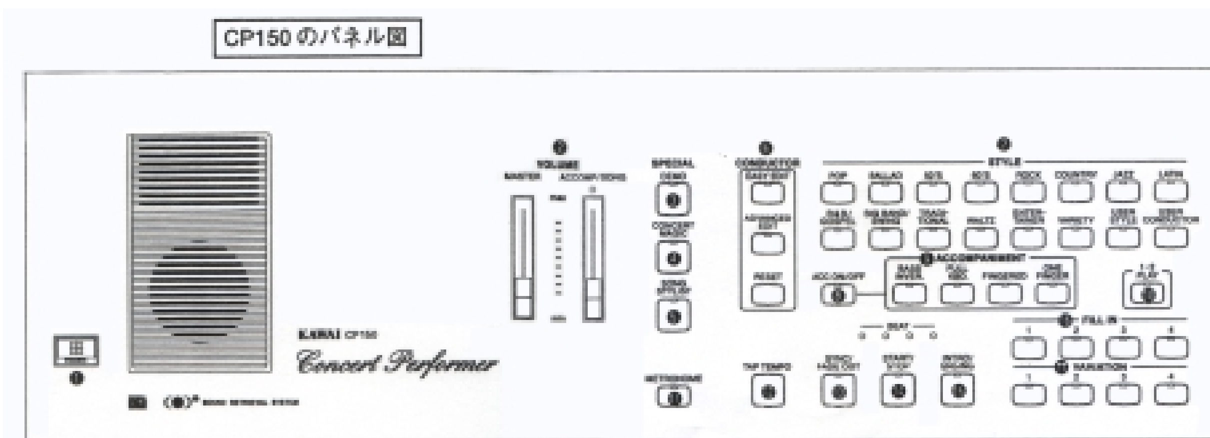
◆ ファクトリー リセット

CONDUCTOR の RESET ボタンを押しながら、電源を入れます。
スタイルや音色に関するユーザーメモリーは、全て消去され、他の様々な設定を工場出荷時の状態へ戻します。



■各部の名称と働き

◆ フロントパネル

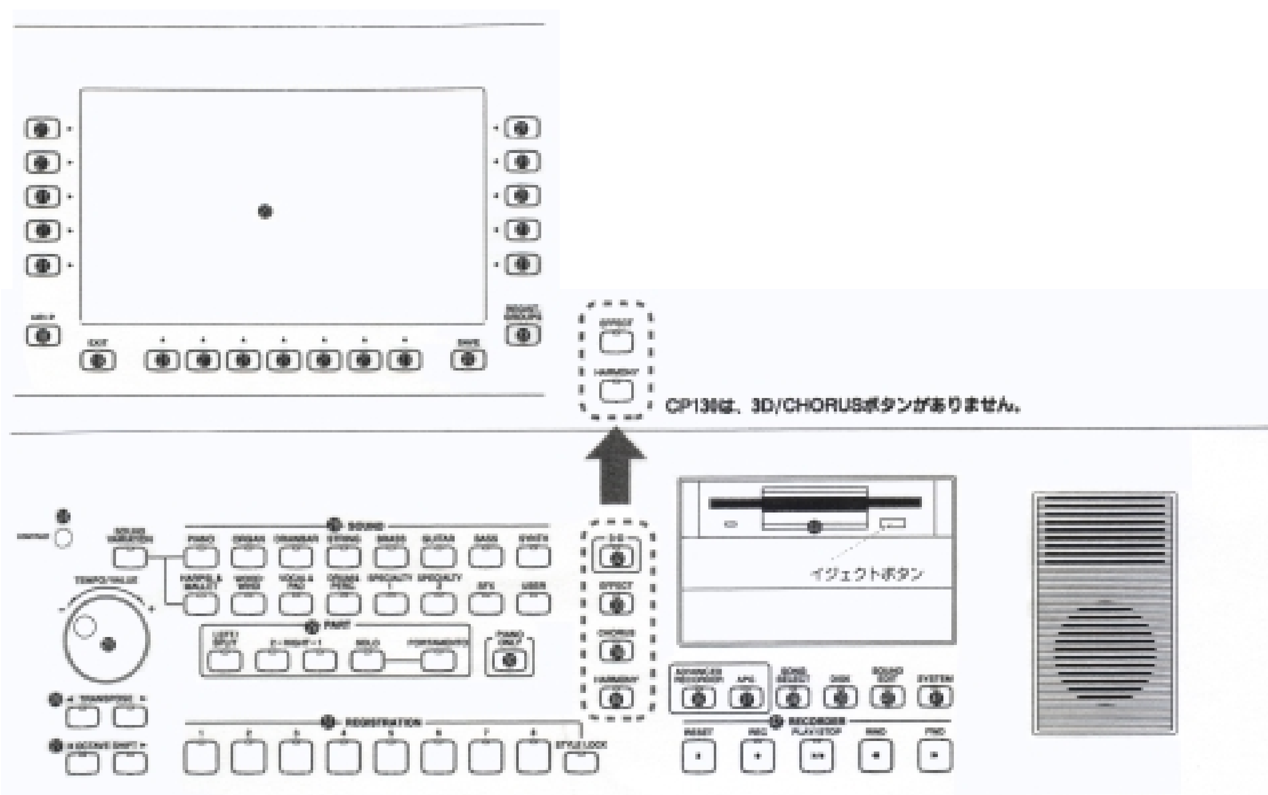


(1) POWER (パワー)<Page 13 参照
電源のオン / オフを行います。
(2) VOLUME(ボリューム)
・MASTER(ボリューム)<Page...13 参照 >
内蔵スピーカーやヘッドホンから出力される音量を調整しまず。
max 側にいくほど音量が大きくなり、min 側にいくほど音量が小さくなります。
・ACCOMP/SONG(アカンパニメントノソング)<Page...32 参照 >
伴奏(ACC)/ 曲(ソング)の音量を調節しまず。
(3) DEMO(デモ)<Page…13 参照 >
デモ曲を選択演奏します。
(4) CONCERTMAGIC(コンサートマジック)<Page…15 参照 >
コンサートマジックのオン / オフをします。
コンサートマジックとは、鍵盤を押す度に曲の再生を進めて行く機能です。
(5) SONGSTYRIST(ソングスタイリスト)<Page…18 参照 >
内蔵している数多くの名曲の演奏設定(レジストレーション)を呼び出します。
(6) CONDUCTOR(コンダクター)<Page_56 参照 >
内蔵されている伴奏(スタイル)に簡単な変更を加えることができます。
・EASYEDIT(イージーエディット)<Page...56 参照 >
スタイルパート毎に対するフレーズの組合せに変更を加えます。
エディットした内容は、内蔵スタイル上に保存します。
・ADVANCEDEDIT(アドバンストエディット)<Page...57 参照 >
イージーエディットでの設定に加えて、音色 / パン / ボリュームの設定、また
グルーヴ / リバーブレベル / コーラスレベルの設定ができます。
エディットした内容は、USERCONDUCTOR(ユーザーコンダクター)として
保存します。
・RESE ▼(リセット)〈Page...56 参照 >
スタイルコンダクターでのエディット内容を前の状態に戻します。
(7) STYLE(スタイ ' レ)<Page…30 参照 >
128 の内蔵スタイルを選択します。
カテゴリー(グルーブ)ごとにボタンが用意されており、押すとディスプレイ
にそのグループに含まれる曲目が表示されます。
(8) ACC ON/OFF(アカンパニ . メントオンノオフ)〈Page…34 参照 >
自動伴奏のオン / オフを行います。
オンの時スタイルのドラム以外のパートも演奏されます。
また、自動的に鍵盤はスプリット状態となります。



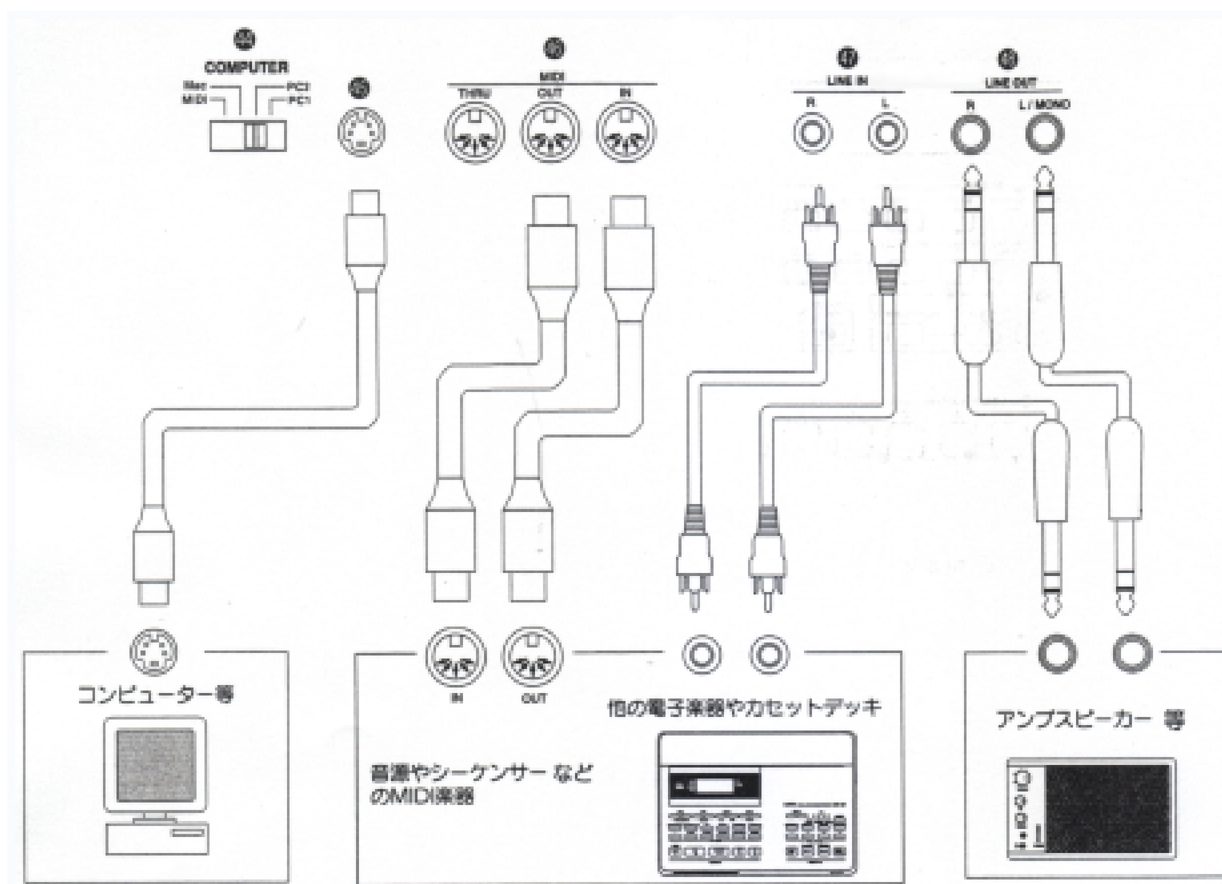
SRS および SRS 記号は、米国および一部諸外国における
SRS Labs,lnc 社のライセンスによるもので、米国特許番
号第 4、748、669 号および第 4,841,5 ワ 2 号と、多数の追
加発行および出願中の外国特許により保護されています。
本製品の購入により、SRS 技術で製造した記録物の販売
権は移転しません。

(9) ACCOMPANIMENT(アカンパニメント)<Page・・34 参照 >
自動伴奏演奏中に低音側鍵盤を使って、コード変更ができます。
このときのコード検出方法が 3 通りあり、それぞれについてベースインパー
ジョンをオン / オフできます。
・ONEFINGER(ワンフィンガー)
低音側鍵盤で、メジャーコードは 1 音、マイナーコード /7th コードは 2 音押す
だけで検出されます。
・FINGERED(フィンガード)
低音側鍵盤で、コード変更させることができます。3 鍵以上押さえてコード検
出されまず。
・FULLKBD.(フルキーボード)
全ての鍵盤でコード変更させることができます。
3 鍵以上押さえてコードを検出します。
・BASS INVER.(ベースインバージョン)
ベースが押した鍵盤の最低鍵の音程に対応して演奏されまず。
(10) 1-2P い Y(1-2 プレイ)〈Page…36 参照 >
選択されているスタイルに対して、工場出荷時のレジストレーション(パネル
セッティング)を呼び出します。
(11) METRONOME(X トロノーム)〈Page…29 参照 >
メトロノームのオン / オフを行います。
(12) TAP TEMPO(タップテンポ)<Page_33 参照 >
ホタンをたたく間隔でテンポを設定します。
(13) SYNC/FADEOUT(シンクノフェードアウト)〈Page・・36 参照 >
スタイル演奏中このボタンを押すと、徐々に音量を絞っていき終わらせます。
停止時に押しておくと、コードを押さえると同時に、自動的にスタイル演奏を
スタートします。
(14) START/STOP(スタート 1 ストツブ)く Page…32 参照 >
スタイル演奏のスタート / ストツブを操作します。
(15) INTRO/ENDING(イントロノエンデイング)〈Page…32 参照 >
イントロから演奏をスタートし、エンディングを演奏してからストツブします。
(16) FILLIN(フィルイン)<Page…33 参照 >
スタイル演奏時に、フィルを挿入しまず。
1-4 のボタンそれぞれに違ったパターンが用意されています。
(17) VARIATION(バリエーション)<Page_33 参照 >
各スタイルには 4 つのバリエーションが用意されており、どれか 1 つを選択で
きます。
(18) HELP(ヘルプ)
操作に迷ったときに手助けとなる情報を呼び出すことができます。
(19) EXIT(イグジット)
1 つ前の状態に戻しまず。このボタンを押して行けば、基本の画面へ戻ること
ができます。
(20) LCDSCREEN(LCD スクリーン)
演奏や設定に関する状態を表示します。
(21) SELECTBU'rrONS(セレクトボタン)
ディスプレイ上の操作に使いまず。



(22) SAVE(セーブ)
レジストレーションなどの設定を保存しまず。
(23) REGIST.GROUP(レジストグループ)<Page_99 参照 >
レジストレーショングループを呼び出します。本機には、80 種類のレジストレーション(音色やスタイルなどのパネル設定)をメモリーしており 1 グループ 8 つで 10 のグループに分けられています。
(24) CONTRAS1'(コントラスト)
ディスプレイの明るさを調整します。
(25) DIAL(ダイヤル)
値を入力するときに使用します。
(26) TRANSPOSE(トランスポーズ)<Page…27 参照〉
半音単位でー 12 ～ +12 までの範囲で移調しまず。
(27) OCTAVE SHIFT (オクターブシフト)<Page_28 参照 >
オクターブ単位でー 4 ～ +4 の範囲で音域を上下しまず。
(28) SOUND(サウンド)<Page 22 参照 >
音色を指定します。内蔵音色は 16 のグループに分けられています。どれか 1 つ選択ずると、ディスプレイにそのグループの音色名が表示されまず。
SOUNDVARIATION ボタンで少しニュアンスの異なった音色が選択できまず。
(29) PART(パート)<Page_22,24 参照〉
本機は 4 つの音色パートから構成されています。
・LEFT/SPLIT(レフトノスプリット)
スプリットのオン / オフをすると同時にレフトパートの音色を選択します。
・RIGHIT1/2(ライト 1/2)
ライト 1/2 パートを選択します。
・SOLO(ソロ)
ソロパートを選択しまず。
・PORTAMENTO(ポルタメント)<Page...25 参照 >
最初に押した鍵盤と次に押した鍵盤の音程をなめらかに移行します。
(30) PIANO ONLY(ピアノオンリー)<Page…27 参照 >
現在の設定をボタン 1 つでピアノのソロ設定に変えまず。
(31) REGISTRATIONS(レジストレーション)く Page…99 参照 >
(23)で選ばれているレツストグループの内の 8 つのレジストレーションを呼び出します。
・STYLE LOCK(スタイルロック)<Page...99 参照 >
このボタンをオンにしてレジストレーションを変更した場合、スタイルとテンポをそのままに他の設定のみ変更します。
(32) 3-D(スリーディー)<Page_47 参照 >3 次元立体音響により音に臨場感を与えます。
(CP150 のみ)
(33) EFFECTS(エフェクト)<Page_47 参照 >
エフェクト(効果)のオン / オフを行います。3 秒程押し続けるとディスプレイにエフェクト変更画面が現われエフェクトの種
類や設定を変更できます。
(34) CHORUS(コーラス)<Page-5・参照 >
音にゆったりとした広がりを与えるコーラス効果が得られまず。
(CP150 のみ)
(35) HARMONY(ハーモニー)<Page…36 参照 >ACCON/OFF ボタンがオンの時、ACCON/OFF ボタンがオンの時、演奏時にロアー鍵盤で押されたコードをアッパー鍵盤で弾かれている最低音に 2 音加えます。右手指 1 本で弾いたメロディーにハーモニーを付けられまず。
(36) ADVANCEDRECORDER(アドバンストレコーダー)
<Page.. ー 60 参照 >
レコーダーに関する様々な便利な操作を装備しています。
(37) APG(AutoPhraseGeneratoo(オートフレーズジェネレーター)
<Page...93 参照 >
内蔵スタイルを使ってソングを作ります。
(38) SONGSELECT(ソングセレクト)<Page_41 参照〉
ディスク内のソングを選択します。
(39) DISK(ディスク)<Page_102 参照 >
ディスクに関ずる操作をおこないます。
(40) SOUNDED π(サウンドエディット)<Page...52 参照 >
オリジナルの音色を作成ずることができまず。
作成した音色は、SOUND の USER かディスクに保存することができまず。
(41) SYSTEM (システム)<Page…112 参照 >
システムモードに入りまず。
いろいろな演奏状態を設定しまず。
(42) RECORDER(レコーダー)<Page_37 参照 >
自分の演奏を録音再生ずることができます。
録音した内容は電源を切ると消えてしまいますので大切なデータはディスクにに保存してください。
・RESET(リセット)
曲を先頭の小節に戻します。
・REC(レック)
演奏を録音するときに使います。
・PLAY1STOP(プレイノストップ)
曲の再生と停止をします。
・RWD(巻戻し)
曲を巻戻しします。
・FWD(早送り)
曲を早送りします。
フロッピーディスクをここに差し込みます。差し込まれたディスクを取り出すときは、イジェクトボタンを押します。
ディスクドライブの故障につながります。
演奏データを読み込んでいる最中は、ディスクドライブ左下のランプが点滅します。このときディスクを取り出さないで下さい。演奏データが壊れたたり、ディスクドライブの故障につながります。

◆ リアパネル



㊹COMPUTER（コンピュータ）

シリアルインターフェースを利用して、直接コンピュータと接続するとき、
コンピューターの種類に応じて切り換え設定をします。

> ◆本機のラインイン（LINE IN）とラインアウト（LINE OUT）を直接ケーブルで接続しないで下さい。
> 発振音が発生し、故障の原因になります。

・Mac：マッキントッシュのコンピューターと接続の場合
・MIDI：MIDI端子を使用する場合
・PC1：NEC（PC98シリーズ）のコンピューターと接続の場合（NXシリーズ除く）
・PC2：DOS/Vの互換機（NEC NXシリーズ含む）と接続の場合

㊺SERIAL INTERFACE（シリアルインターフェース）

別売りの専用ケーブルで接続することで、直接パーソナルコンピュータとMIDIデータをやりとりすることができます。

㊻MIDI（ミディ）

MIDI規格に対応している楽器と接続する端子です。

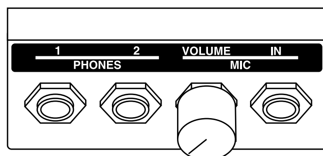
㊼LINE IN（ライン入力端子）<ピンジャック>

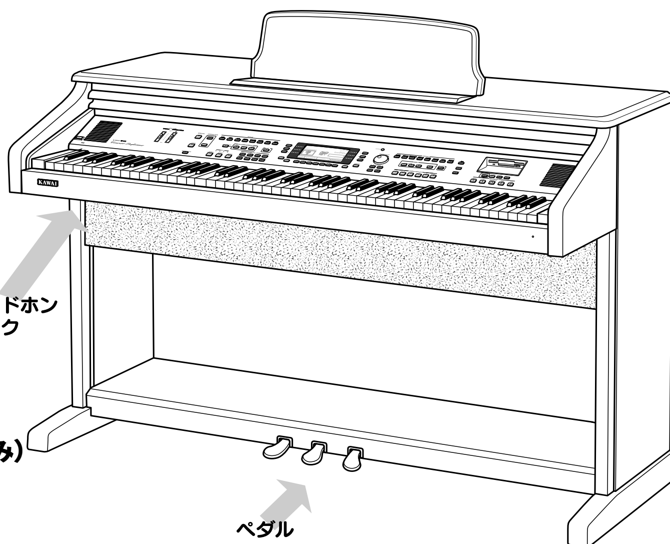
他の電子楽器やカセットデッキなどの出力端子とこの端子を接続すると、本機の内蔵スピーカーからそれぞれの機器の音を出力できます。この場合、本体のボリュームでは音量を調節できませんのでそれぞれの機器側で調節してください。R（アール）は右側、L（エル）は左側の入力を示しています。

㊽LINE OUT（ライン出力端子）<標準ジャック>

本機の音を他の外部機器（アンプ、ステレオ）などで聴いたり、テープデッキに録音する場合に使用する出力端子です。出力レベルは、本体のボリュームで調節できます。R（アール）は右側、L / MONO（エル/モノ）は左側の出力を示しています。なお、モノラル信号は、L/MONOにのみプラグを接続したときに出力されます。

◆ ヘッドホン/マイク





◇ PHONES 1/2 ＜標準ジャック＞

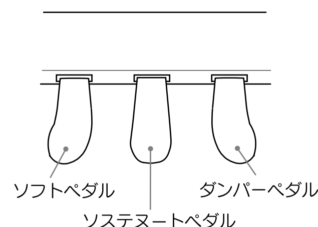
ヘッドホンを接続するジャックです。
2 つまで接続できます。

◇ MIC VOLUME / IN ＜標準ジャック＞（CP150 のみ）

マイクを接続するジャックです。
またダイヤルでボリュームを調節します。
マイクの音が歪むときは、このボリュームを下げ、システムの
Mic Effect（マイクエフェクト ,Page...125）の中のボリュームを上げてください。

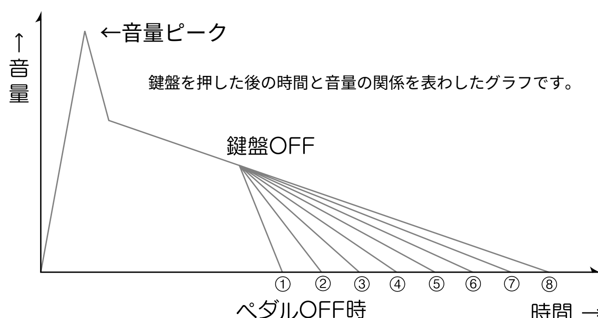
◆ ペダルを使って演奏

本機には、ダンパー、ソステヌート、ソフトのペダルを装備してます。



◇ ダンパーペダル

鍵盤から手を離しても音が余韻をもって消えていくサスティン
がかかります。
ダンパーペダルの踏み方により、余韻の長さを調整できます。（CP150 のみ）



ペダルを深く踏みこんでいくと、①→ ②
→・・・・　→　　⑧のような減衰の仕方を
していきます。（左図参照）
最も深く踏んだときに、最も音が伸びます。

◇ ソステヌートペダル

ペダルを踏んだとき押さえていた鍵盤の音のみに余韻を与えます。
従って、このペダルを踏んだ後に押した別の鍵盤の音は、通常通り発音します。

◇ ソフトペダル

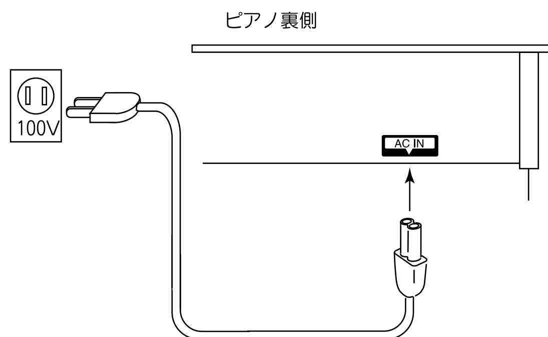
音量がわずかに下がると同時に音の響きがやわらかくなります。

※後で説明するシステムのペダルアサインでペダルに割り当てる機能を設定することができます。

【基礎編】

1. デモ演奏

1）電源を入れます。



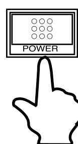
□ 操作1

電源コードをAC100Vのコンセントに差し込みます。

□ 操作2

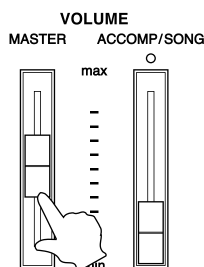
POWER（電源スイッチ）を押して電源オンします。

アンプなど接続機器の電源を入れる前に本機の電源を入れるようにしてください。



□ 操作3

ボリュームレバーを中央付近に設定します。

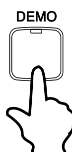


2）デモ演奏を聴いて見ましょう。

本機には、30 曲のデモ曲を内蔵しています。
これらのデモ曲は「メインデモ」「サウンドデモ」「スタイルデモ」の 3 つに分類されます。

□ 操作 1

DEMOボタンを押します。



STYLE ボタンと SOUND ボタンが点滅します。

そのまま何の操作もしなければ、自動的にメインデモの演奏がスタートします。
メインデモの後は、「サウンドデモ」「スタイルデモ」がランダムな順番で演奏されます。



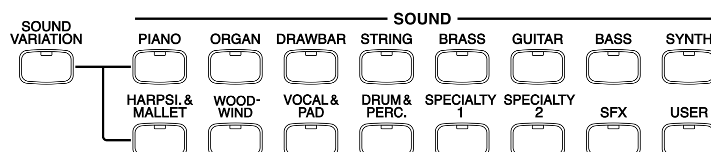
メインデモを聴きたい場合は、F1〜7ボタンのどれかを押します。

注意
ディスプレイの回りのボタン（L1〜5、R1〜5、F1〜5）に実際の機器には、文字の印刷はありません。

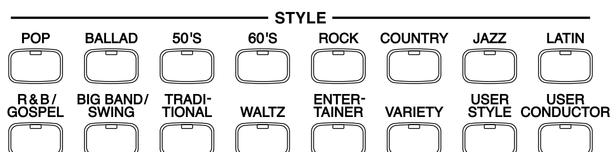
□ 操作 2

SOUNDボタンかSTYLEボタンまたは、F1〜7ボタンで選曲します。

・SOUNDボタンを選べば、選択した音色に対応したサウンドデモが演奏されます。



・STYLEボタンを選べば、選択したスタイルに対応したスタイルデモが演奏されます。



・F1〜7のボタンのどれかを選べば、メインデモが演奏されます。

何も押さなかった場合は、自動的にメインデモの演奏が開始しランダムなデモ曲演奏に入ります。

□ 操作 3

DEMOボタンかSTART/STOPボタンを押して演奏をストップします。

START/STOP ボタンを押し演奏をストップした場合、しばらくすると自動的にメインデモがスタートします。

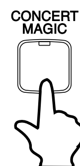
2. コンサートマジック

コンサートマジックでは、鍵盤を押す度に曲の演奏を進めて行くことができます。
誰にでも、（高度な曲が弾けない人にも）鍵盤を使って演奏を楽しむことができます。
本機にはコンサートマジック用の曲が 110 曲内蔵されています。（Page...140 参照）
市販のSMFディスクなどのコンサートマジック用の演奏データでなくても演奏可能です。（曲によっては、うまく再生されないこともありますのでご了承願います。）

□ 操作 1

CONCERT MAGICボタンを押します。

ボタンのランプが点灯し画面に内蔵されているコンサートマジックの曲名が表示されます。



□ 操作 2

FI/2（Search by category）ボタンで曲のカテゴリー毎に、F3/4（Search by Name）ボタンで曲名順（あいうえお順/abc順）にディスプレイに曲名を表示します。

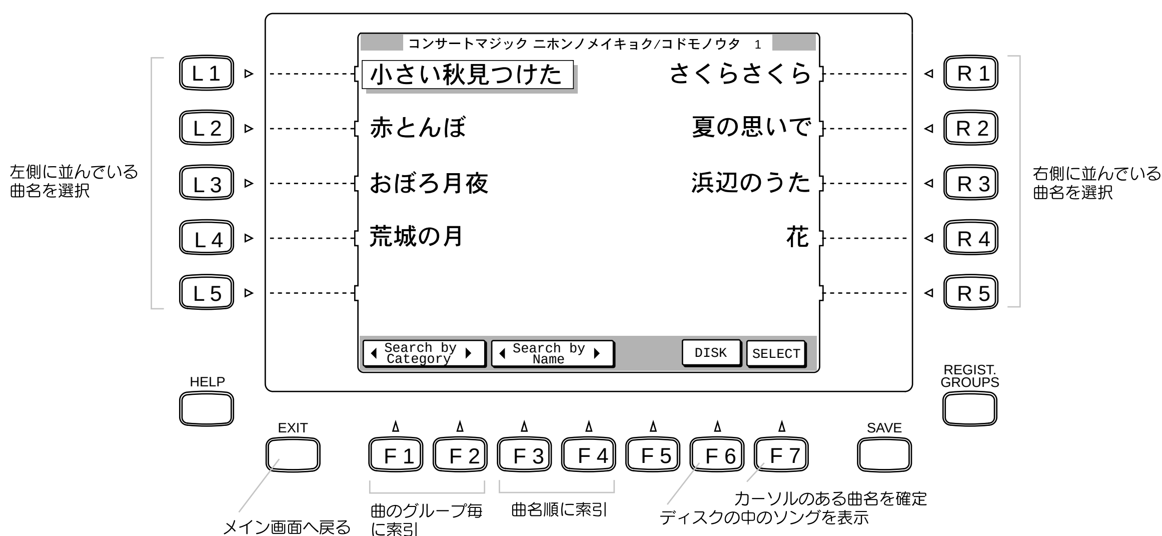
ディスクドライブにディスクが挿入されている場合、F6（DISK）ボタンでディスクの中のソングを表示します。

ディスクについては、Page...102 を参照ください。

□ 操作 3

L1〜5, R1〜5ボタンで選曲します。ダイヤルでも選曲できます。

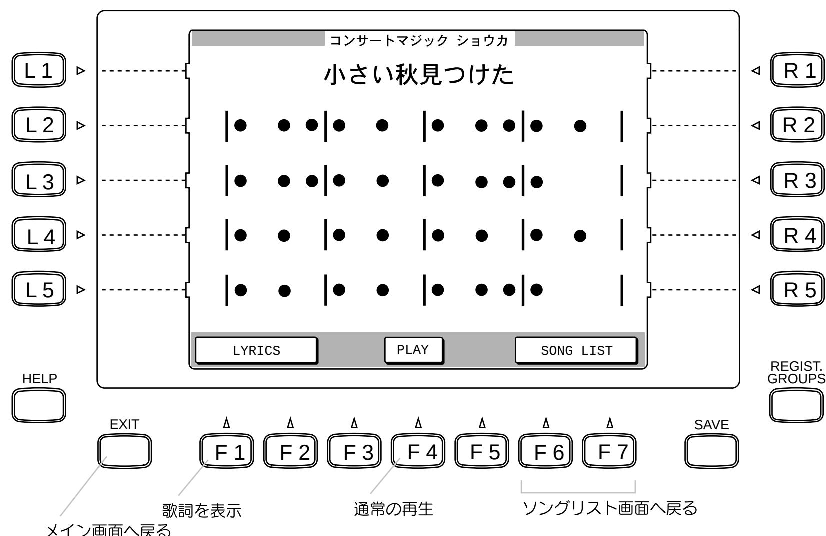
L1 〜 5, R1 〜 5 ボタンで選曲した場合、F7（セレクト）ボタンを押さずに指定され次の画面へ移動します。



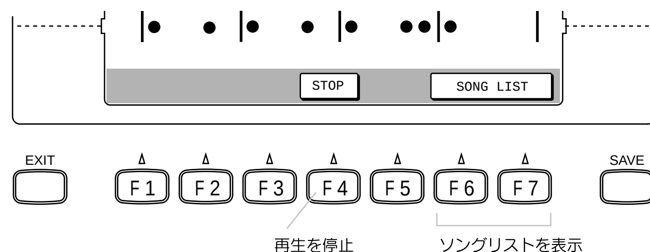
□ **操作 4**

曲を決めたら、F7（SELECT）ボタンで確定します。

NOTE NAVIGATOR（ノートナビゲーター）の画面へ移ります。



F6/7（SONG LIST）ボタンを押すと曲目の表示画面へ戻ります。
どんな曲かひとまず聴いて見たいときは、F4（PLAY）ボタンを押せば曲が再生されます。
曲の再生に伴って、クロマル（●）がプラス（+）の表示に変わっていきますので、鍵盤を押すタイミングをつかんでください。

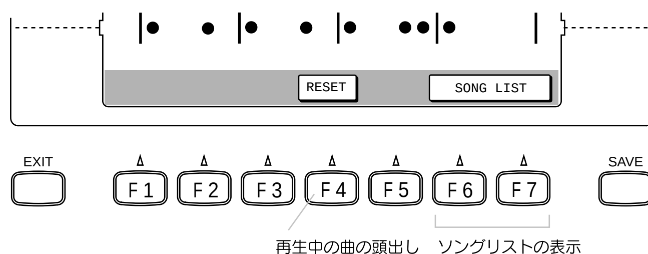


再度、F4（STOP）ボタンを押せば再生はストップされます。

□ **操作 5**

曲を選択した後、鍵盤を押していくと、それに伴って曲の再生が進みます。

曲の演奏が進むと同時にクロマル（●）がプラス（+）の表示に変わっていきます。
クロマル（●）は、鍵盤を押すタイミングを示します。タイミングに合わせて自由な強さで鍵盤をたたき、曲を進めてください。

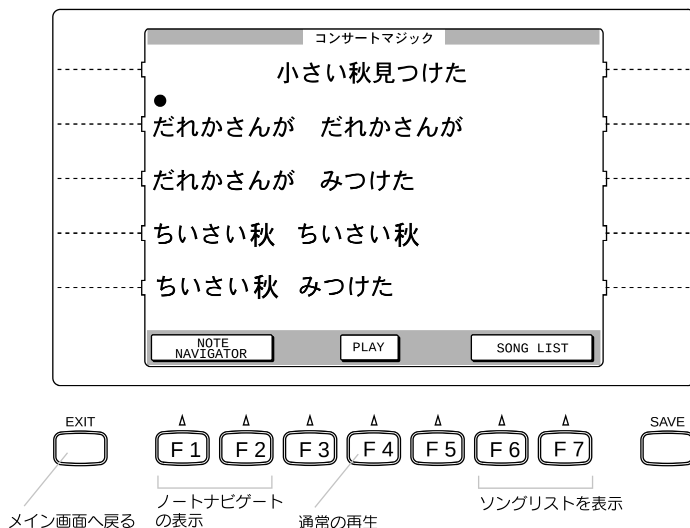


F4（RESET）ボタンを押せば曲の先頭に戻ります。

□ **操作 6**

操作4の時、F1/2（LYRICS）ボタンを押せば、歌詞画面に切り換えができます。

曲の演奏が進むと同時にバウンシングボール（●）が移動して現在の歌詞の位置を示します。



F4（PLAY）ボタンを押せば通常に再生されます。（カラオケとしてご利用なれます。）
F6/7（SONG LIST）ボタンを押すと、演奏はストップし曲目の表示画面へ移ります。
F1/2（NOTE NAVIGATOR）ボタンを押すと "操作 5" の画面へ移ります。

操作 5 と同様に鍵盤を押していくとコンサートマジック演奏が楽しめます。
自分なりの早さで曲を進めてみてください。

3. ソングスタイリスト

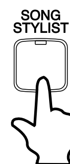
本機には、数多くの名曲のレジストレーション（音色や伴奏などの演奏環境の設定）を内蔵しています。
ソングスタイリストには、400 曲分のセッティングが内蔵されています。（Page...141 参照）
曲名を選ぶだけで、面倒な設定抜きで、即その曲に最適なスタイルや音色を使って演奏することができます。

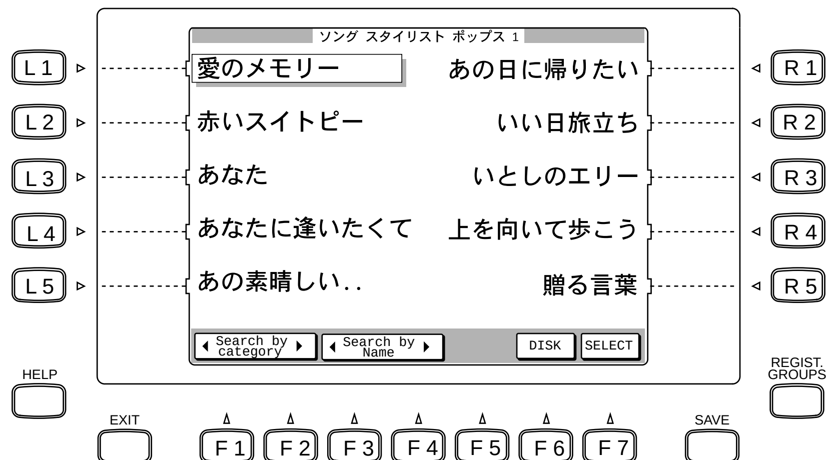
ここでは、例としてジョンレノンの名曲「イマジン」の設定を呼び出してみましょう。

□ **操作 1**

SONG STYLISTボタンを押します。

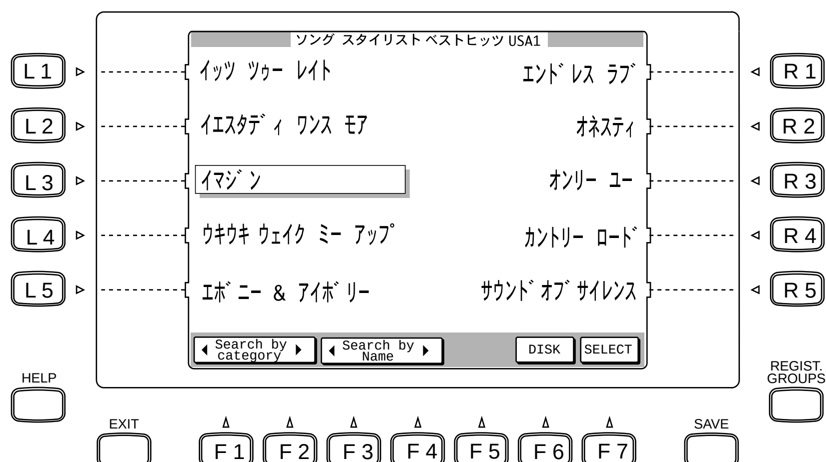
ボタンのランプが点灯しディスプレイに曲名が表示されます。





□ **操作 2**

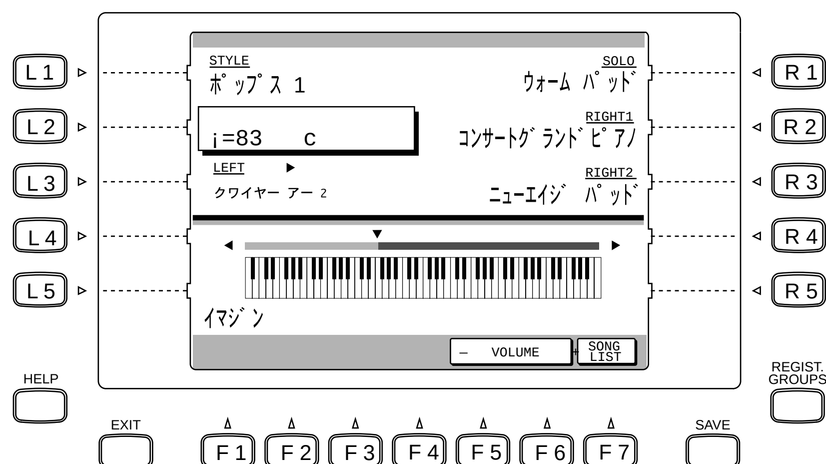
F1/2（Search by category）ボタンで「ソング スタイリスト ベスト ヒッツ USA1」のページを呼び出しL3ボタンを押して「イマジン」を選択します。（F3/4（Search by Name）ボタンのアイウエオ順で選択してもかまいません。）



□ **操作 3**

F7（SELECT）ボタンで指定します。

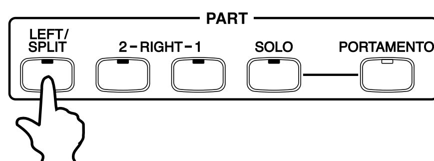
ジョンレノンの「イマジン」のパネル設定が呼び出されました。



START/STOP ボタンを押すとホップス 1 のスタイルが演奏されます。

鍵盤は、自動的に 2 つに分割され、低音側鍵盤ではスタイル演奏のコード変更を行い、高音側鍵盤では、メロディーを弾くことができます。

上図の場合、ウォームパッド、コンサートグランドピアノ、ニューエイジパッドの音色が発音されます。
低音側鍵盤には、クワイヤー 2 が選択されていますが、レフトパートの PART ボタンがオフになっています。
発音させる場合はパートボタンをオンにします。



◇ディスクソングスタイリスト

本体内にない曲でも、別売りのディスクソングスタイリストにより、更にレパートリーを拡張できます。
ディスクソングスタイリストでは、レジストレーションだけでなく、コード進行やメロディー（ソング）も供給され、それぞれ個別にオン / オフできるので、メロディーのみ、コード進行のみの練習も可能です。

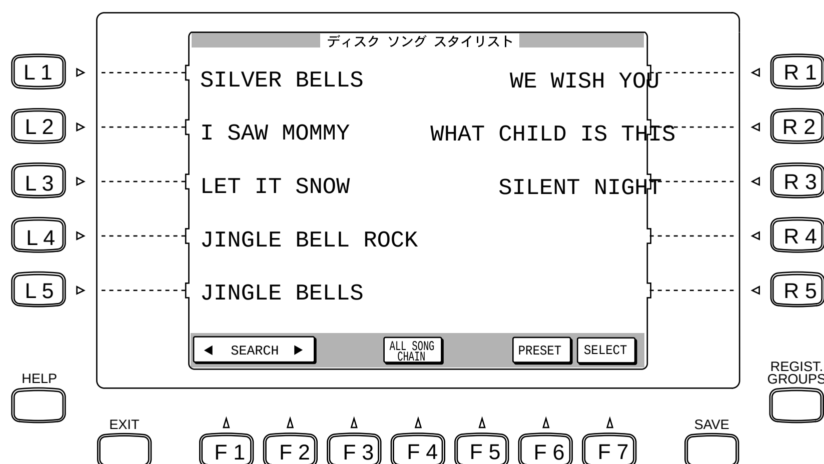
□ 操作 1

ディスクソングスタイリストデータの入ったディスクをディスクドライブにセットします。

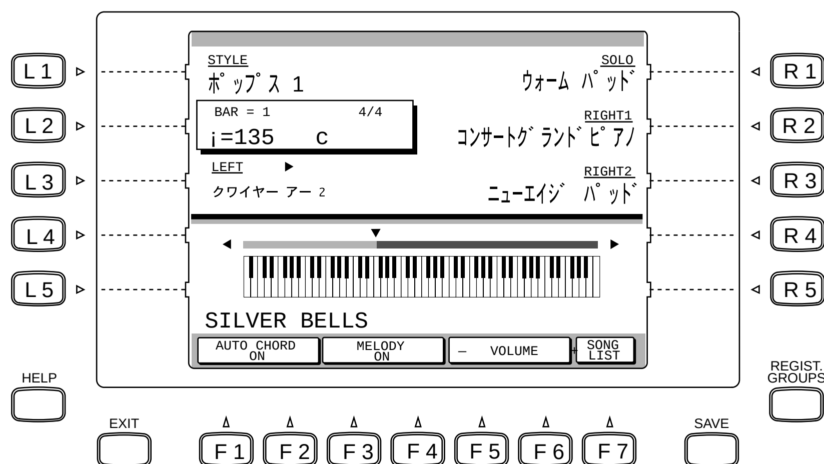
□ 操作 2

SONG STYLISTボタンを押した後、F6（DISK）ボタンを押します。

ディスク内のソングスタイリストの曲リストが表示されます。



L1 ～ L5, R1 ～ R5 ボタンで曲を選択し、F7（SELECT）ボタンを押します。



ここで、レコーダーセレクションのPLAYボタンを押すと、コード進行を伴ったスタイルとメロディーが全て演奏されます。メロディーをキャンセルしたいときは、F3/4を、コード進行をキャンセルしたいときは、F1/2ボタンを押します。両方ともキャンセルして練習することもできます。
ディスクソングスタイリストは、ユーザーが作ることも可能です。
ソングスタイリストとは、ソングとレジストレーションがセットになったものです。
ディスクセーブでフォーマット「Stylist」で保存します。（Page...104 参照）

4. 色々な音色で演奏しましょう。

1）基本画面

☐ **操作 1**
パネルの電源スイッチを入れるとディスプレイには基本画面が表示されます。



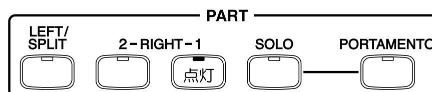
- **L1/L2/L3**
  スタイル/テンポ/レフトパートを変更したいときに選択します。

- **R1/R2/R3**
  ソロ / ライト 1/ ライト 2 のパートを変更したいときに選択します。

- **F1（Page...45参照）**
  ミキサー / リバーブの設定画面へジャンプします。

- **F2-3/F4-5/F6-7**
  スタイル / 音量 / 音色の変更に使用します。
  選択すると画面上のボタンの絵が白文字反転しボタンを押す度にカーソルのあるパートの値を変更します。
  このときダイヤルで値を設定することもできます。

上画面では、音色名でライト 1 のコンサートグランドのみ大きく表示されているので、PART ボタンの RIGHT1 ボタンのみオンになっており、鍵盤を弾けばコンサートグランドの音のみ発音します。

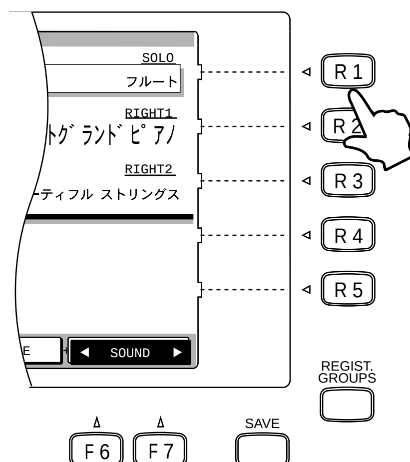


また、カーソルがライト 1 の位置にあるのでライト 1 パートが選択されています。
このとき、F6/7（SOUND）ボタン（もしくはダイヤル）では、ライト 1 パートの音色変更をします。
またこのとき、F4/5（VOLUME）ボタンで調節できる音量は、ライト 1 パートの音量です。
（パネル左端にあるボリュームレバーは全体の音量を調節します。）
F4/5 ボタンを 1 度押すと画面のボタンの絵が白文字反転します。このときダイヤルで音量を調節できます。

2）音色を設定します。

本機には、鍵盤の演奏用として 3 つのパート [SOLO（ソロ）/ RIGHT 1（ライト 1）/ RICHT2（ライト 2)] が用意されてます。
295 の内蔵音色より好きな音色を 3 つのパートにそれぞれ設定して、3 音色を重ね合せて発音させることができます。ソロパートは、モノフォニック（単音）発音します。（スプリットにすれば、低音側鍵盤でさらに別の音色を演奏できます。Page...25 参照）

◆ ソロパートに音色を設定します。



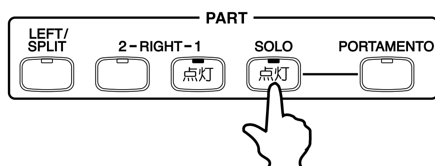
□ 操作 1

ディスプレイ右上のR1ボタンを押します。

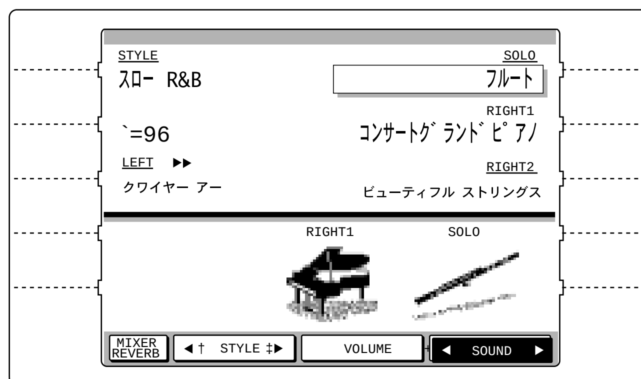
カーソルがソロパートへ移動します。

□ 操作 2

SOLOボタンを押します。



SOLO ボタンが点灯し、ディスプレイの音色名の表示が大きな文字に変わります。
また、ディスプレイ右下にソロパートの楽器のアイコンが表われます。

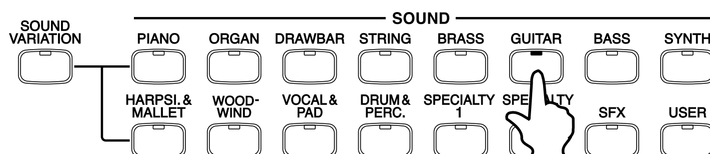


パートボタンでは、各パートの発音のオン/オフを設定します。
ボタンが点灯中はディスプレイ上の音色名が大きく表示され発音します。
消灯中はデイスプレイ上の音色名が小さく表示され発音しません。

□ 操作 3

SOUNDボタンより目的のボタンを押します。

パネルの SOUND ボタンはサウンドグループ毎のボタンです。GUITAR ボタンを押した場合は、ディスプレイにギター関係の音色名が、10 音色表示されます。

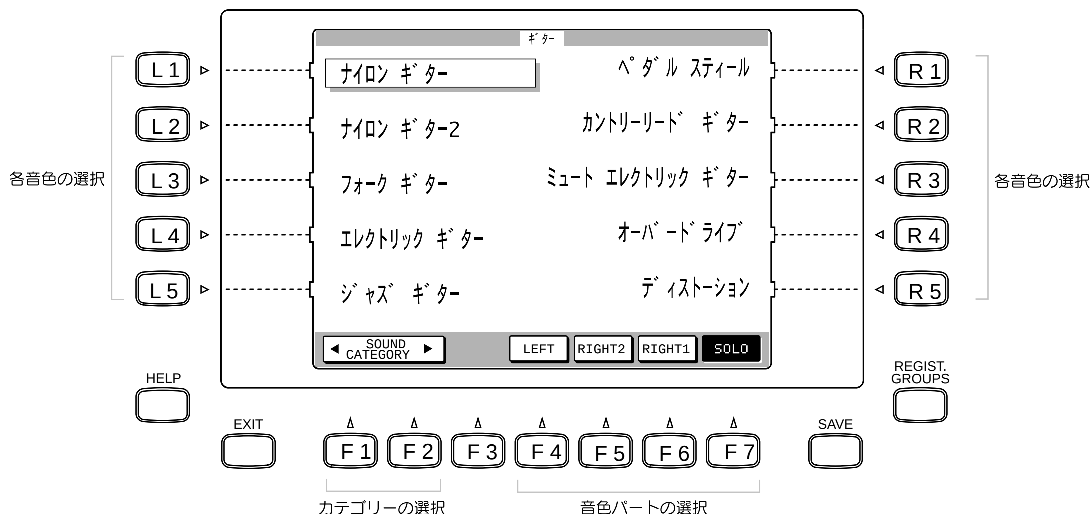


SOUND ボタンを使わずに、F6/7 ボタン又は、画面の SOUND ボタンが白文字反転しているとき、ダイヤルで音色を変更することもできます。

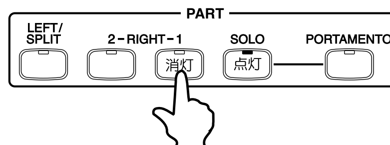
□ **操作 4**

L1～L5,R1～R5ボタンで音色を選択します。（ダイヤルでも選択することができます。）

F1/2（SOUND CATEGORY）ボタンでサウンドグループを変更することができます。
F4～7でパートを選択することができます。



鍵盤を弾けば、ライト 1 パートの音色に合わせてソロパートの音色が発音されます。
SOLO パートの音色のみ発音させたい場合は、RIGHT1 ボタンを押して消灯させます。

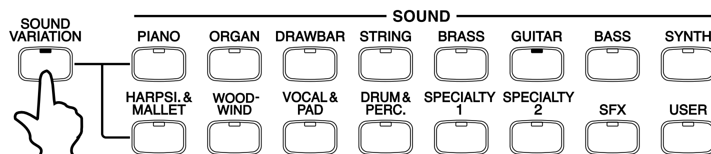


◇サウンドバリエーション

本機では、各音色毎にバリエーションを用意しています。

□ **操作 1**

SOUND VARIATIONボタンを押します。



そのサウンドグループのバリエーションの音色を画面に表示されます。

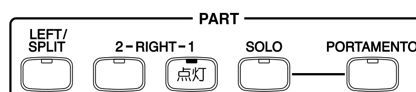
□ **操作 2**

L1～L5,R1～R5ボタンで音色を選択します。（ダイヤルでも選択することができます。）

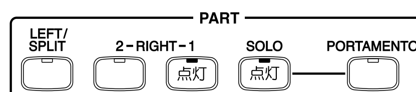
◇ライト1/2パートの音色選択

ライト 1/2 パートもソロパート同様の操作で音色変更できます。
R2/3 ボタンでカーソルをライト 1/2 パートに移動させ、SOUND ボタンでサウンドグループを選択し、L1 〜 5, R1 〜 5 ボタンかダイヤルで音色を選択します。

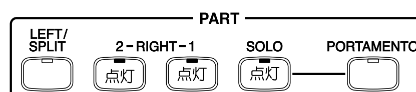
音色を選択しても PART ボタンでオンにしないと発音しません。
PART ボタンでオンにすると、ディスプレイ上の音色名が大きな表示に変わります。



ライト1パートのみ発音



ライト1/ソロパートが発音
2音色を重ねて発音



ライト1/2/ソロパートが発音
3音色を重ねて発音

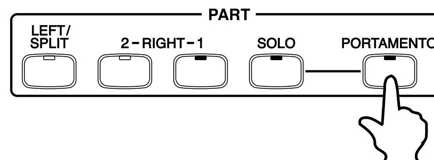
◆ ポルタメント機能

この機能は､ソロパートでレガート演奏をしたときに､前の音と後の音の音程をなめらかにつなげて発音します。

□ **操作 1**

PORTAMENTOボタンを押します。

ボタンのランプが点灯します。



「PIANO」など、音色によっては、効果が分かりにくい場合があります。

ポルタメントボタンを押し続けると、ソロセッティングの画面に入ります。
ここでは、ポルタメントスピードとソロ発音のプライオリティ（優先順位）を設定できます。（Page...113 参照）

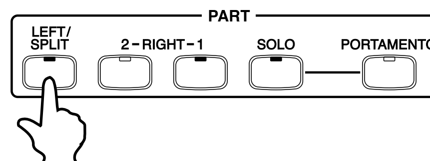
◆ スプリット演奏

鍵盤をスプリットポイントを境に左右 2 つに分け、鍵盤の高音側、低音側それぞれに別々の音色を設定し、アンサンブル演奏をすることができます。

□ **操作 1**

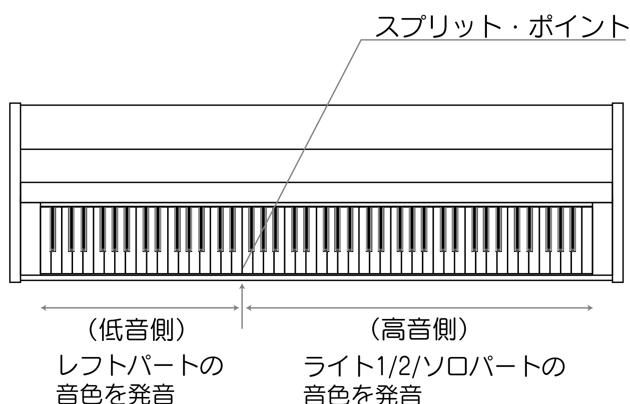
LEFT/SPLITボタンを押します。

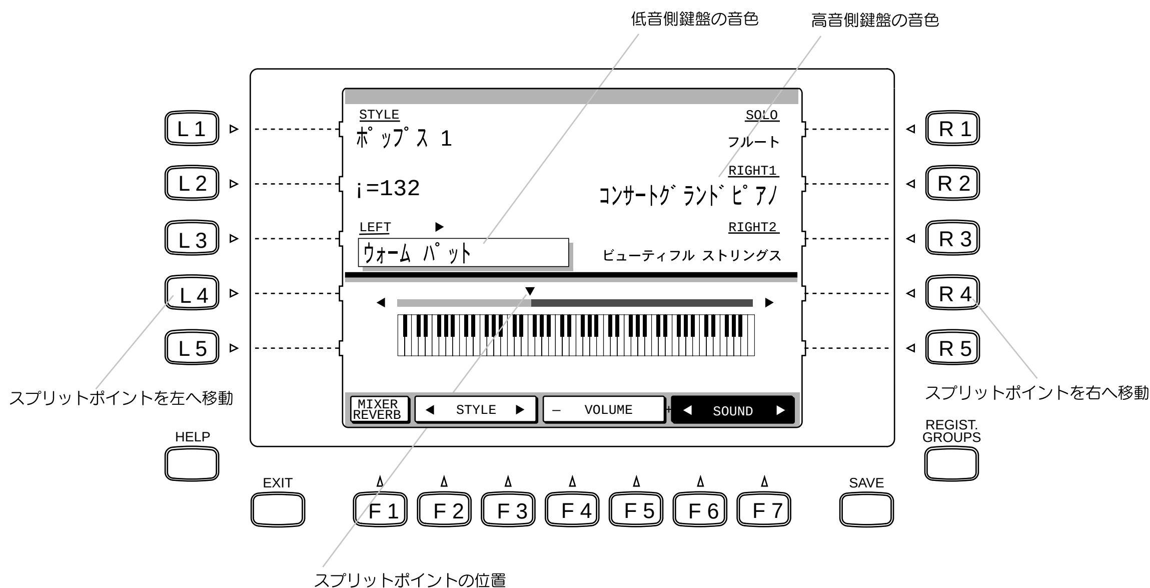
ボタンのランプが点灯し、左より 3 つ目の F（ファ）の音をスプリットポイントとして鍵盤を左右に分けます。



ディスプレイ左下レフトパートの音色の表示が大きくなり、同時にカーソルが移動します。
他の音色パートと同様に音色を選択することができます。

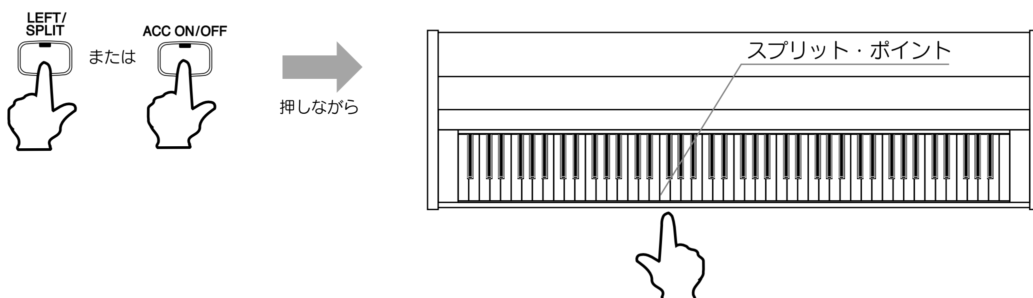
このレフトパートで選択した音色が、低音側の鍵盤で発音する音色となります。
高音側の鍵盤の音色は、ソロパート / ライト 1 パート / ライト 2 パートです。





◇ スプリットポイントの変更

現在のスプリットポイントは、ディスプレイの鍵盤上に（▼）が表示されています。
スプリットポイントの変更は、スプリットボタンまたはACCボタンを押しながら、スプリットしたい鍵盤を押します。押した鍵盤が高音側の最低音となります。

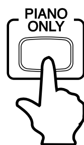


また、ディスプレイ横のL4/R4ボタンを押しても変更することができます。

◆ ピアノオンリー機能

この機能は、パネルの設定をワンタッチでピアノソロにします。
ピアノ演奏のみを楽しみたい時や、よくわからない画面に入ってしまい、元のピアノのみに戻したいときに、このボタンを押します。

□ 操作 1
PIANO ONLYボタンを押します。



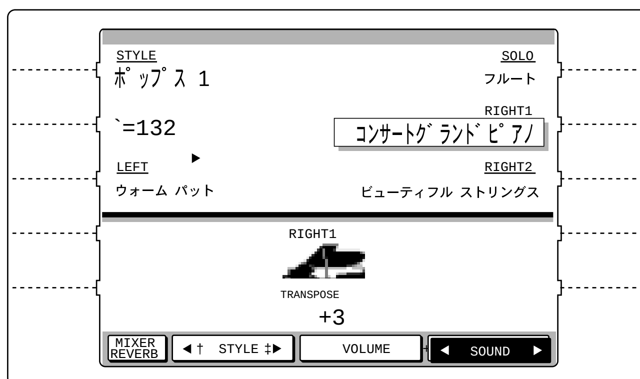
ライト１パートの音色がコンサートグランドピアノにかわり、他のパートやスプリット、アカンパニメントは全てオフになり、全鍵ピアノの音になります。

◆ トランスポーズ

音程を半音単位で移動します。
調の異なる楽器とのアンサンブル演奏や歌の伴奏をするとき、弾き方を変えずに簡単に移調できます。
-12 〜 +12 の間（上下２オクターブの範囲）で移調できます。

□ 操作 1
TRANSPOSEボタンを押します。





ディスプレイに現在の値が表示されます。
自動伴奏を含めた全てのパートが移調されます。

（レコーダーの曲は、ここでは移調されません。）

□ 操作 2
2つのTRANSPOSEボタンを同時に押すとワンタッチで「0」に戻せます。

◆ オクターブシフト

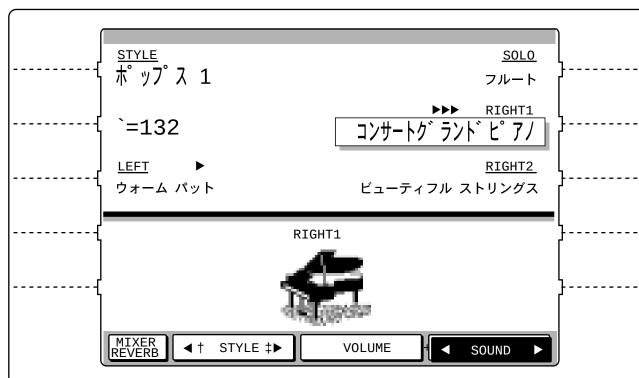
音程を各パート別にオクターブ単位（12 半音）で上下します。　±４オクターブまで上下できます。
音色名上部に表示される（▶◀）でオクターブシフトの量と上下方向を表わします。
▶1つで1オクターブ上がっていることを表わします。
オクターブシフトは、各音色パート毎に設定します。
カーソルがある音色パートのオクターブシフトを行います。

□ 操作 1

OCTAVE SHIFTボタンを押します。



カーソルで選択されているパートのみシフトされます。
右図ディスプレイでは、ライト１パートが３オクターブ上がっています。
下がっている場合は、逆向きの三角形（◀）が表示されます。



□ 操作 2

2つのOCTAVE SHIFTボタンを同時に押すとワンタッチでカーソルのあるパートをシフト無しの状態に戻せます。

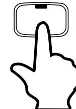
3）メトロノーム

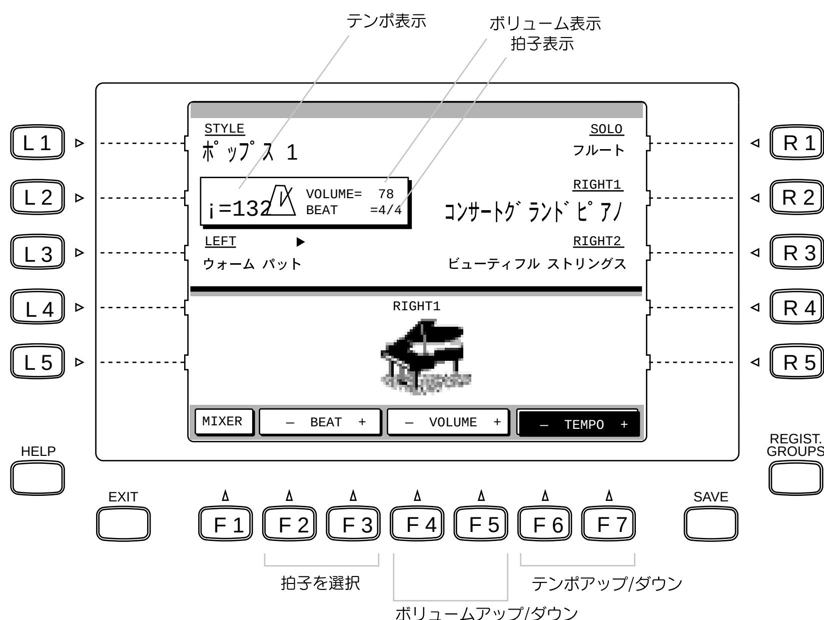
メトロノームを使って練習しましょう。

□ 操作 1

METRONOMEボタンを押します。

ボタンのランプが点灯しメトロノームが発音します。





- **BEAT（ビート）［F2/3］**
  メトロノームの拍子です。
  （1/4,2/4,3/4,4/4,5/4,6/8,7/8,9/8,12/8 から選択。）

- **VOLUME（ボリューム）［F4/5］**
  メトロノームのボリュームです。
  （0 ～ 100）

- **TEMPO（テンポ）［F6/7］**
  メトロノームのテンポです。
  （10 ～ 300）

□ 操作 2

F2/3（BEAT）で拍子、F4/5（VOLUME）でボリューム、F6/7（TEMPO）でテンポの値を設定します。

F2/3 ボタンのどちらか押すと、ディスプレイ上のボタンの表示が白抜き表示になり「拍子」が選択されます。この時、ダイヤルを使って値を設定できます。
ボリューム , テンポ設定時も、同様にボタンの表示が白抜きの状態であればダイヤルで値の変更が可能です。
上のディスプレイの図だと、「テンポ」が白抜き表示となってますので、ダイヤルを回すとテンポの値を設定することができる状態です。

5. 内蔵スタイルを聴きましょう。

1）スタイルとは

スタイルは、6 つのパートから成る演奏パターンです。
ドラムパート以外のパートを伴奏といいます。
各パートは、イントロ / エンディング / バリエーション 1 ～ 4/ フィル 1 ～ 4 から構成されています。
さらに、バリエーションとフィルには、それぞれ 4 種類のフレーズを用意しています。

	ドラムパート	ベースパート	ACC1パート	ACC2パート	ACC3パート	ACC4パート
イントロ	イントロ	イントロ	イントロ	イントロ	イントロ	イントロ
エンディング	エンディング	エンディング	エンディング	エンディング	エンディング	エンディング
	バリエーション	バリエーション	バリエーション	バリエーション	バリエーション	バリエーション
バリエーション 1	フレーズ 1	フレーズ 1	フレーズ 1	フレーズ 1	フレーズ 1	フレーズ 1
バリエーション 2	フレーズ 2	フレーズ 2	フレーズ 2	フレーズ 2	フレーズ 2	フレーズ 2
バリエーション 3	フレーズ 3	フレーズ 3	フレーズ 3	フレーズ 3	フレーズ 3	フレーズ 3
バリエーション 4	フレーズ 4	フレーズ 4	フレーズ 4	フレーズ 4	フレーズ 4	フレーズ 4
	フィル	フィル	フィル	フィル	フィル	フィル
フィル 1	フレーズ 1	フレーズ 1	フレーズ 1	フレーズ 1	フレーズ 1	フレーズ 1
フィル 2	フレーズ 2	フレーズ 2	フレーズ 2	フレーズ 2	フレーズ 2	フレーズ 2
フィル 3	フレーズ 3	フレーズ 3	フレーズ 3	フレーズ 3	フレーズ 3	フレーズ 3
フィル 4	フレーズ 4	フレーズ 4	フレーズ 4	フレーズ 4	フレーズ 4	フレーズ 4

本機には、14 のジャンルで 128 スタイルが内蔵されています。（Page...138 参照）

パネル上の STYLE ボタンは、ジャンル毎に分かれており、ボタンを押せば
ディスプレイにそのジャンルのスタイル名が表示されます。

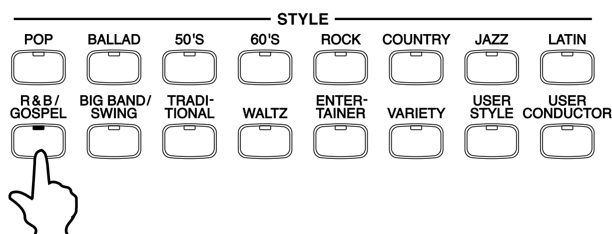
2）スタイルを聴いて見ましょう

◇ スタイルの選択

□ **操作 1**

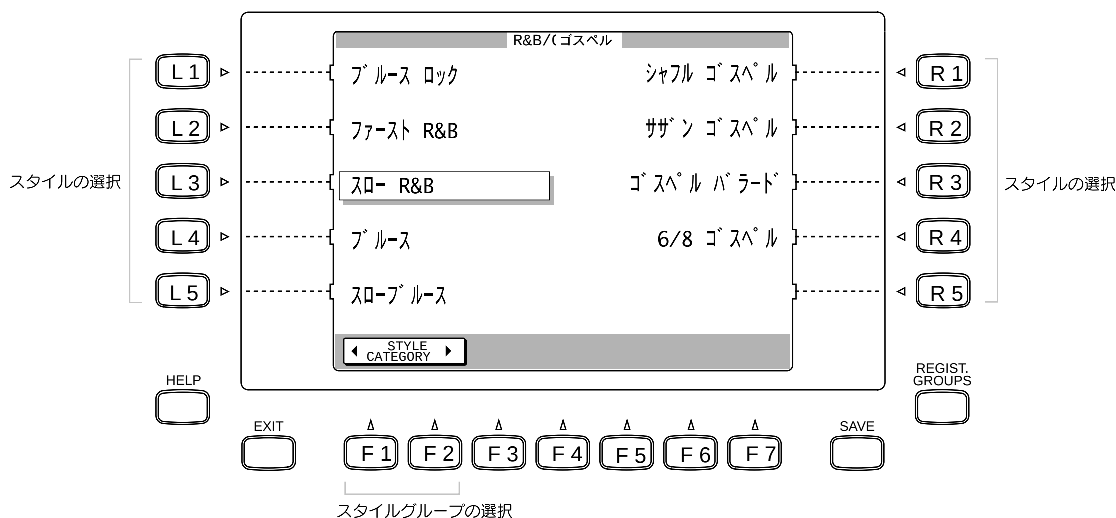
STYLEボタンの中から、目的のボタンを押します。

ボタンのランプが点灯しディスプレイにスタイル名が表示されます。
パネルの STYLE ボタンはスタイルグループ毎のボタンです。
R & B/GOSPEL ボタンを押した場合は、リズム＆ブルース / ゴスペル関係のスタイル名が表示されます。



□ **操作 2**

L1～L5,R1～R5ボタンでスタイルを選択します。（ダイヤルでも選択することができます。）



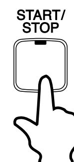
□ **操作 3**

F1/2（STYLE CATEGORY）ボタンでスタイルグループを変更することができます。

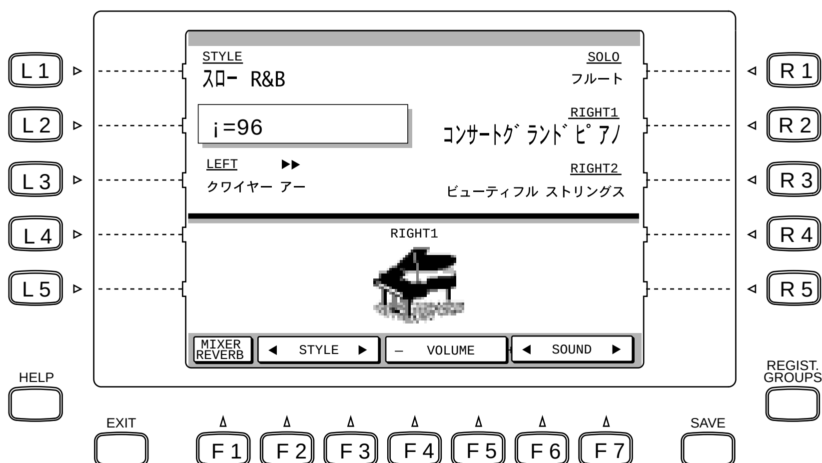
◇ スタイルの演奏

□ 操作 1

START/STOPボタンを押せば演奏がスタートします。

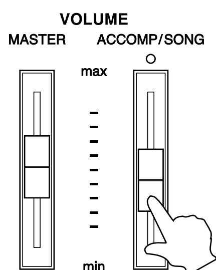


ドラムパートのみの演奏です。
INTRO/ENDING ボタンを押せばイントロの演奏でスタートします。



□ 操作 2

VOLUME（ACCOMP/SONG）レバーでスタイルの演奏ボリュームを調節します。



□ 操作 3

F2/3（STYLE）でスタイル、F4/5（VOLUME）でボリューム、F6/7（SOUND）で音色を設定します。

F2/3 ボタンを 1 回押すと、ディスプレイ上の STYLE ボタンの表示が白抜き表示になり「STYLE」が選択されます。
この状態の時、ダイヤルを使ってスタイルを設定できます。
上の画面の場合、ダイヤルでテンポを設定できます。

◇ スタイルの演奏ストップ

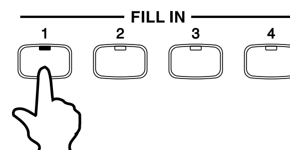
□ 操作

再度、START/STOPボタンを押せば演奏がストップします。

INTRO/ENDING ボタンを押せば、エンディングの演奏でストップします。
SYNC/FADE OUT ボタンを押せば、徐々に音量を絞りながら演奏を終了します。

◇ フィル・インを入れましょう。

フィルインとは、スタイル演奏の区切りの部分や、演奏中に次の展開部へと切り換える際に挿入されるパターンです。
1 つのスタイルに 4 種類のフィルを用意しています。



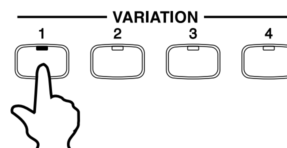
□ 操作

スタイル演奏中にFILL IN1〜4ボタンより1つ選び押します。

押した直後からフィル演奏に移りますが、押すタイミングにより、フィル演奏が完全に演奏されないこともあります。

◇ バリエーションを選択しましょう。

本機では、1 つのスタイルに 4 種類のバリエーションを用意しています。



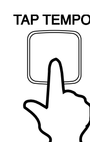
□ 操作

スタイル演奏中にVARIATION1〜4ボタンより1つ押します。

それぞれのバリエーションをお楽しみください。

◇ タップテンポ

ボタンを押すテンポでスタイルを演奏します。
テンポを瞬時に変更するとき便利です。

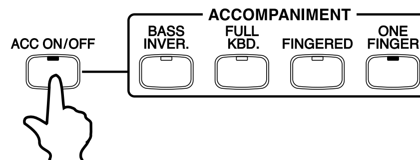


□ 操作

TAP TEMPOボタンを好みの早さで軽く2回以上叩きます。

◆ 伴奏を付けて演奏します。

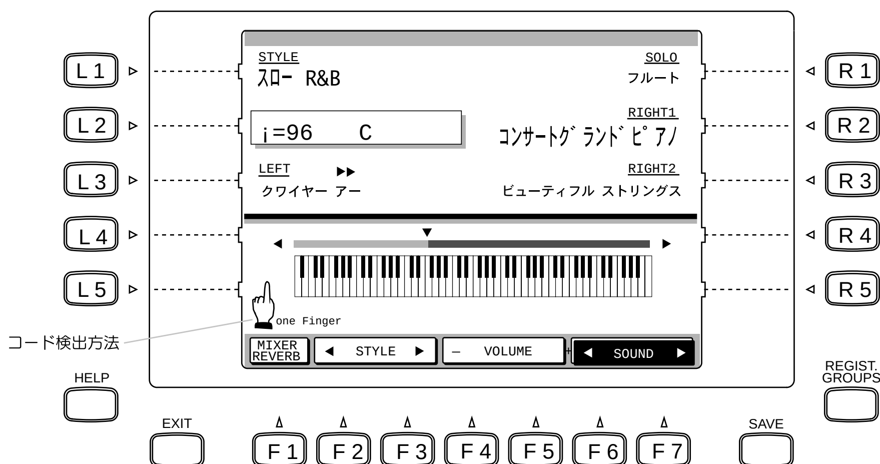
伴奏演奏では、ドラムパートに合わせて、ベースパートやその他楽器のパートも演奏されます。
また、伴奏オンにした時、自動的に鍵盤は 2 つに分かれてスプリット状態となります。
低音側鍵盤（左手）でコード変更を行い、高音側鍵盤（右手）でメロディーを演奏することができます。



□ 操作 1

ACC ON/OFFボタンを押して点灯させます。

6 つのパートが演奏を開始します。



自動的に鍵盤は 2 つに分割され、スプリット状態となります。
伴奏に合わせてスプリットポイントを境に低音側鍵盤でコード変更、高音側鍵盤でメロディーを弾くことができます。

ディスプレイに、鍵盤の絵が表示されスプリットポイントの位置に印▼が付いています。
L4/R4 でスプリットポイントを変更することができます。

ディスプレイの左下に「コード検出方法」が表示されます。（下記参照）

基礎編
5 内蔵スタイルを聴きましょう

◆ コード検出方法

自動伴奏オンの時低音側鍵盤でコード変更を行いますが、そのコード検出には3つの方法があり、それぞれについてベースインバージョンをオン / オフできます。
パネル上の該当するボタンを押して点灯させれば機能します。

(A)：コード検出鍵盤 ／ (B)：検出条件

◇ ワンフィンガー

(A)：スプリットポイントから低音側の鍵盤でコード変更します。
(B)：メジャーコードは 1 音、マイナーコード / セブンスコードは 2 音押すだけでも検出されます。

◇ フィンガード

(A)：スプリットポイントから低音側の鍵盤でコード変更します。
(B)：3 音以上押された場合にコード検出されます。

◇ フルキーボード

(A)：全ての鍵盤でコード変更します。
(B)：3 鍵以上押えてコードを検出させます。

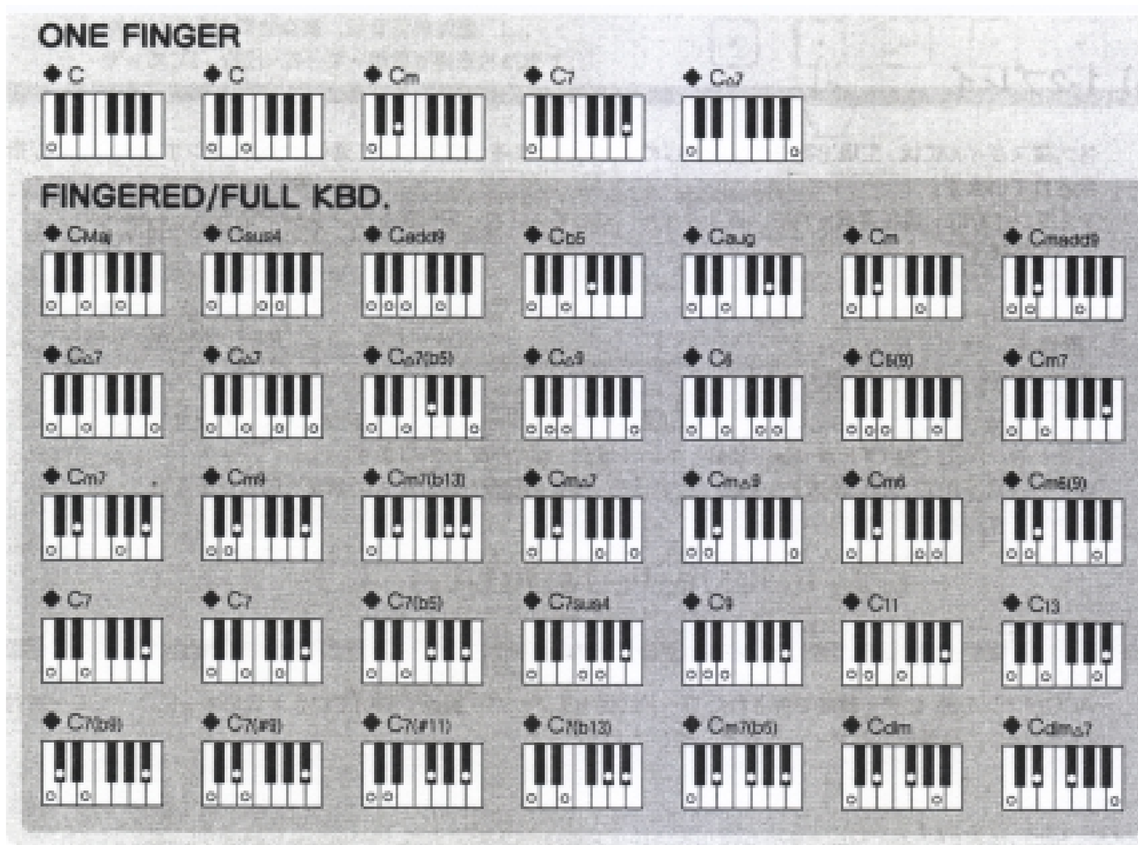
◇ ベースインバージョン

上の 3 つの方法でコードを検出させた時、ベースが押されている最低音の鍵盤の音程に対応して演奏されます。

例えば　ミ , ソ , ドと押さえたときは、コードは「C」ですが、ベースは「E」を演奏します。

◆ コードフォーム

コードルートが「C」の場合



他ののコードルートの場合は、上の図の左端の C の位置を所望のルートの位置を起点とした形にずらして押さえます。

鍵盤ルート名　C#E♭ F# G# B♭ / C D E F G A B

例えば。Cm は、　ですが、Dm は、　になります。

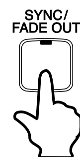
3）シンクロ機能

低音側鍵盤を押すと同時にスタイル演奏をスタートさせます。

□ **操作 1**

スタイル演奏をしていない状態のとき、SYNC/FADE OUTボタンを押します。

ボタンが点灯します。



□ **操作 2**

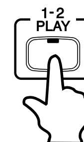
スプリットの低音側の鍵盤を弾きます。

鍵盤を弾いてコードが検出されると同時にスタイル演奏を開始します。

イントロをつけてスタイル演奏をシンクロスタートしたい場合は、SYNC/FADE OUT ボタンを押した後、INTRO/ENDING ボタンを押し鍵盤を弾いてください。

4）1-2プレイ

各内蔵スタイルには、工場出荷時にあらかじめそのスタイルを演奏するのに適した音色/テンポなどの設定が指定されています。
1-2 プレイでは、現在選択されているスタイルに対して、これらの設定をワンタッチで呼び出します。



□ **操作 1**

1-2PLAYボタンを押して点灯させます。

現在選ばれているスタイルに対して、工場出荷時の音色やテンポなどの設定が呼び出されます。
このとき、ACC ON/OFF ボタンが消灯している場合、自動的に点灯します。
また SYNC/FADE OUT ボタンも点灯しますので、低音側鍵盤を押すことで演奏を開始することができます。

5）ハーモニー

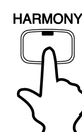
ACCがオンの時､ロアー鍵盤で押されたコードに従ってアッパー鍵盤で弾いているメロディーにハーモニーを付け加えます。単純なメロディーも重厚に聴かせます。

◇ ハーモニーのオン/オフ

□ **操作 1**

HARMONYボタンを押します。

ボタンのランプを点灯させるとハーモニーがオンとなります。
ACC ON/OFF がオンの時のみ、ハーモニーをオンすることができます。
ACC ON/OFF をオフにすると、ハーモニーも自動的にオフになります。



6. 演奏を録音しましょう。

(レコーダー)

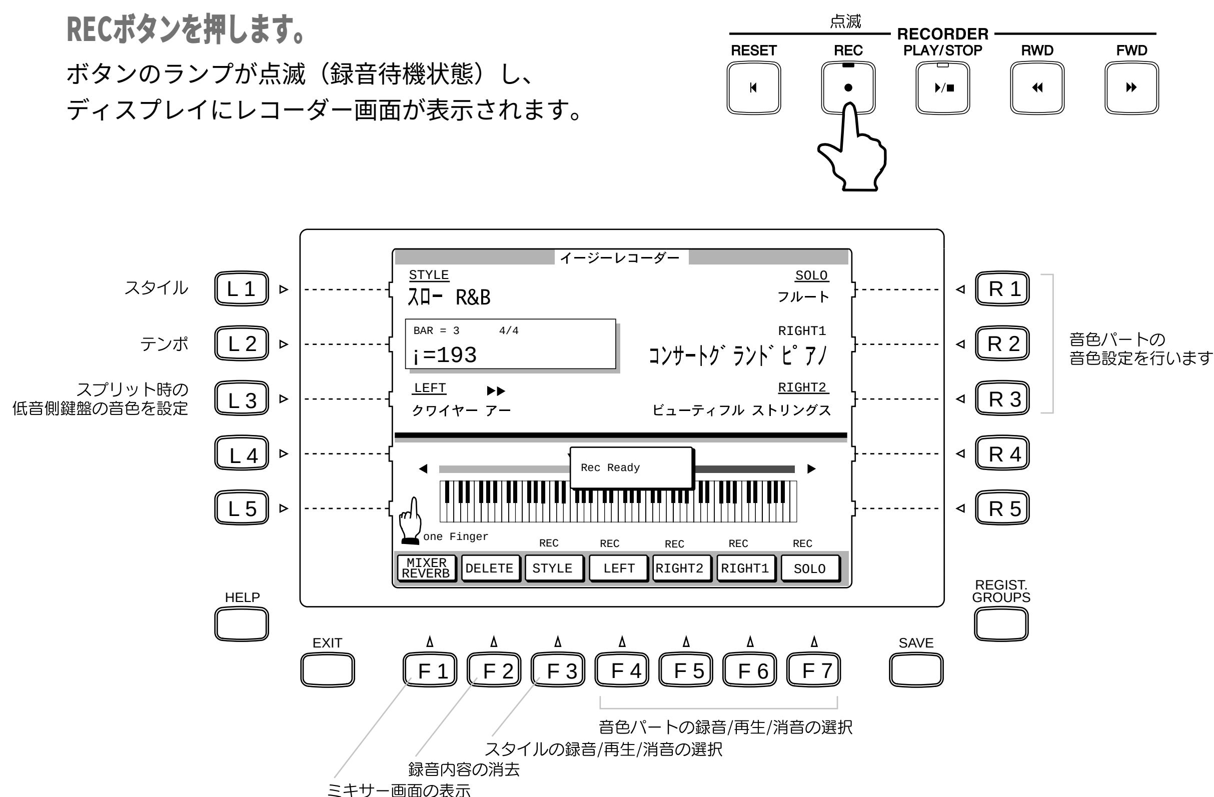
好きな音色と好きなスタイルで、自分の演奏を録音します。
録音した演奏曲は、電源を切ると消えてしまいますので大切な録音データはディスクに保管してください。

◆録　音

□ 操作 1

RECボタンを押します。

ボタンのランプが点滅（録音待機状態）し、
ディスプレイにレコーダー画面が表示されます。



ここで録音できる内容は、ソロパート,ライト1パート,ライト2パート,レフトパート,スタイルの5つです。
F3～F7ボタンもしくはPARTボタンで録音するかしないかを設定します。
録音を行う場合は「REC」、行わない場合は「- - - -」をボタンを押して表示します。
一度録音したパートでは、「REC」「MUTE」の他に「PLAY」が選択できます。
「PLAY」に選択した場合、録音された内容を再生しながら他のパートを録音できます。
スタイルパートは、「- - -」と表示しても演奏させることはできますので、スタイルをメトロノームがわりに録音することができます。

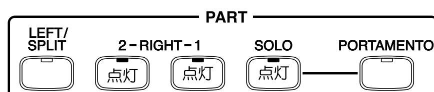
スタイルの種類と手弾きの各パートの音色は、通常通り設定します。

次よりACCオンの時に左手でスタイルのコード変更させながら、右手ではソロ、ライト1/2の音色でメロディーを弾いている演奏の録音操作を説明します。

□ **操作 2**

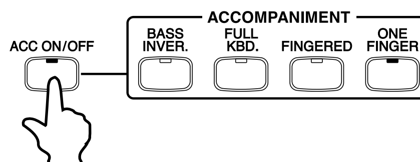
PARTのRIGHT1/2,SOLOボタンをオンにします。

各音色パートが録音待機状態となります。



□ **操作 3**

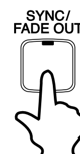
ACC ON/OFFボタンをオンにします。



ACC オンの場合、自動的にスプリット状態となります。
（FULL KBD. のときはスプリットしません。）

□ **操作 4**

SYNC/FADE OUTボタンをオンにします。

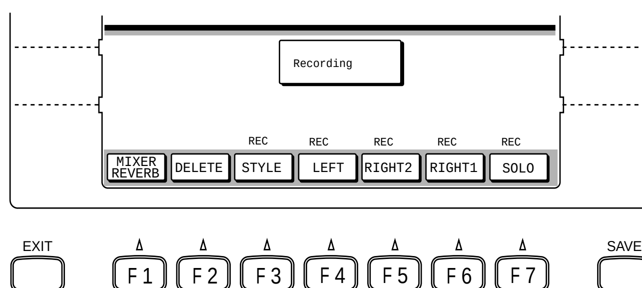


スプリットポイントの低音側鍵盤を弾くと、スタイルが自動的にスタートします。
イントロをつけて演奏を始める場合は、INTRO/ENDING ボタンもオンにしておきます。

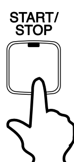
□ **操作 5**

左手で低音側鍵盤のコードを押さえ演奏を始めます。

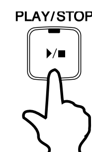
押さえたコードでスタイル演奏が始まり、同時に録音も自動的に開始します。
左右の手で自由に演奏します。



録音待機状態で、START/STOP ボタンを押して録音をスタートすることもできます。



PLAY/STOP ボタンを押して録音をスタートすることもできます。
この場合、スタイルの演奏は、スタートしません。
鍵盤で弾いた演奏のみ録音されます。

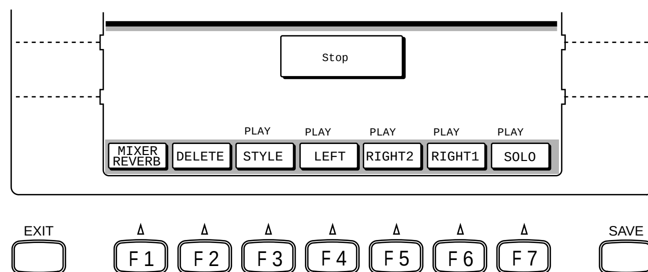


このときは、操作 4 の SYNC/FADE OUT ボタンをオンにする必要はありません。

□ **操作 6**

再度PLAY/STOPボタンを押します。

録音がストップします。

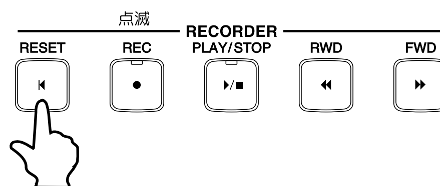


◇ 今録音した内容を再生します。

□ **操作 1**

RESETボタンを押します。

録音内容が頭出しされます。
ディスプレイのテンポ上の小節数の表示が
「BAR=1」となります。

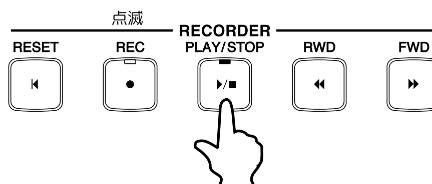


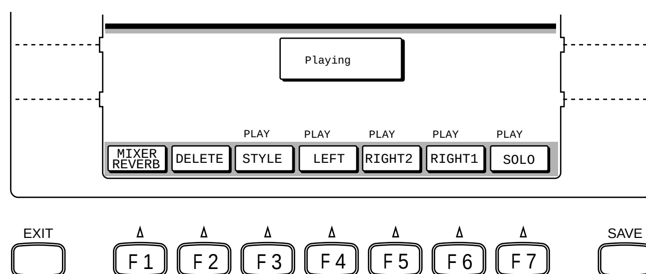
□ **操作 2**

PLAY/STOPボタンを押します。

録音内容が再生されます。

演奏したとき、聞こえた音が全て録音されています。





ここで録音した内容は、電源を切ると消えてしまいます。
必要な場合は、ディスクに保存してください。（Page...104 参照）

本機のレコーダーについて

レコーダーでは、演奏した情報を MIDI データとして記録します。
録音後、記録した MIDI データを書き換えることで音色やテンポ , 音程など自由に変更できます。

本機レーコーダーは、16 トラック +2 トラック装備しており、これらトラックの中に録音された曲データを「ソング」といいます。

先程、ソロパート / ライト 1 パート / ライト 2 パート / レフトパート / スタイルの 5 つのパートを録音しましたが以下のように各トラックに書き込まれています。

トラック		録音内容
トラック　1		ソロパートの録音内容
トラック　2		ライト 1 パートの録音内容
トラック　3		ライト 2 パートの録音内容
トラック　4		レフトパートの録音内容
トラック　5		
トラック　6		
トラック　7		
トラック　8		
トラック　9		
トラック１０		
トラック１１		
トラック１２		
トラック１３		
トラック１４		
トラック１５		
トラック１６		
テンポトラック		録音時のテンポ変更などの情報
スタイルトラック	（コードトラック）	コード進行の内容
	（スタイルトラック）	バリエーション / フィル / スタイル変更 / ボリューム

レコーダーで録音した内容は、上記のようにトラック 1 〜 4 とテンポトラック , スタイルトラックの 6 トラックを使用しています。スタイルは、16 トラック以外のスタイルトラックに録音されます。

後で説明するアドバンストレコーダー（Page...60 参照）では、このレコーダーに関する多くの機能が用意されており、オリジナルソングの作成に便利です。

7. ディスク内の曲データを再生しましょう。（ソングセレクト）

ここでは、ディスク内のソングを再生させるための専用機能を説明します。

●本機で使用できるディスクソフトについて

本機で使用できるディスクは下記の通りです。

・**CPフォーマット**
本機で制作したソングを保存したディスクを再生することができます。
本体内では、Internal（インターナル）フォーマットと呼んでいます。

・**スタンダードMIDIファイル（SMF）**
音符や音程、テンポなどの演奏データをディスクに保存する統一規格です。メーカーを問わず SMF 対応の演奏データディスクは、SMF 対応の電子機器で読み取ることができます。

・**Q-80フォーマット**
Q-80 とは、KAWAI のシーケンサーです。
Q-80 及び Q80-EX で作成した演奏データを再生することができます。

本機は GM/SMF 対応機種です。

GM(ｼﾞｪﾈﾗﾙ・ﾐﾃﾞｨ)とは、音色配列に関する世界統一規格です。
GM 対応の機器で　GM 対応の演奏データを再生させると、メーカーの違いに関係無く同じような音色で再生されます。
GM 対応商品には、右記のマークが記載されています。

SMF(ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ・ﾐﾃﾞｨ・ﾌｧｲﾙ)とは、音符や音程 , テンポなどの演奏データディスクの統一規格です。
メーカーを問わず SMF 対応の演奏データディスクは、SMF 対応の電子機器で再生ができます。



この 2 つの規格に準拠したディスクソフトであれば、問題なく再生できます。
SMF には、SMF フーマット 0/1 の 2 種類ありますが、両方とも使用できます。
SMF に対応しているが、GM に対応していないディスクソフトの場合は、推奨の音色で演奏されない場合があります。

⃠ フロッピーディスクの取り扱いについて

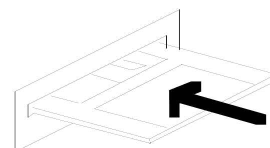
◆ディスクをスピーカーなどの磁気を帯びたものに近づけないでください。データが壊れる恐れがあります。

◆本機の電源を切るときは、ディスクを取り出してください。長時間ディスクを本体の中にいれておくとディスクが汚れ故障の原因になります。
本体より取り出したディスクは、専用のケースに入れ磁気を帯びた物より離れた場所で保管してください。

◆演奏データを読み込んでいる最中(ディスクドライブ左下のランプが点滅中)は、ディスクを取り出さないでください。演奏データが壊れたり、ディスクドライブの故障につながります。

□ **操作 1**

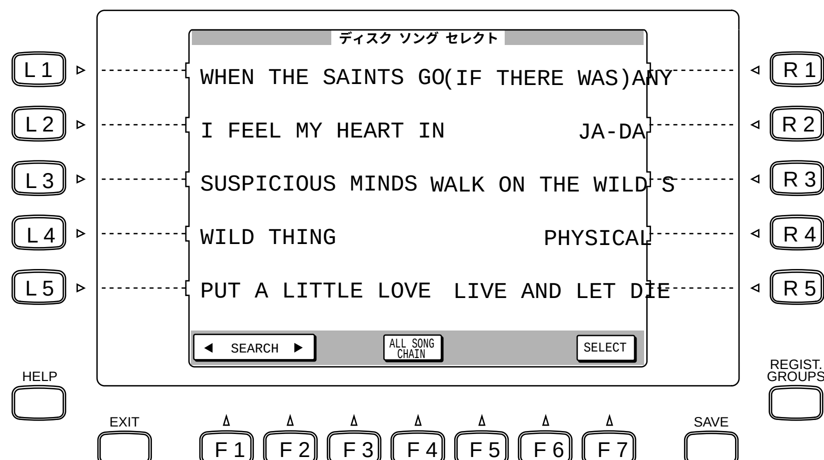
ディスクドライブにソングの入ったディスクをラベルの面を上にして挿入します。



□ **操作 2**

SONG SELECTボタンを押します。

ディスプレイにソング名が表示されます。

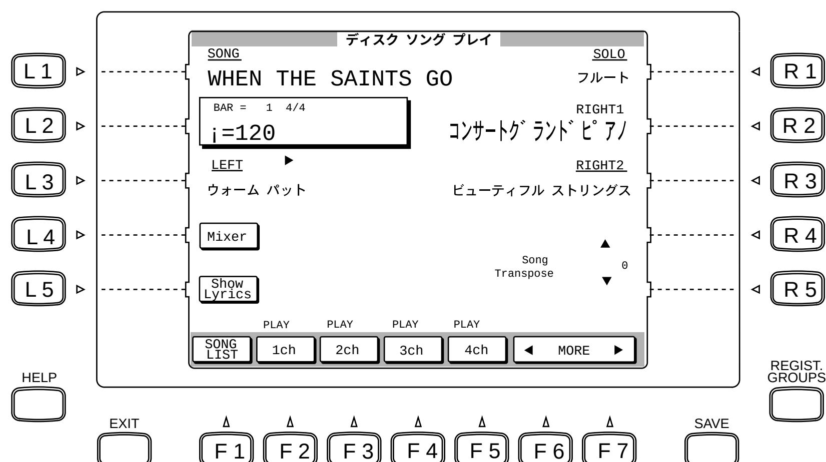


□ **操作 3**

F1/2（SEARCH）ボタンでディスク内の他のソングを表示します。

F4（ALL SONG CHAIN）ボタンでディスク内の曲を初めから順番に全曲連続して再生します。

F7（SELECT）ボタンで選択します。



□ **操作 4**

PLAY/STOPボタンを押すと演奏が開始します。

L4（Mixer）ボタンでミキサー画面、

L5（Show Lyrics）ボタンで歌詞を表示します。（歌詞が存在する場合のみ）

F1（SONG LIST）ボタンでソングリスト画面へ戻ります。

F2～5（チャンネル）ボタンで各トラックのミュート設定、F6/7（MORE）ボタンで他のトラックを表示します。

R4/5でトランスポーズをかけることができます。
ダイヤルでは、各音色パートの音量と、テンポを設定します。L2/3,R1～3でテンポ、パートにカーソルを移動した後、ダイヤルで値を設定します。

このソングセレクトは、外部ディスクを歌詞表示を含めて、再生するためのみの機能で、録音したり変更したりすることはできません。
曲の中の音色を変えたり、細かいエディットをしたい場合は、Disk Load（ディスク ロード）（Page..102参照）でソングを本体内にロードした後、Advanced Recorder（アドバンストレコーダー）（Page..60参照）の中の機能をご使用下さい。

【応用編】

1. サウンド

ここでは、音色に関する機能を説明していきます。

1）ミキサー画面

ミキサー画面では、パート毎にリバーブ , パン , ボリュームの値を設定することができます。
" MORE " で次画面へ移れば、スタイルの 6 つのパートについてボリュームを設定することができます。

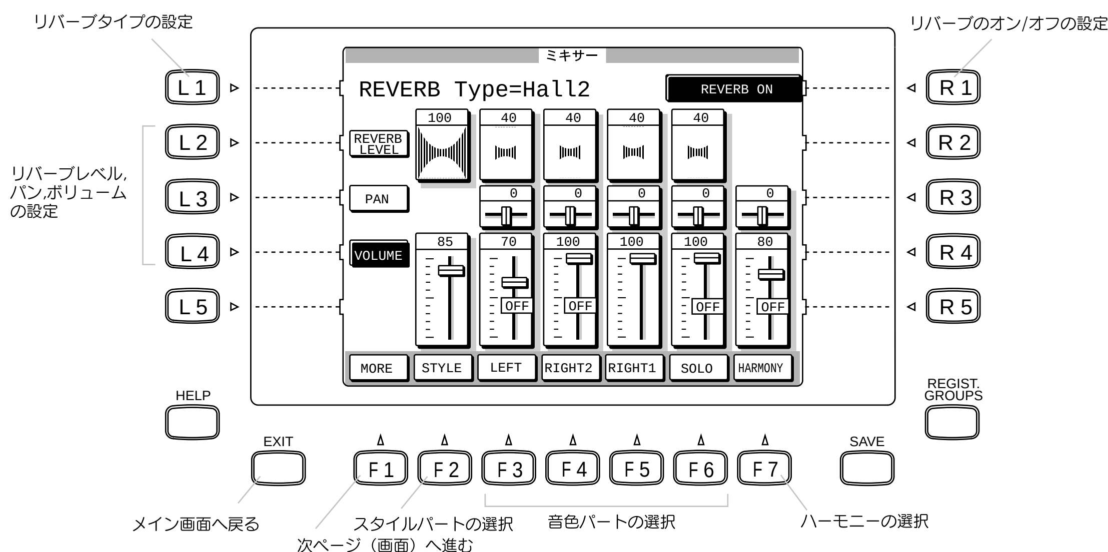
□ 操作 1

基本画面の時にF1（MIXER REVERB）ボタンを押します。

ディスプレイにミキサー画面が表われます。

□ 操作 2

L1〜5,R1〜5,F2〜7ボタンで画面上値を変更する箇所を選択し、ダイヤルで値を設定します。



LEFT,RIGHT2,SOLO パートが OFF となっているのは、PART ボタンがオフになっているからです。
HARMONY を ON にする場合は HARMONY ボタンを押してオンにします。

- **REVERB Type（リバーブタイプ）［L1］**
  リバーブ（残響音）の種類。
  Hall1/2,Stage1/2,Room1/2,Plate の 7 種類より選択できます。（次ページ参照）

- **REVERB LEVEL（リバーブレベル）［L2］**
  リバーブのかかり具合です。

- **PAN（パン）［L3］**
  左右の音量バランスです。

- **VOLUME（ボリューム）［L4］**
  音量の調節をします。

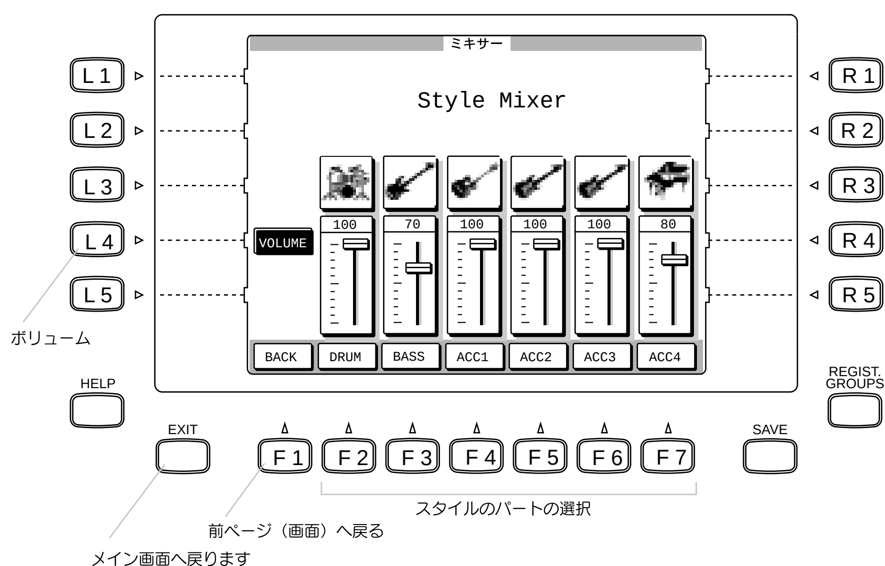
- **REVERB ON/OFF（リバーブオン/オフ）［R1］**
  リバーブのオン / オフを設定します。

リバーブの種類

- **Hall1（ホール1）　：スタンダードなホールでの残響音をシミュレートしています。**
- **Hall2（ホール2）　：小さなホールでの残響音をシミュレートしています。**
- **Stage1（ステージ1）：スタンダードなステージでの残響音をシミュレートしています。**
- **Stage2（ステージ2）：小さなステージでの残響音をシミュレートしています。**
- **Room1（ルーム1）　：スタンダードな室内での残響音をシミュレートしています。**
- **Room2（ルーム2）　：小さな部屋での残響音をシミュレートしています。**
- **Plate（プレート）　：金属板リバーブをシミュレートしています。**

F1 ボタンで次ページへ進みます。次ページでは、スタイルの各パートごとの音量を設定します。
スタイル演奏時に各パートの音量バランスを設定します。

□ 操作 3
F1（MORE）ボタンで次ページのスタイルパートの音量設定画面へ移ります。



F2 ～ 7 ボタンで、パートを選び、ダイヤルで値を設定します。
ディスプレイ上のレバー（フェーダー）が動きます。

2）効果（エフェクト）

音にさまざまな変化を与えることをエフェクトをかけるといいます。
本機には、以下のようにいろいろなエフェクトが内蔵されています。

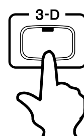
◆ 3-D（CP150のみ）

3 次元立体音響により音に臨場感を与えます。（CP130 には、ありません。）

□ **操作 1**

3-Dボタンを押します。

ボタンのランプが点灯します。



◆ エフェクト

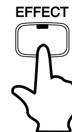
EFFECT ボタンでは、エフェクトのオン / オフとエフェクトの種類を設定します。

◇ エフェクトのオン/オフ

□ **操作 1**

EFFECTボタンを押します。

ボタンのランプを点灯させると音色にエフェクトがかかります。
工場出荷時にあらかじめ音色毎に設定されているエフェクトがかかります。



◇ エフェクトの種類やその他パラメータを設定

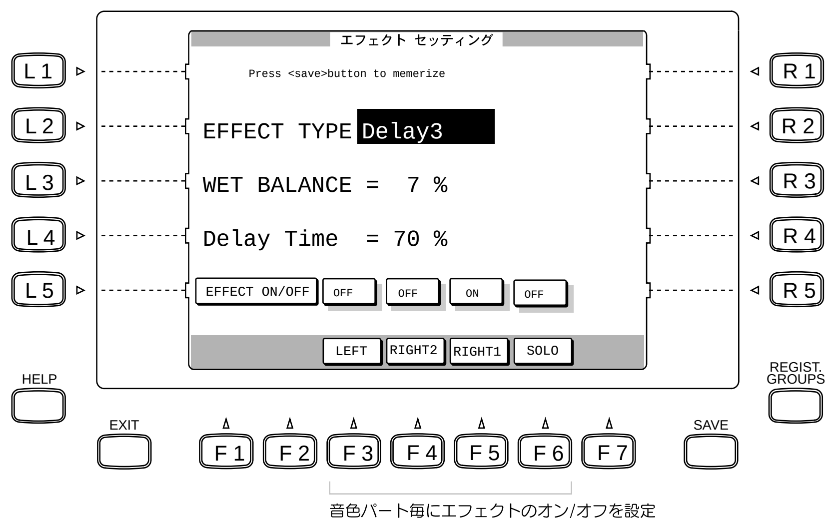
□ **操作 1**

EFFECTボタンを2～3秒押しつづけます。

ディスプレイにエフェクト設定画面が表示されます。

□ **操作 2**

L2/L3/L4でエフェクトタイプと、そのウエットバランス（効果のかかり具合）などのパラメータを選択し、ダイヤルで値を設定します。



エフェクトタイプとそのパラメータの値の範囲

• Chorus（コーラス）
（WET BALANCE：0～100%　RATE：0.0～12.7Hz）
元々の音にピッチのゆらぎをもつ音を合わせることにより、音に広がりを加えます。

• Flanger1/2（フランジャー1/2）
（WET BALANCE：0～100%　RATE：0.0～12.7Hz）
ダイレクト音にピッチ（音程）が微妙にずれた音を加えて、ジェット機上昇効果音のようなフランジング効果のシミュレートです。

• Ensemble（アンサンブル）
（WET BALANCE：0～100%　RATE：0.0～12.7Hz）
下記セレスタよりも複雑な変調を加えた効果です。

• Celeste（セレスタ）
（WET BALANCE：0～100%　RATE：0.0～12.7Hz）
３相のコーラスです。コーラスをさらに柔らかくした効果です。

• Delay1/2/3（ディレイ1/2/3）
（WET BALANCE：0～100%　DELAY TIME：0～100%）
元の音に山びこ（エコー）のような反響音を加える効果です。

• Auto Pan（オートパン）
（WET BALANCE：0～100%　RATE：0.0～12.7Hz）
音を左右に振ります。

• Tremolo（トレモロ）
（WET BALANCE：0～100%　RATE：0.0～12.7Hz）
音量を連続的に変化させ音に揺れを与えます。

• Tremulant（トレミュラント）
（WET BALANCE：0～100%　RATE：0.0～12.7Hz）
パイプオルガンの効果の１つです。

・WET BALANCE（ウエットバランス）：効果のかかり具合。
・RATE（レイト）：変調スピード。
・Delay Time（ディレイタイム）：ディレイの長さ。

• Phaser1/2（フェーザー1/2）
（WET BALANCE：0～100%　RATE：0.0～12.7Hz）
位相変調を行い音にうねりを与えます。

• Rotary1/2/3（ロータリー1/2/3）
（WET BALANCE：0～100%　RATE：SLOW/FAST）
ロータリー（回転式）スピーカーを使って得られる効果です。

• Aut Wah（オートワウ）
（WET BALANCE：0～100%　SENSE：0～100%）
音の周波数にピークを持たせ、自動的にそのピークを移動させる効果です。

• Enhancer（エンハンサー）
（WET BALANCE：0～100%　SENSE：0～100%）
音の輪郭を補正して、音を際立たせる効果です。

• Distortion（ディストーション）
（WET BALANCE：0～100%　SENSE：0～100%）
音を歪ませます。

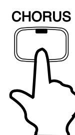
• Sympathetic Res.（シンパシイティック レゾナンス）
（WET BALANCE：0～100%　SENSE：0～100%）
ダンパーペダルを踏んだとき、音にピアノ全体の共鳴音を加えます。
（CP130 のみ）
CP150は、同時使用可能エフェクトとして、システムの中で設定します。（Page...115参照）

・sense（センス）：感度

◆ コーラス（CP150のみ）

CHORUS ボタンでは、コーラスのオン / オフとコーラスの種類を設定します。
（CP130 にはありません。）

◇ コーラスのオン/オフ



□ 操作 1

CHORUSボタンを押します。

ボタンのランプを点灯させると音色にコーラスがかかります。

◇ コーラスの種類を設定

□ 操作 1

CHORUSボタンを2～3秒押しつづけます。

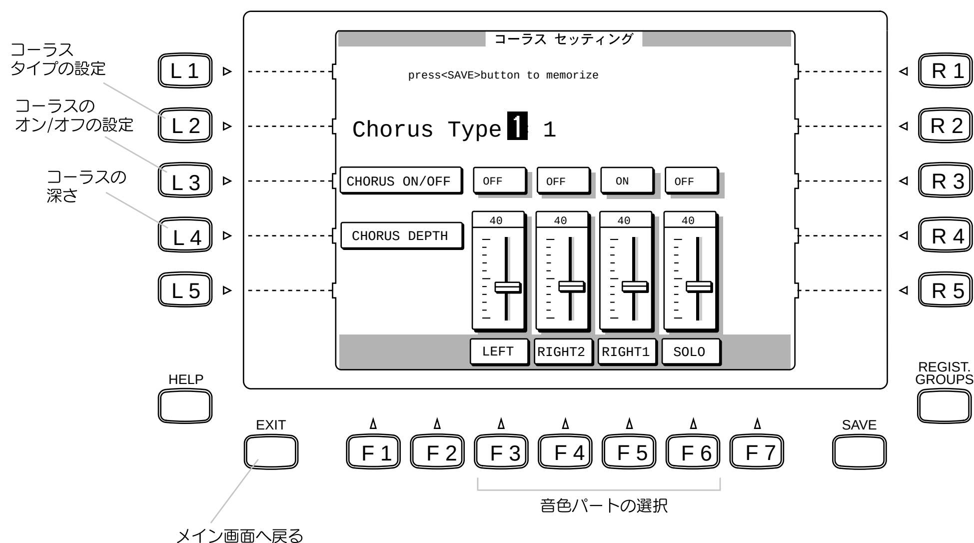
ディスプレイに設定画面が表示されます。

□ 操作 2

F3～6で設定を行う音色パートを設定します。

L2/L3/L4でコーラスタイプ, オン/オフ, デプス（コーラスのかかり具合）を選択し、ダイヤルで値を設定します。

コーラスタイプは、レイトやデプスの値が異なる 4 種類のコーラスより選択できます。
デプスの値の設定範囲は「0 ～ 100」です。



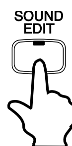
●エフェクトのプライオリティー（優先順位）について

エフェクトとコーラスは、本体内に同時に１タイプづつしか使用できません。
従って、複数のパートがオンになったとき、それぞれに異なるエフェクト / コーラスをかけることはできません。
本体のエフェクト / コーラスセッティングは、現在オンになっているパートの最もプライオリティーの高い音色の設定に従います。プライオリティーは、ソロ＞ライト１＞ライト２＞レフトの順になっています。ライト１のみオンのときは、ライト１の音色のエフェクト / コーラス設定になりますが、ここでソロをオンにすると、エフェクト / コーラスは、ソロパートの音色のものになります。またそのときソロパート以外のパートのエフェクトは、自動的に「オフ」になります。コーラスのオン / オフは、各音色の持っているオン / オフに従います。

3）サウンドエディット

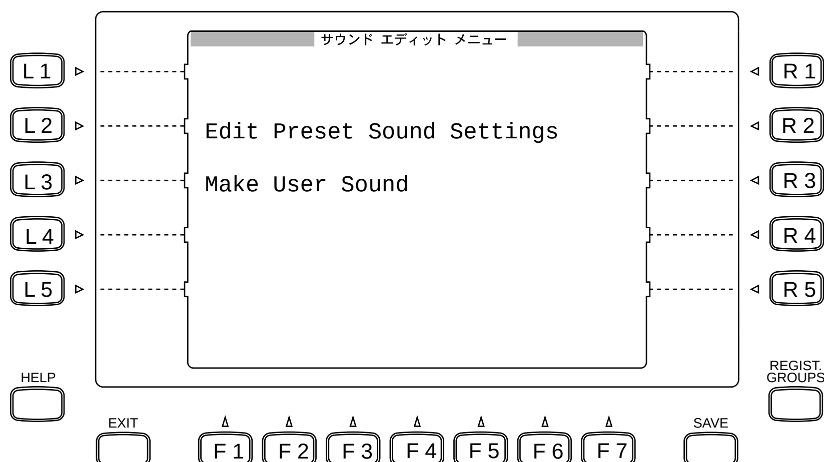
応用編
1 サウンド

サウンドエディットでは､内蔵音色のエフェクトの設定を変更したり内蔵音色を基にエンベロープやフィルターを動かして､新しいユーザー音色を作ったりできます。
パネルの音色のエフェクト設定を直接書き換える場合と新しいユーザーサウンドとしてユーザーエリアに保存する場合とがあります。



□ 操作 1

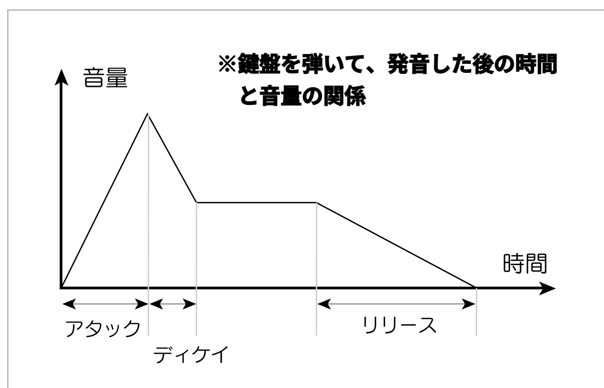
SOUND EDITボタンを押します。



エディット方法としては、2通りあります。

- **Edit preset Sound Settings（エディット プリセット サウンド セッティング）［L2］**
  内蔵音色には、工場出荷時にあらかじめエフェクトが設定されています。エディット プリセット サウンド セッティングでは、このエフェクト設定を変更します。
  変更後セーブを行なってください。次回その音色を選択したとき、セーブしたエフェクトの内容で呼び出されます。

- **Make User Sound（メイク ユーザーサウンド）［L3］**
  上記、エフェクトとコーラスの設定に加えて、ビブラート / ブライト / アタック / ディケイ / リリースの設定を変更することができます。
  設定後、ユーザーサウンドとして内蔵音色とは別に保存されます。



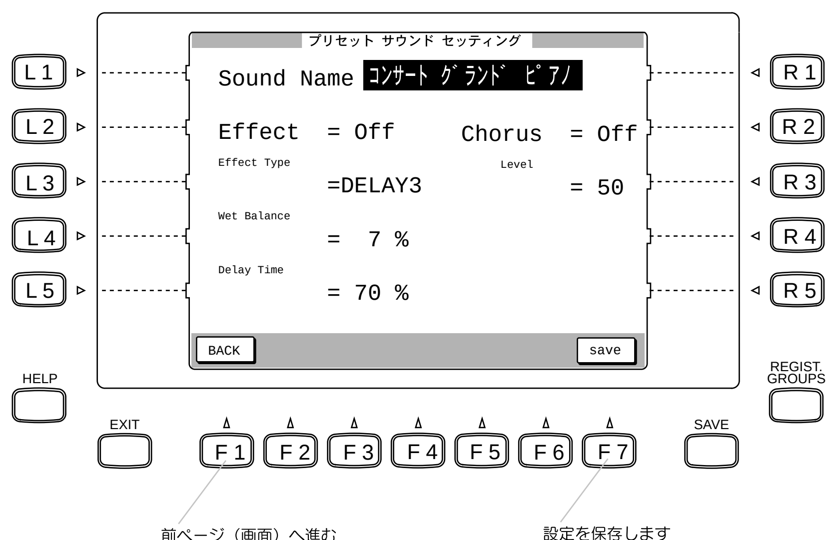
◆ Edit preset Sound Settings（エディット プリセット サウンド セッティング）

エディット プリセット サウンド セッティングで内蔵音色に変更を加えます。

□ 操作 1

SOUND EDITボタンを押した後、L2（Edit Preset Sound Settings）ボタンを押します。

エフェクトとコーラスの設定をします。（CP130 には、コーラスの設定はありません。）



- **Effect on/off（エフェクト　オン/オフ）［L2］**
  エフェクトのオン / オフを設定します。

- **Effect Type（エフェクトタイプ）［L3］**
  エフェクトの種類を設定します。

- **Wet Balance（ウエットバランス）［L4］**
  効果のかかり具合です。

- **Delay Time（ディレイタイム）［L5］**
  エフエクトのパラメータです。
  （エフェクトタイプによってパラメーター名は変わります。）

- **Chorus on/off, Level（コーラス　オン/オフ, レベル）［R2/3］**
  コーラスのオン / オフとレベルを設定します。

□ 操作 2

L1〜5,R2/3ボタンで設定項目を選択しダイヤルで値を設定します。

□ 操作 3

F7ボタンを押して保存します。

内蔵音色に上書きされます。

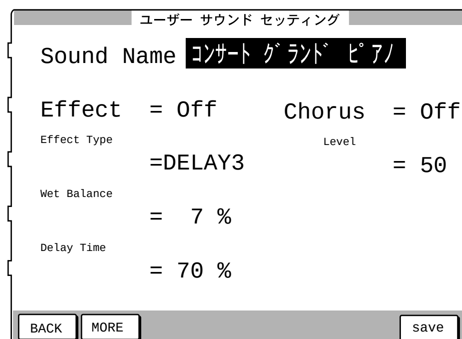
◆ Make User Sound（メイク ユーザー サウンド）

メイク ユーザー サウンドで変更を加えた音色は、ユーザーサウンドとして内蔵音色とは別に保存することができます。

□ 操作 1

SOUND EDITボタンを押した後、L3（Make User Sounds）を押して選択します。

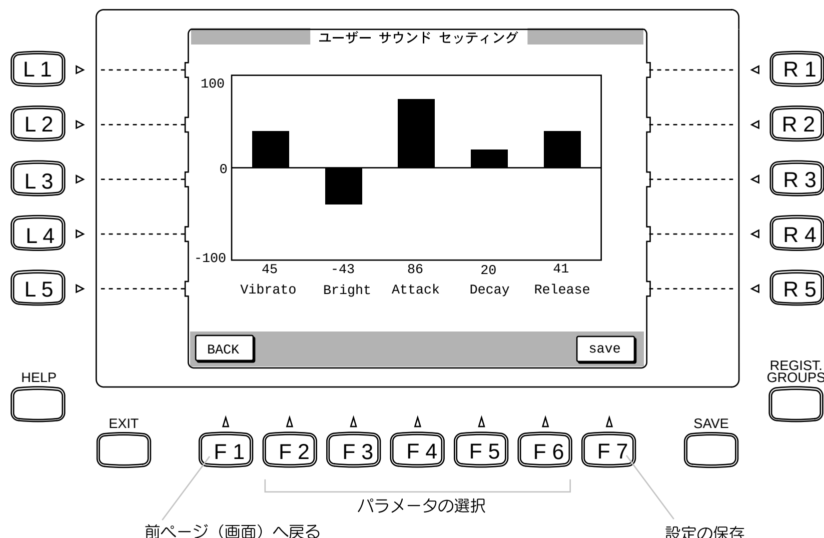
メイクユーザーサウンドでのエフェクトとコーラスの設定画面が表示されます。
エディット プリセット サウンド セッティングと同様に設定できます。



□ 操作 2

F2（MORE）ボタンを押すと次の設定画面へ移ります。

ここでは、ビブラート / ブライト / アタック / ディケイ / リリースの設定を行います。



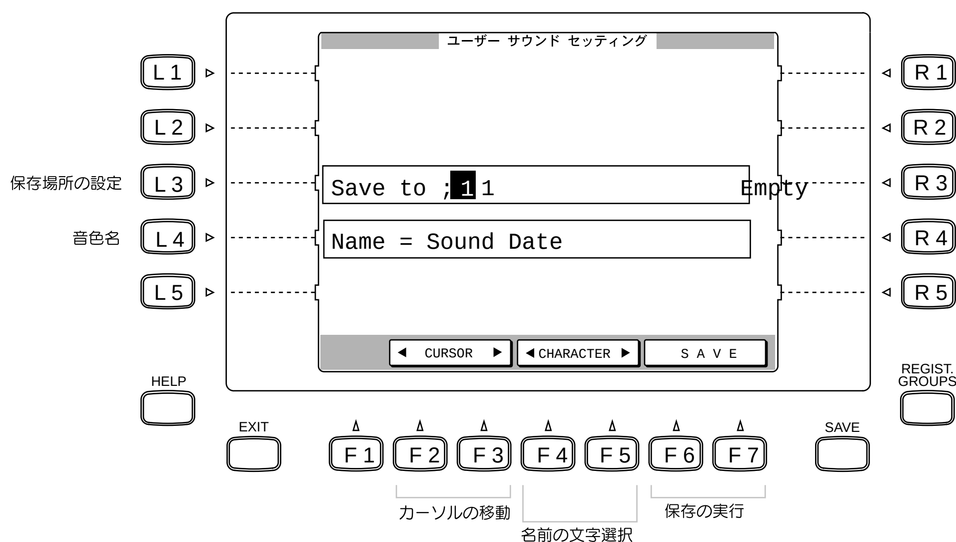
- **Vibrato（ビブラート）［F2］**
  音の揺れを設定します。
  数値が増えるに従って揺れが大きくなります。
- **Bright（ブライト）［F3］**
  音色の明暗です。
- **Attack（アタック）［F4］**
  音の立ち上がりの時間を設定します。
- **Decay（ディケイ）［F5］**
  アタック後サスティーンのレベルまでの音量が下がる時間を設定します。
- **Release（リリース）［F6］**
  鍵盤を放してから、音が消えるまでの時間を設定します。

□ 操作 3

F2～6ボタンで項目を選び、ダイヤルで値を設定します。

□ **操作 4**

前ページ画面よりF7（SAVE）ボタンを押すと保存の画面が表示されます。



L3 の行でユーザーサウンドを何処に保存するか指定します。
L4 の行でその音色に名前をつけます。

□ **操作 5**

ダイヤルで保存場所のナンバーを設定します。
次にL4を押して行を移動し、F2/3（CURSOR）ボタンでカーソルを移動しながら、F4/5（CHARACTER）ボタンかダイヤルを使って文字を選びます。

□ **操作 6**

F6/7（SAVE）ボタンを押して保存作業を実行します。

2. スタイル

1）コンダクター

コンダクターでは、簡単なスタイルの変更を行います。
イージーエディットとアドバンストスタイルエディットの2通りがあり、イージーエディットでの変更内容を保管すると内蔵スタイルに上書きされ、アドバンストエディットでの変更内容は、ユーザーコンダクターとして保存されます。

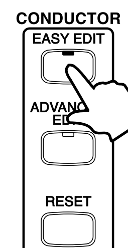
◆ イージーエディット

START/STOP ボタンを押して、スタイルの演奏を聴きながらエディットができます。

□ **操作 1**

EASY EDITボタンを押します。

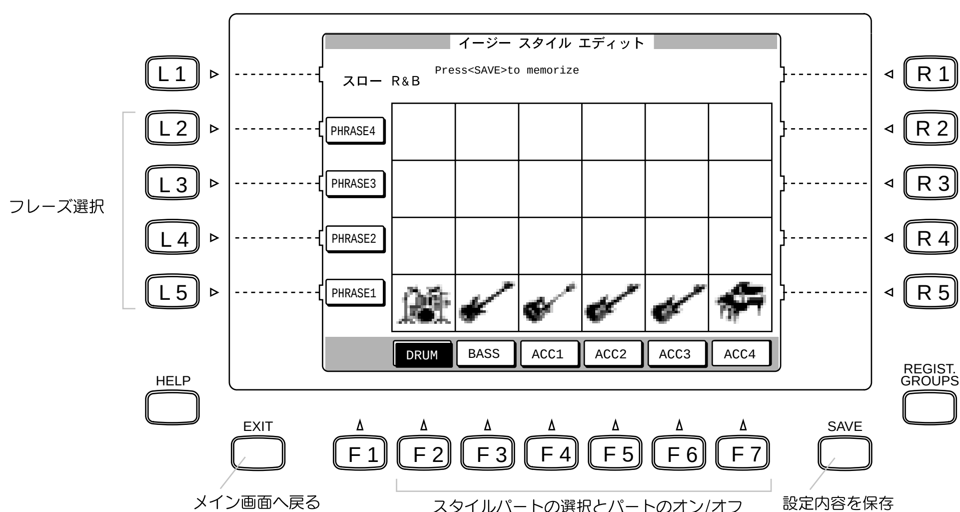
ボタンのランプが点灯しディスプレイにイージーエディット画面が表示されます。



□ **操作 2**

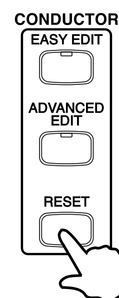
F2〜7ボタンでスタイルのパートを選択し、L2〜5またはR2〜5ボタンでフレーズを選びます。

1 つのパートに対し、4 つのフレーズが用意されています。



□ **操作 3**

RESETボタンを押して設定内容を設定前の内容に戻すことができます。



□ 操作 4

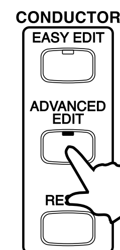
SAVEボタンを押して保存します。

「SAVING..」と表示し実行が完了します。
イージーエディットでの設定内容は、内蔵スタイルに上書きされます。

保存をしないで電源を切ると設定内容は消えてしまいます。
一度保存すると、RESET ボタンで工場出荷状態には戻らなくなります。
工場出荷時状態に戻したいときは、システム内の Soft Reset（ソフトリセット Page... 113）を実行してください。

◆ アドバンストスタイルエディット

変更を加えたいスタイルの演奏をスタートさせます。



□ 操作 1

ADVANCED EDITボタンを押します。

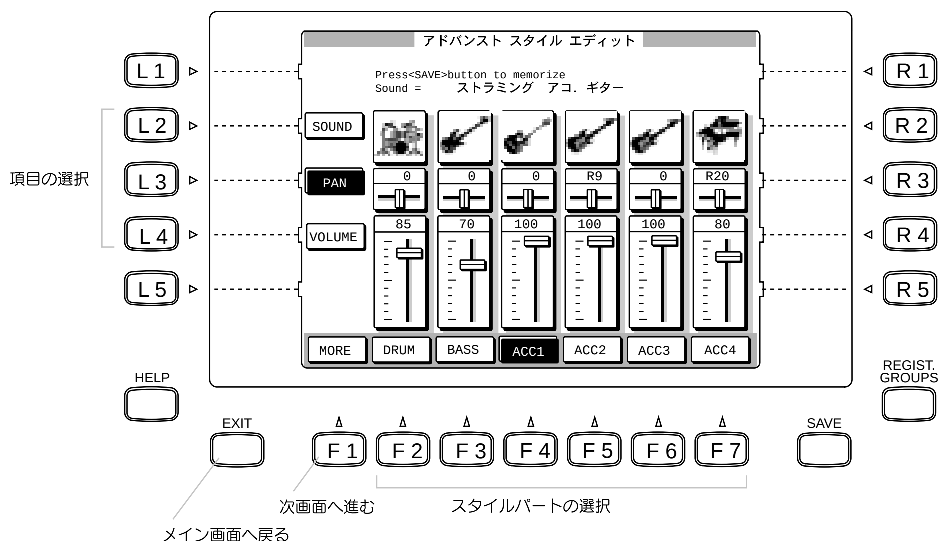
ボタンのランプを点灯しディスプレイにアドバンストエディット画面が表示されます。

□ 操作 2

F2〜7ボタンでスタイルのパートを選択し、L2〜4またはR2〜4ボタンで設定項目を選びます。

ここでは、SOUND（音色）/PAN（パン）/LEVEL（音量）の設定をします。
ACC1 パートの PAN を調節する場合、F4 ボタンと L3 ボタンを押します。

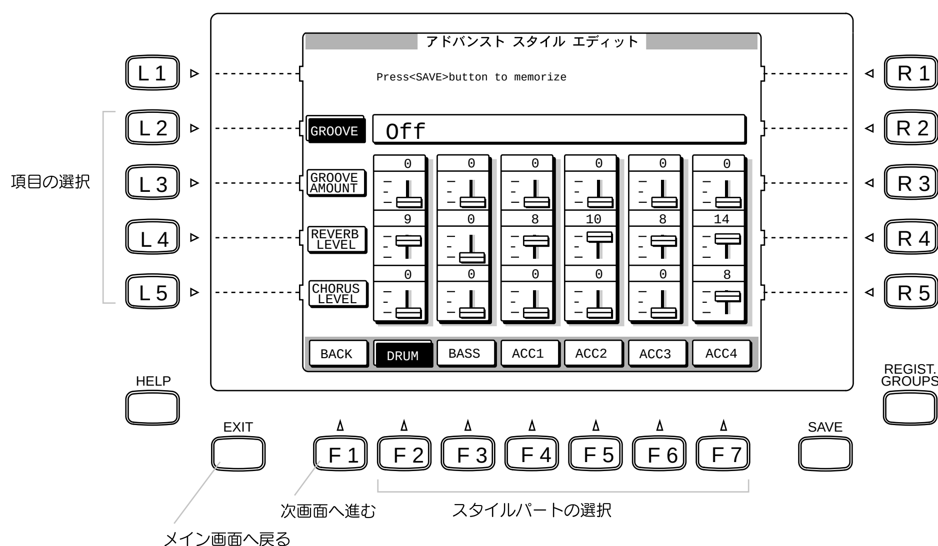
値はダイヤルで設定します。



Reset ボタンを押すと、現在選ばれているパラメーターのみ工場出荷状態に戻ります。

□ 操作 3

F1（MORE）ボタンを押して次の設定画面へ移ります。



• **GROOVE（グルーヴ）**
{設定値：Off, 8Triplet 1～8, 16Triplet, Swing}
グルーブは、演奏中のリズム感に関するものです。グルーブパラメータの要素が、スタイルの中で個々のビートが設定されているリズム上の位置を徐々に変えていきます。

• **GROOVE AMOUNT（グルーヴ アマウント）**
{設定値：0～9}
グルーブの度合を設定します。

• **REVERB LEVEL（リバーブレベル）**
{設定値：0～15}
リバーブ効果の深さを設定します。

• **CHORUS LEVEL（コーラスレベル）**
{設定値：0～15}
コーラス効果の深さを設定します。

□ 操作 4
F2～7ボタンでパートを選択し、L2～5またはR2～5ボタンで設定項目を選び、ダイヤルで値を設定します。

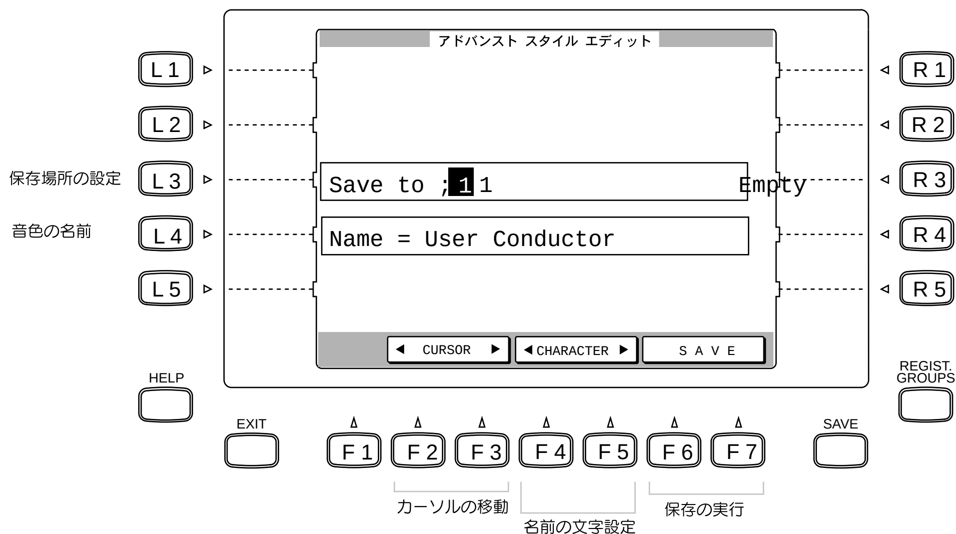
□ 操作 5
RESETボタンを押せば設定前の内容に戻すことができます。

設定が済んだら保存してください。
保存をしないで電源を切ると設定内容は消えてしまいます。

◇ 保存（セーブ）

アドバンストスタイルエディットで変更を加えたスタイルは、ユーザーコンダクターとして本体に保存することができます。

□ 操作 1
SAVEボタンを押します。
ディスプレイにセーブ画面が表示されます。



□ 操作 2

ダイヤルで保存場所のナンバーを設定します。
次にL4を押して行を移動し、F2/3（CURSOR）ボタンでカーソルを移動しながら、F4/5（CHARACTER）ボタンかダイヤルを使って文字を選びます。

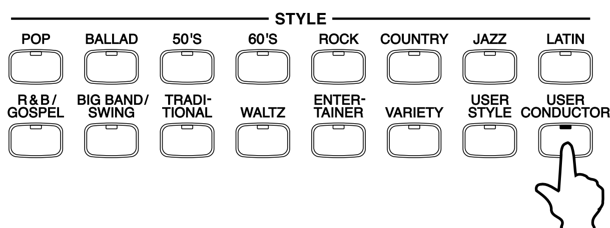
□ 操作 3

操作 2で保存場所と名前をつけたら、F6/7（SAVE）ボタンを押して保存作業を実行します。

Exit ボタンを数回押してメイン画面に戻ります。

□ 操作 4

保存したスタイルは、USER CONNDUCTORボタンを押して呼び出すことができます。



内蔵スタイルと同様に選択することができます。

3. レコーダーに関する機能

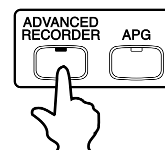
基礎編の「6.録音（レコーダー）」で演奏を内蔵シーケンサーへ録音しましたが、この内蔵シーケンサーを活用する上で便利な機能を装備しています。

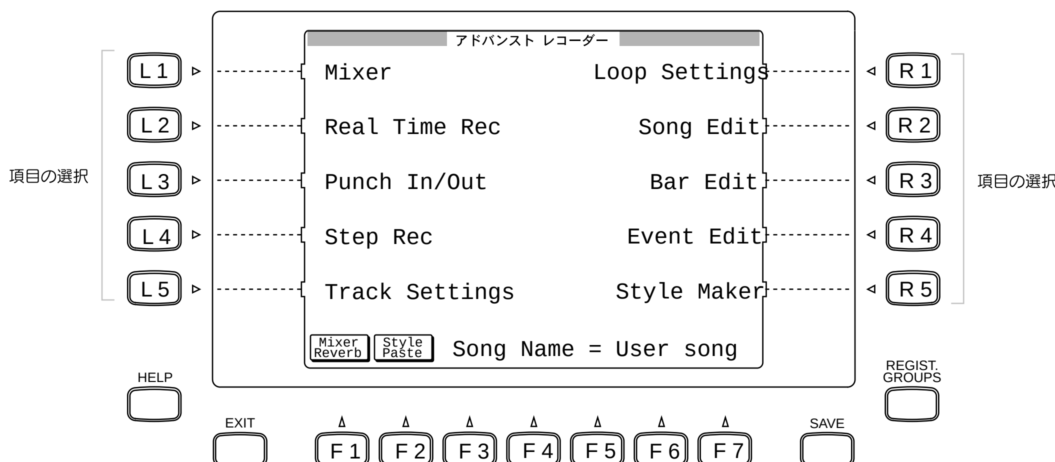
1）アドバンストレコーダー（ADVANCED RECORDER）

□ 操作 1

ADVANCED RECORDERボタンを押します。

ボタンのランプが点灯しアドバンストレコーダーの一覧がディスプレイに表示されます。





- **Mixer（ミキサー） [L1]**
  16 トラックのエフェクト、コーラス、パン、ミュート、ボリュームの設定をします。

- **Real Time Rec（リアルタイムレコード） [L2]**
  鍵盤を弾きながら録音する機能です。

- **Punch In/Out（パンチ イン/アウト） [L3]**
  録音した演奏の途中を再録音する機能です。

- **Step Rec（ステップレコード） [L4]**
  1つ1つ音符を入力しながら録音する機能です。鍵盤楽器が弾けない人でも録音できます。

- **Track Settings（トラックセッティング） [L5]**
  トラック毎の音色 プレイ / ミュートの内容を表示、設定変更します。

- **Loop Settings（ループセッティング） [R1]**
  繰り返しする部分の設定をします。

- **Song Edit（ソングエディット） [R2]**
  ソング全体に関する設定をします。

- **Bar Edit（バーエディット） [R3]**
  小節毎の設定をします。

- **Event Edit（イベントエディット） [R4]**
  録音されたノートデータやプログラムチェンジなどの情報を1つ1つ表示して内容を変更します。

- **Style Maker（スタイルメーカー） [R5]**
  オリジナルのスタイルの作成をします。

◆ スタイルペースト（Style Paste）

スタイルペースト（Style Paste）とは、レコーダで録音し、スタイルトラックに収められているスタイル演奏のデータをノートデータに変換し、他のトラックに展開する機能です。
スタイルトラックのデータは、CP シリーズ独自のデータです。
このデータは、他のシーケンサーなどの電子機器では使用できません。
スタイルペーストを行いスタイル演奏をノートデータへ変換すれば、他の電子機器でも使用可能となります。
スタイルペーストを行った場合、以下のようにトラックへ展開されます。

トラック	録音内容
トラック　１	ソロパートの録音内容
トラック　２	ライト１パートの録音内容
トラック　３	ライト２パートの録音内容
トラック　４	レフトパートの録音内容
トラック　５	
トラック　６	
トラック　７	
トラック　８	
トラック　９	Ｂａｓｓパート
トラック１０	Ｄｒｕｍ１パート
トラック１１	Ｄｒｕｍ２パート
トラック１２	Ａｃｃ１パート
トラック１３	Ａｃｃ１サブパート
トラック１４	Ａｃｃ２パート
トラック１５	Ａｃｃ３パート
トラック１６	Ａｃｃ４パート
テンポトラック	録音時のテンポ変更などの情報
スタイルトラック（コードトラック）	
（スタイルトラック）	

スタイルトラックのデータが各パート毎にトラックへ展開されます。

スタイルは、表面上は６つのパートで構成されていますが、実際はドラム /Acc1 パートが各々２パートからなります。

後に説明する、スタイルメーカーでもレコーダーで録音した演奏をスタイルに変更できますが、このときもスタイルペーストの作業が必要となります。

前ページ画面の左下に、スタイルペーストのボタンが表示されています。
レコーダーに録音されていない場合は、表示しません。

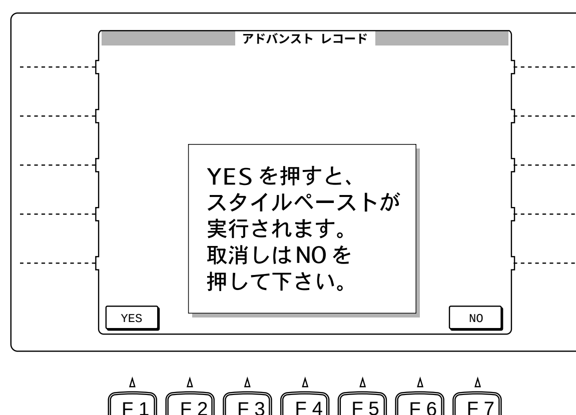
スタイルペーストの作業は以下のとおりです。

□ 操作 1

F2（Style Paste）ボタンを押します。

□ 操作 2

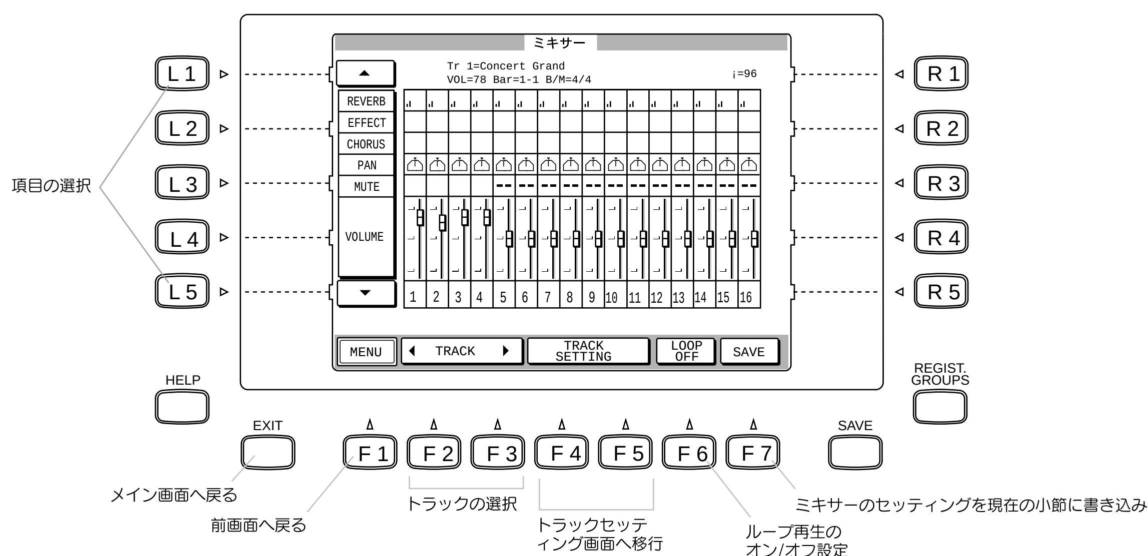
実行する場合はF7（YES）ボタンを押し、
中止する場合はF1（NO）ボタンを押します。



◆ ミキサー（Mixer）

内蔵シーケンサーに対するミキサーです。
16 トラックのリバーブ / エフェクト / コーラス / パン / ミュート / ボリュームの設定をします。

□ 操作 1
ADVANCED RECORDERボタンを押した後、L1（Mixer）ボタンを押します。



このミキサーは、再生中でも各パートの音量やエフェクト設定を変更して聴くことができます。
録音中にミキサーを動かして、その変化をリアルタイムに録音するということはできません。

□ 操作 2
F2/3（TRACK）ボタンでトラックを選択します。

□ 操作 3
L1/5ボタンで設定項目（REVERB,EFFECT,CHORUS,PAN,MUTE,VOLUME）を選択し、ダイヤルで値を設定します。

このミキサーの設定を、レコーダーの任意の小節の先頭に書き込むことができます。

□ 操作 4
レコーダーのFWD,RWDボタンで書き込みたい小節を表示させます。
そこでSAVEボタンを押せば、その小節の先頭にミキサーで変更した値が書き込まれます。

例えば、「 Bar=2-1 」と表示されていると、2 小節の 1 拍目以降にミキサーの設定が生かされます。
レコーダー内のデータは、電源を切れば消えてしまいますので必要ならディスクに保存してください。（Page...104 参照）

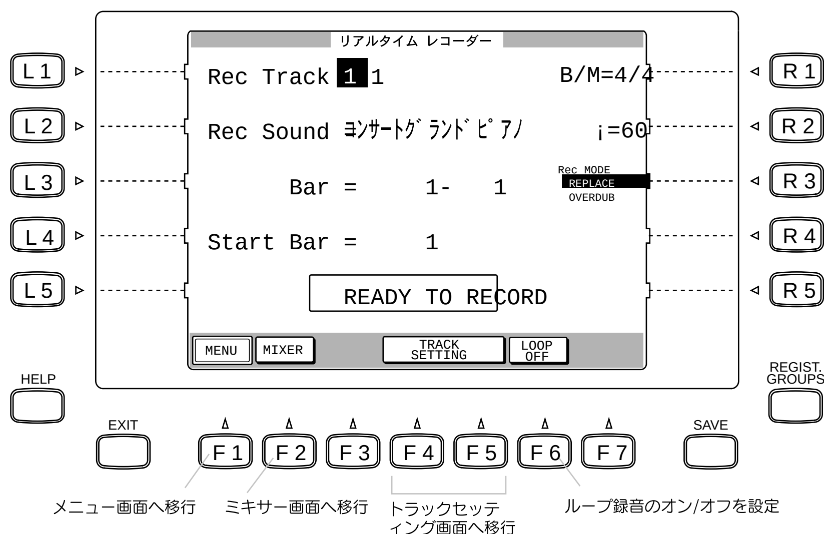
◆ リアル タイム レック（Real Time Rec）

録音音色とトラックを指定して、鍵盤を弾きながら録音をします。
レコーダーのトラックに録音を追加します。

□ 操作 1

ADVANCED RECORDERボタンを押した後、L2（Real Time Rec）ボタンを押します。

REC ボタンが点滅し録音待機状態となります。



- **Rec Track（レック トラック）［L1］**
  録音を行うトラックです。
- **Rec Sound/Bar（レック サウンド/バー）［L2］**
  録音を行う音色です。
  下段のバーは、小節を表示します。
- **Start Bar（スタート バー）［L4］**
  録音を始める小節です。
- **B/M（拍子）［R1］**
  録音する拍子です。
- **♩（テンポ）［R2］**
  録音するテンポを設定します。
- **Rec MODE（レック モード）［R3］**
  - **REPLACE（リプレース）**
    録音済みのトラックに録音する時、元のデータを消しながら新しい演奏を録音していきます。
  - **OVER DUB（オバーダブ）**
    録音済みのトラックに録音する時、元のデータを残しつつ新しい演奏を録音していきます。

□ 操作 2

L1~4,R1~3ボタンで設定項目を選択し、ダイヤルで値を設定します。

F6 ボタンでループをオンにすると「Loop Setting（ループセッティング）（Page...69 参照）の小節範囲を繰り返し録音します。
「ループ　オン」「オーバーダブ オン」に設定すれば、ドラムパートのループ録音に便利です。

□ 操作 3

PLAY/STOPボタンを押して録音を開始します。

REC ボタンと PLAY/STOP ボタンが点灯します。

□ 操作 4

再度PLAY/STOPボタンを押して録音を停止します。

REC ボタンと PLAY/STOP ボタンが消灯します。

自動的にミキサー画面へ移行し、録音したトラックのミキサー設定や、再生ができます。
再生するときは、RESET ボタンを押して頭出しした後、PLAY/STOP ボタンを押します。

◆ パンチ イン/アウト（PUNCH IN/OUT）

トラックの途中だけを録音します。
既に録音したトラックの途中を作り変えるときに便利な機能です。

□ 操作 1

ADVANCED RECORDERボタンを押した後、L3（Punch In/Out）ボタンを押します。



- **Rec Track/Bar（レック トラック/バー）［L1］**
  パンチイン / アウトを行うトラックです。
  2 行目のバーは、小節を表示します。

- **Start Bar（スタート バー）［L3］**
  再生を始める小節です。

- **Punch In Bar（パンチ イン バー）［L4］**
  録音を始める小節です。

- **Punch Out Bar（パンチアウト バー）［L5］**
  録音をやめる小節です。

- **B/M（拍子）［R1］**
  録音をする拍子です。

- **♩（テンポ）［R2］**
  録音するテンポです。

- **Rec MODE（レック モード）［R3］**
  REPLACE/OVER DUB を選択です。

- **Auto（オート）/Pedal（ペダル）［R5］**
  パンチ イン バー / パンチ アウト バーをペダルを踏むことで設定する場合は「Pedal」を指定します。「Pedal」を指定すると L4,L5 のパンチイン / アウトバーの設定範囲は、表示されなくなります。
  ペダルは、中央のソステヌートペダルを使用します。

□ **操作 2**

L1～5,R1～5ボタンで設定項目を選択し、ダイヤルで値を設定します。

□ **操作 3**

F4/5（REHEARSAL）ボタンで録音前に練習ができます。

□ **操作 4**

RECボタンで録音待機状態にします。

「Ready To Record」と表示されます。
再度 REC ボタンを押せばキャンセルできます。

□ **操作 5**

PLAY/STOPボタンで録音をスタートします。

操作 2 で設定した「Start Bar」より再生が始まり、「Punch In Bar」から「Punch Out Bar」までの間を録音します。
R5 ボタンで「Pedal」を指定すると 3 本のペダルのうちの中央のペダル（Center Pedal）の機能がパンチイン / アウトに変わります。録音をスタートした後、1 度踏み込むとパンチイン、もう一度踏み込むとパンチアウトとなります。

□ **操作 6**

再度PLAY/STOPボタンで録音をストップします。

◆ Step Rec（ステップ レック）

鍵盤を使って、1 つ 1 つ音符を入力しながら演奏を録音します。
楽器演奏のできない人でも曲データを作ることができます。

□ **操作 1**

ADVANCED RECORDERボタンを押した後、L4（Step Rec）ボタンを押します。

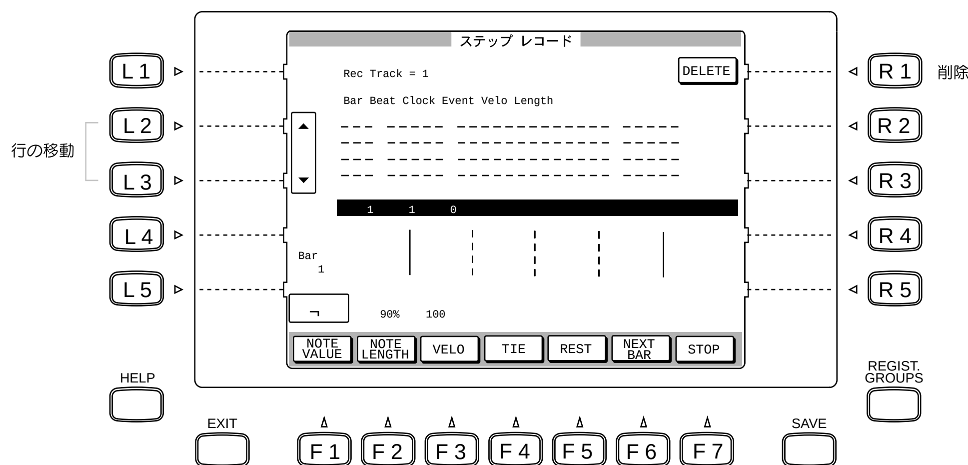
REC ボタンと PLAY/STOP ボタンが点滅します。



- **Rec Track（レック トラック）［L1］**
  録音を行うトラックです。
- **Rec Sound（レック サウンド）［L2］**
  録音を行う音色です。
- **Start Bar（スタート バー）［L3］**
  録音を始める小節です。
- **B/M（拍子）［R1］**
  録音をする拍子です。
  （既に他のトラックが録音済みのときは、変更できません。）
- **Rec MODE（レック モード）［R3］**
  REPLACE/OVER DUB を選択します。

□ 操作 2
L1〜3,R1/3ボタンで設定項目を選択し、ダイヤルで値を設定します。

□ 操作 3
F7（START）ボタンを押して、録音を開始します。



●NOTE VALUE［F1］
音符を指定します。
ここで設定した音符で、入力する音符の長さが指定されます。
4 分音符を選択すれば、96 クロックの長さを 1 ステップとして音符の入力ができます。

		クロック	休符
𝅝	全音符	384	𝄻
𝅗𝅥	2分音符	192	𝄼
♩	4分音符	96	𝄽
♩3	連符の表示	64	𝄽3
♪	8分音符	48	𝄾

		クロック	休符
♪3	連符の表示	32	𝄾3
𝅘𝅥𝅯	16分音符	24	𝄿
𝅘𝅥𝅯3	連符の表示	16	𝄿3
𝅘𝅥𝅰	32分音符	12	𝅀
𝅘𝅥𝅰3	連符の表示	8	𝅀3

●NOTE LENGTH［F2］
鍵盤を押している長さ（= ゲートタイム）です。
数値は、パーセントの値です。（10 〜 200%）
ノートレングスが 4 分音符の場合、レングスが 100%で 96 クロックです。50%で半分の 48 クロックとなります。100%以上を指定するとレガートになり、小さな値にすると、スタッカート的な演奏になります。

●VELO［F3］
鍵盤を押す力です。（key,1 〜 127）
値を「KEY」に設定すれば、実際に押した鍵盤の強さの値で入力されます。

●TIE［F4］
タイを押せば、ノートレングスで指定した音符の長さまで音を延ばします。
4 分音符の場合、96 クロックの長さだけ音を延ばします。

●REST［F5］
休符を打ちます。
ノートバリューで指定した音符の長さだけ休みます。

□ **操作 4**

F1～5ボタンを使って、入力する音符に関する設定を行います。

□ **操作 5**

音符（音階）の入力は、鍵盤を使って行います。

F6（NEXT BAR）ボタンで次の小節に移動します。

F7（STOP）ボタンで録音を終了します。

□ **操作 6**

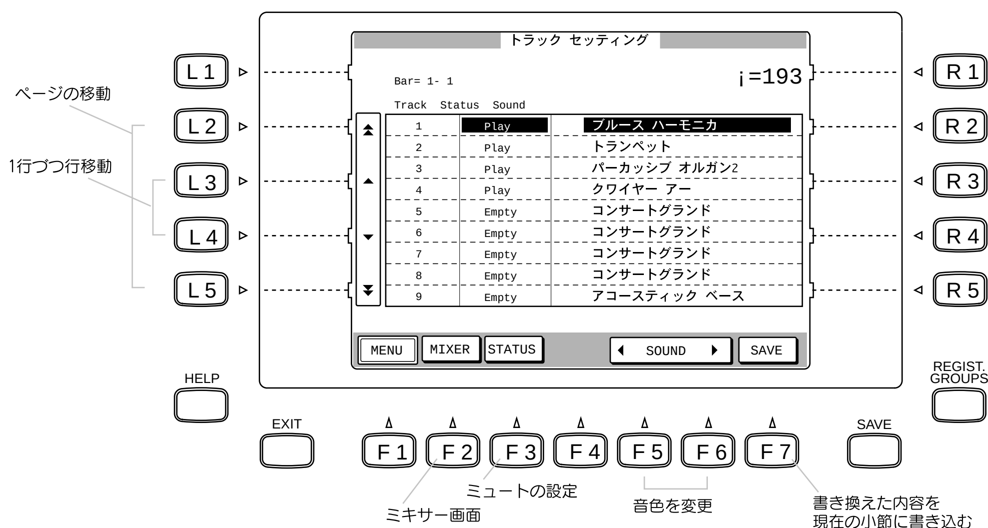
RESETボタンを押して録音曲の頭出しをした後、PLAY/STOPボタンを押して録音曲を再生します。

◆ トラックセッティング（Track Setting）

各トラックの音色設定やミュート状況を表示し変更します。

□ 操作 1

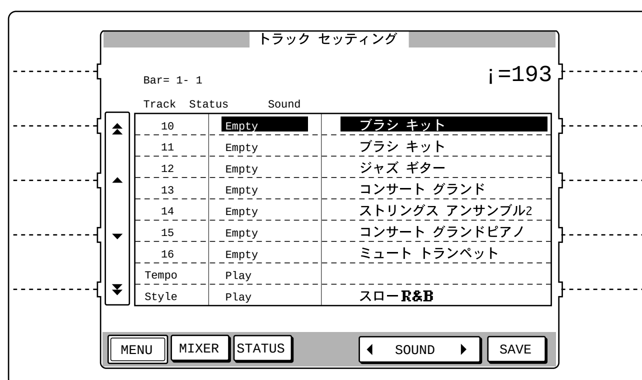
ADVANCED RECORDERボタンを押した後、L5（Track Setting）ボタンを押します。



トラック 1 ～ 9 までの状態が表示されます。
L5 ボタンを押せば、次ページの 10 ～ 16, テンポ , スタイルトラックが表示されます。

Status の行に「Play」と表示されているトラックは再生時に Sound の列に表示されている音色で再生されます。「Empty」と表示されているトラックは録音データがなにも無い空トラックと言うことです。

Status/Sound の内容とテンポを、変更できます。



□ 操作 2

L2/5ボタンでページ移動、L3/4ボタンで1行毎にカーソルを移動します。

□ 操作 3

F3（STATUS）ボタンを押すことでPlay/Muteを切り換えます。Emptyのトラックは、変更できません。F5/6（SOUND）ボタンかダイヤルで音色を変更します。

音色変更は、音色パートの音色設定時と同様にSOUNDボタンでもできます。

R1ボタンでカーソルをテンポ箇所に移動し、ダイヤルでテンポを変更します。

これらの変更は、ソングを再生しながら行うことができます。

□ 操作 4

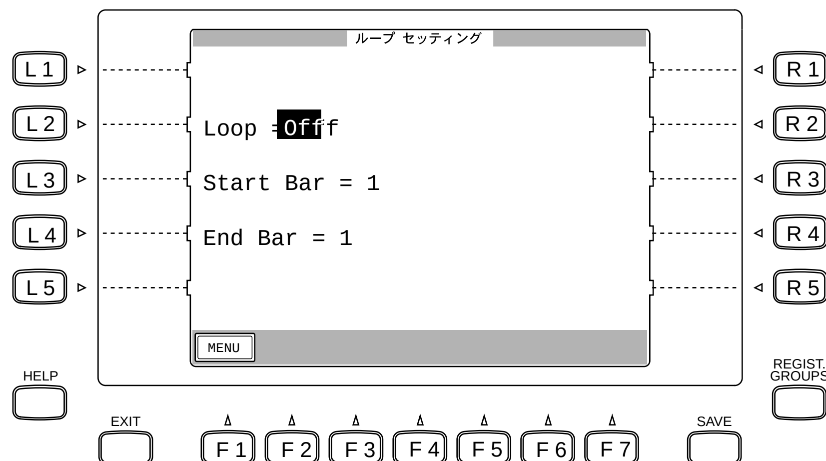
F7（SAVE）ボタンで変更内容を保存します。

◆ ループセッティング（Loop Settings）

指定小節範囲を繰り返し再生したりループ録音をするときにこれをオンにします。

□ 操作 1

ADVANCED RECORDERボタンを押した後、R1（Loop Settings）ボタンを押します。



- **Loop（ループ）［L2］**
  ループ再生のオン / オフを設定します。
- **Start Bar（スタート バー）［L2］**
  ループさせる最初の小節です。
- **End Bar（エンド バー）［L2］**
  ループさせる最後の小節です。

□ 操作 2

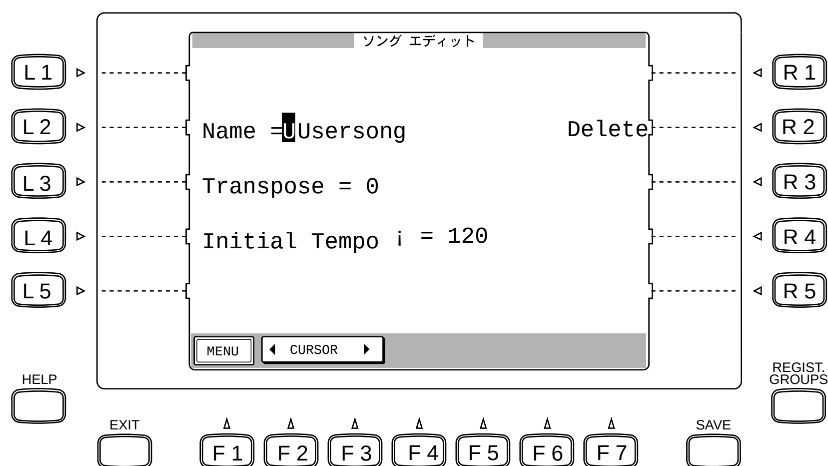
L2〜4ボタンで設定項目を選択し、ダイヤルで値を設定します。

◆ ソング エディット（Song Edit）

ソングネームや全体のトランスポーズ、テンポ、ソングの消去等、曲単位のエディットをします。

□ 操作 1

ADVANCED RECORDERボタンを押した後、R2（Song Edit）ボタンを押します。



- **Name（ネーム）［L2］**
  曲名です。

- **Transpose（トランスポーズ）［L3］**
  半音単位で移調します。

- **Initial Tempo（イニティアル テンポ）［L4］**
  テンポの初期設定です。
  （テンポトラックの Status（ステータス）が Play のときレコーダーのリセットボタンを押すと、このテンポに戻ります。）

- **Delete（デリート）［R2］**
  ソングをデータを削除します。

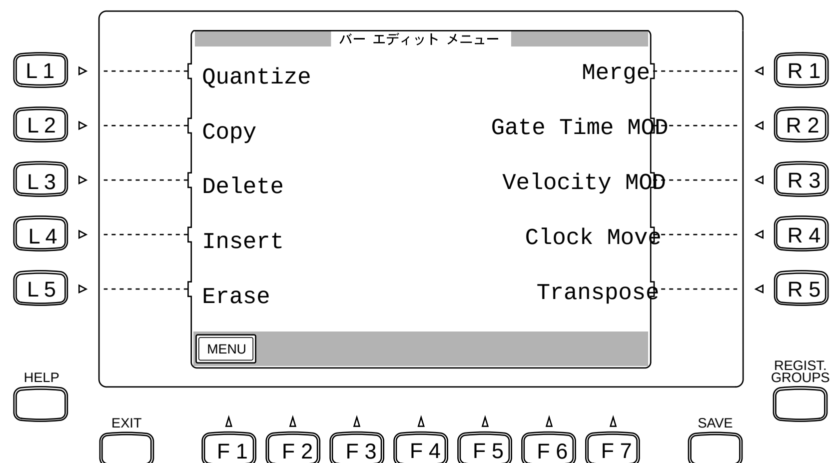
□ 操作 2

L2~4ボタンで設定項目を選択し、ダイヤルで値を設定します。

◆ バー エディット（Bar Edit）

曲データを小節単位でエディット（編集）します。

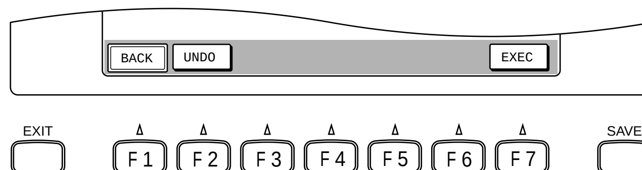
□ 操作 1
ADVANCED RECORDERボタンを押した後、R3（Bar Edit）ボタンを押します。



- **Quantize（クオンタイズ）［L1］**
  録音演奏の音符のタイミングのずれを補正する機能です。
- **Copy（コピー）［L2］**
  小節単位で指定小節範囲を別の場所にコピーする機能です。
- **Delete（デリート）［L3］**
  不必要な小節範囲を取り去る機能です。
- **Insert（インサート）［L4］**
  途中に小節を挿入する機能です。
- **Erase（イレース）［L5］**
  不必要な小節を消し去る機能です。
  イレース後は、ブランクが残されます。
- **Merge（マージ）［R1］**
  2つのトラックを1つのトラックにまとめます。
- **Gate Time MOD（ゲートタイムモディファイ）［R2］**
  鍵盤を押してから、離すまでの時間を変更します。
- **Velocity MOD（ベロシティーモディファイ）［R3］**
  鍵盤を弾く強さの値を変更します。
- **Clock Move（クロックムーブ）［R4］**
  トラックのデータ全体の発音タイミングをずらします。
- **Transpose（トランスポーズ）［R5］**
  半音単位で移調します。

●実行後結果が気に入らなかった場合

UNDO（アンドウ）機能で、エディット実行前の状態に戻すことができます。
F7（EXEC）ボタンを押した後、UNDOボタンの絵がディスプレイ下に表示さます。



F2（UNDO）ボタンを押せば元の設定に戻ります。

実行後、他のエディットを実行すると、前のエディットのUNDOは、出来なくなります。
エディット画面でレコーダーのPLAY/STOPボタンを押せば、音を聴いて確認することができます。

□ **操作 2**

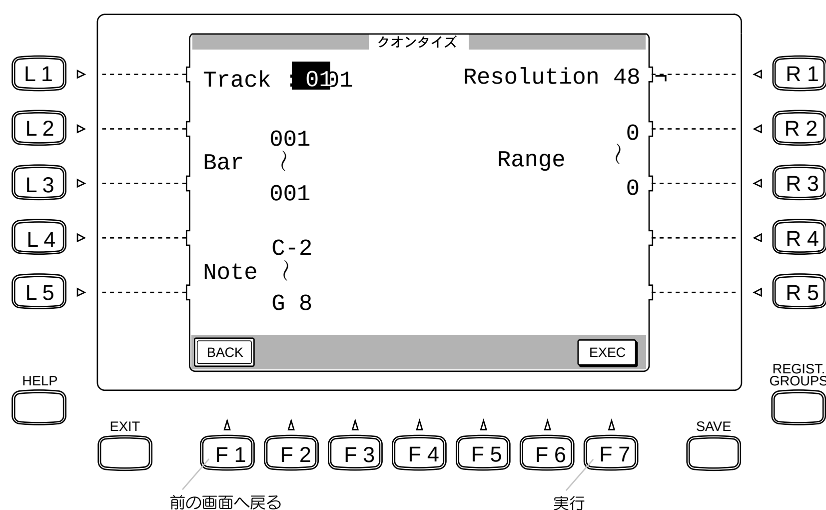
L1～5,R1～5ボタンで設定項目を選択します。

◇ クオンタイズ（Quantize）

リアルタイム録音では、録音した演奏がリズムとずれてしまったり、思った通りのタイミングで録音されていなかったりということがよくあります。このような録音データをテンポやリズムに合うように補正することをクオンタイズといいます。
本機のクオンタイズは、ジャストタイミング以外に補正範囲（レンジ）を指定し大きなタイミングのずれのみをちいさなタイミングのずれに補正する機能を持っています。

□ **操作 1**

ADVANCED RECORDERボタンを押した後、R3（Bar Edit）ボタンを押し、L1（Quantize）ボタンを押します。



- **Track（トラック）［L1］**
  クオンタイズを行うトラックです。
  （1～16）

- **Bar（バー）［L2/3］**
  クオンタイズを行う小節範囲。

- **Note（ノート）［L4/5］**
  クオンタイズを行うノート範囲。
  C-2～G8と設定すると全ての音符（ノート）がクオンタイズされます。

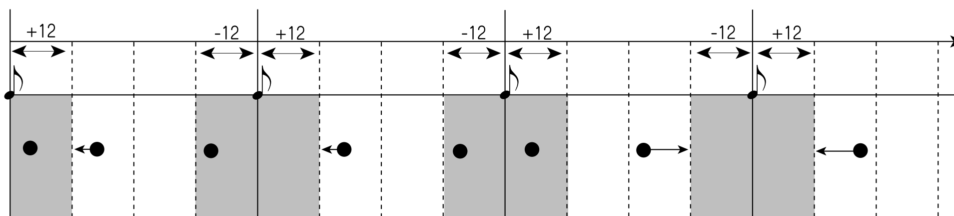
- **Resolution（レソリューション）［R1］**
  クオンタイズをかける細かさを音符で指定します。四部音符 ♩ は、96クロックです。

- **Range（レンジ）［R2/3］**
  ジャストタイミングからのずれをジャストの前後それぞれ何クロック分まで許すかを設定します。ジャストタイミングに補正したいときは、0～0に設定します。
  レンジの設定可能範囲は、[R1]レゾリューションの音符によってかわります。四部音符を指定すると-47～48までが指定範囲になります。この範囲内の音符は、クオンタイズされません。-47～48にすると全ての音符が範囲内になるため補正は、されません。-20～-10のように指定するとジャストよりも前寄りのタイミングに補正されます。

□ **操作 2**

L1〜5,R1〜3ボタンで設定項目を選択し、ダイヤルで値を入力します。

レソリューションを♪=48 に、レンジを -12 〜 +12 にしてクオンタイズを実行した場合、以下の様に補正されます。
●は、音符のタイミングです。



網の部分がクオンタイズの幅（レンジ）を示し、この中の音符はクオンタイズされずに残ります。
網の外の音符は、近い方の境界線上に移動します。
前ノリにしたい場合は、レンジの値を両方ともマイナスに設定します。-12 〜 -5 の様に設定した場合、ジャストのタイミングで入力されている音符も -5 のタイミングへ移動します。

応用編 3 レコーダーに関する機能

□ **操作 3**

値を入力後、F7（EXEC）ボタンを押し設定内容を実行します。

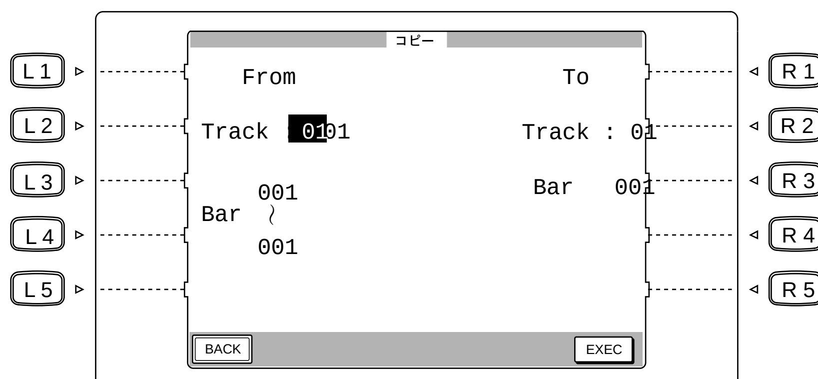
つづけて他のクオンタイズ設定ができます。

◇ コピー（Copy）

演奏データの一部を同じソング内の他の部分に小節単位でコピーします。
コピー先にデータが存在するときは、その部分のデータは消去され、コピー元のデータに入れ替わります。

□ **操作 1**

ADVANCED RECORDERボタンを押した後、R3（Bar Edit）ボタンを押し、L2（Copy）ボタンを押します。



- **（From）Track（トラック）［L2］**
  （From）Bar（バー）［L3/4］
  コピー元のトラック（1〜16,TEMPO,CHORD）とその小節範囲を設定します。
- **（To）Track（トラック）［R2］**
  （To）Bar（バー）［R3］
  コピー先のトラック（1〜16,TEMPO,CHORD）とそのトラックの何小節目からコピーするかを設定します。

□ **操作 2**

L2〜4,R2/3ボタンで設定項目を選択し、ダイヤルで値を入力、F7（EXEC）ボタンで実行します。

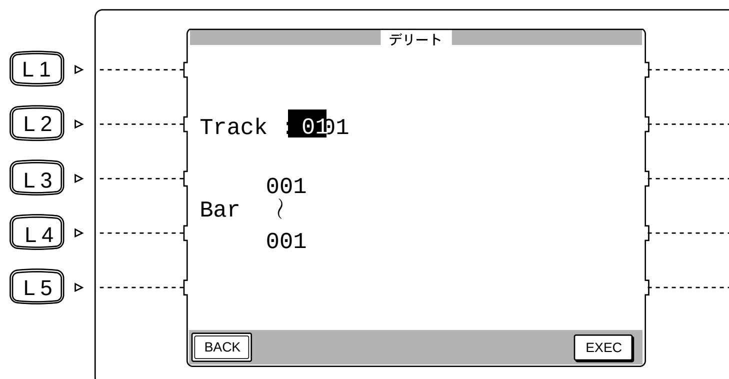
つづけて他のコピー設定ができます。

◇ デリート（Delete）

演奏データの一部を小節単位で取り去ります。
デリートされた小節分だけ全体が短くなります。

□ 操作 1

ADVANCED RECORDERボタンを押した後、R3（Bar Edit）ボタンを押し、L3（Delete）ボタンを押します。



• **Track（トラック）［L2］/ Bar（バー）［L3/4］**
トラックの指定（1 〜 16,TEMPO,CHORD,STYLE,ALL）と取り去る小節範囲を設定します。

□ 操作 2

L2〜4ボタンで設定項目を選択し、ダイヤルで値を入力、F7（EXEC）ボタンで実行します。

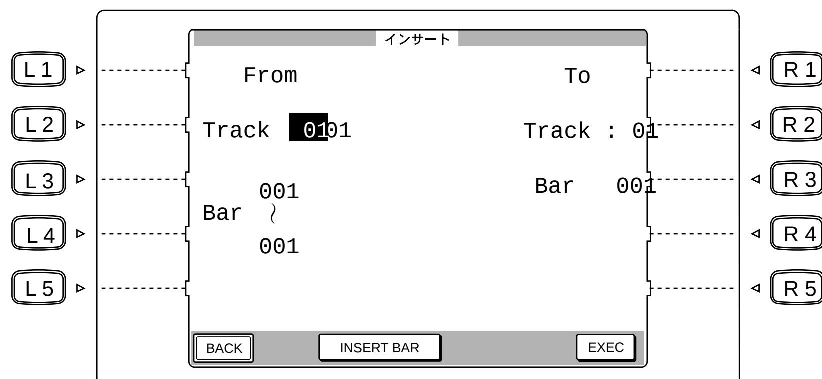
つづけて他のデリート設定ができます。

◇ インサート（Insert）

演奏データの一部を同じソング内の他の部分に小節単位で挿入します。
インサートした小節分だけ全体が長くなります。
また、INSERT BAR（インサート　バー）では、空小節を任意のトラックにインサートできます。

□ 操作 1

ADVANCED RECORDERボタンを押した後、R3（Bar Edit）ボタンを押し、L4（ Insert）ボタンを押します。



- **（From）Track（トラック）［L2］**
  （From）Bar（バー）［L3/4］
  インサート元のトラック（1～16,Tempo,Chord,ALL）とその小節範囲です。
- **（To）Track（トラック）［R2］**
  （To）Bar（バー）［R3］
  インサート先のトラック（1～16,Tempo,Chord,ALL）とそのトラックの何小節目の前にインサートするかを設定します。

□ 操作 2

L2～4,R2/3ボタンで設定項目を選択し、ダイヤルで値を入力、F7（EXEC）ボタンで実行します。

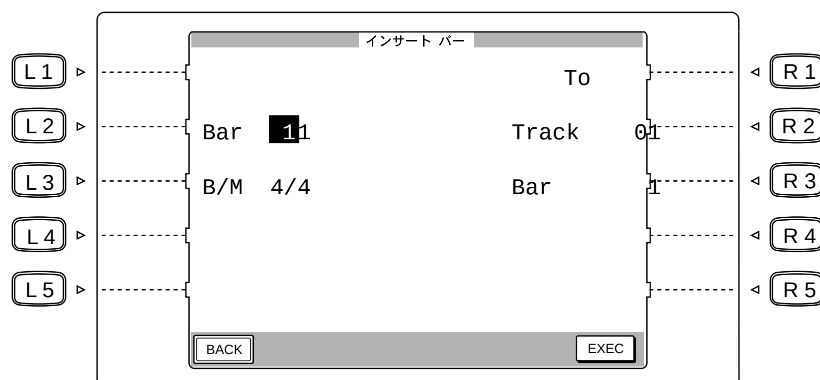
つづけて他のインサート設定ができます。

●インサートバー（INSERT BAR）

□ 操作 3

F3/4（INSERT BAR）ボタンを選択します。

INSERT BAR では、白紙の小節を挿入します。



- **Bar（バー）［L2］/B/M（拍子）［L3］**
  挿入する空白の小節数と拍子を設定します。
- **（To）Track（トラック）［R2］（1～16,Tempo,Chord,All）**
  （To）Bar（バー）［R3］
  インサート先のトラックと何小節目の前にインサートするかを設定します。

注）既に他のトラックの同小節にデータが存在する場合は拍子を変更してインサートすることはできません。

□ 操作 4

L2/3,R2/3ボタンで設定項目を選択し、ダイヤルで値を入力、F7（EXEC）ボタンで実行します。

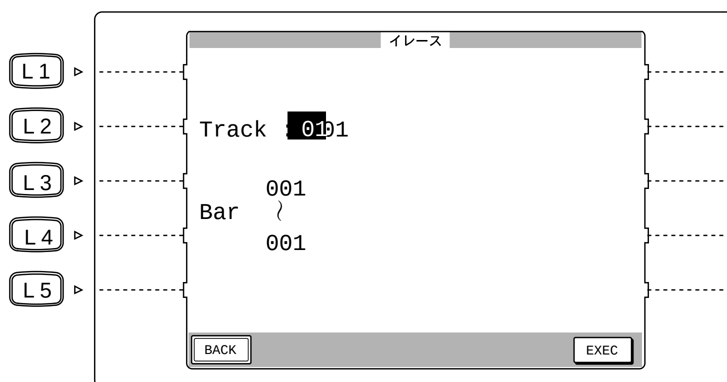
つづけて他のインサート設定ができます。

◇ イレース（Erase）

演奏データの一部を消します。
イレース後はブランクが残されるので、全体の小節数は変わりません。

□ 操作 1

ADVANCED RECORDERボタンを押した後、R3（Bar Edit）ボタンを押し、L5（Erase）ボタンを押します。



• Track（トラック）/Bar（バー）［L2～3］
消すトラック（1 ～ 16,Tempo,Chord）と小節範囲を設定します。

□ 操作 2

L2～4ボタンで設定項目を選択し、ダイヤルで値を入力、F7（EXEC）ボタンで実行します。

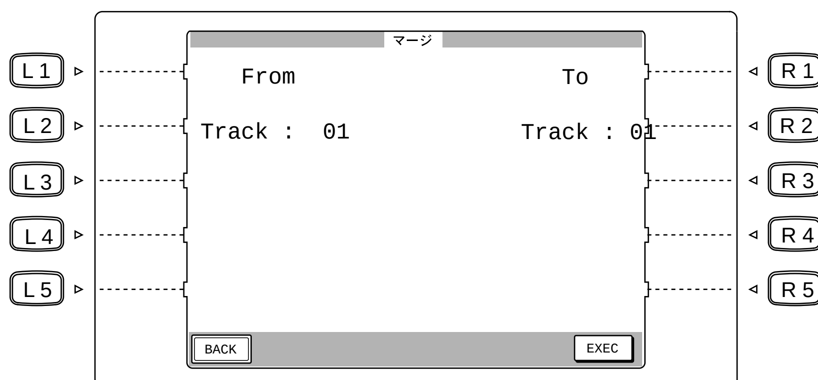
つづけて他のイレース設定ができます。

◇ マージ（Merge）

同じソング内の 2 つのトラックの演奏データを 1 つにまとめます。
トラック単位のエディットで小節指定はできません。

□ 操作 1

ADVANCED RECORDERボタンを押した後、R3（Bar Edit）ボタンを押し、R1（Merge）ボタンを押します。



•（From）Track ［L2］/（To）Track［R2］
1 つにまとめられる元（From）/ マージされ残るトラック（To）です。（1 ～ 16）

□ **操作 2**

L2/R2ボタンで設定項目を選択し、ダイヤルで値を入力、F7（EXEC）ボタンで実行します。

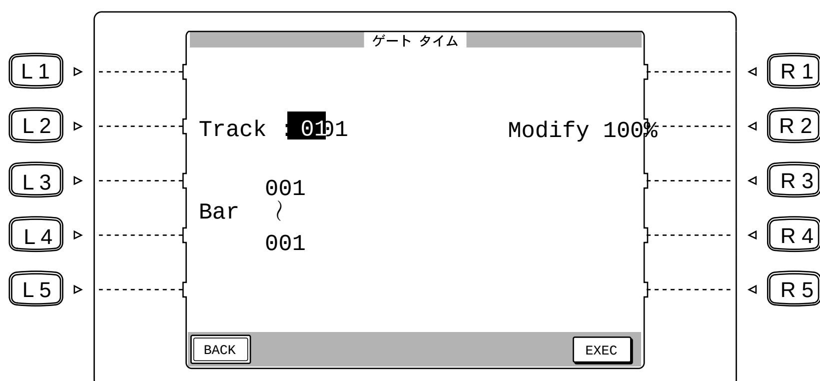
つづけて他のマージ作業ができます。

◇ ゲートタイムモディファイ（Gate Time MOD）

ゲートタイムとは、鍵盤を押してから離すまでの時間です。
指定した小節範囲内の音のゲートタイムを変化させます。
変化幅はパーセントで表わします。100%でゲートタイムの変化はなく、50%に設定すると実行前のゲートタイムの半分の長さになり、200%にすると実行前のゲートタイムの倍の長さになります。10%～300%の範囲で設定できます。

□ **操作 1**

ADVANCED RECORDERボタンを押した後、R3（Bar Edit）ボタンを押し、R2（Gate Time MOD）ボタンを押します。



- **Track（トラック）［L2］**
  Bar（バー）［L3/4］
  トラック（1～16）とその小節範囲を設定します。
- **Modify（モディファイ）［R2］**
  ゲートタイムの値を設定します。（10～300%）

□ **操作 2**

L2～4,R2ボタンで設定項目を選択し、ダイヤルで値を入力、F7（EXEC）ボタンで実行します。

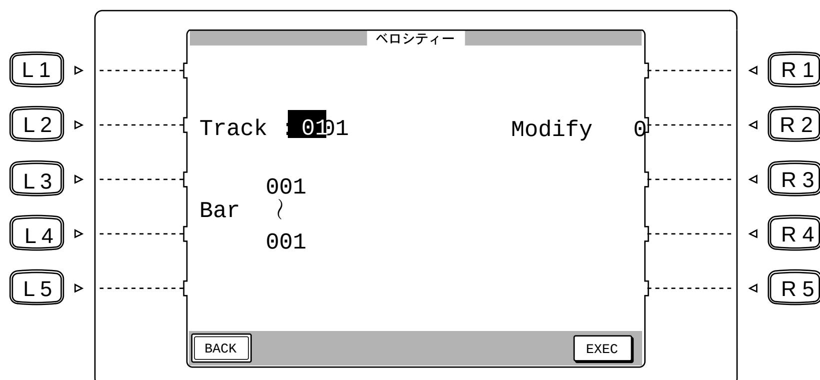
つづけて他のゲートタイム設定ができます。

◇ ベロシティー（Velocity）

ベロシティーとは、鍵盤を弾く強さのことをいい、電子楽器では 0 ～ 127 の 128 段階で強さを表わします。
鍵盤を強く弾けば弾くほど大きな音がでます。
指定した小節範囲のベロシティーの値を加減します。
ベロシティーの値を大きく設定するほど、再生時に大きな音で発音します。
値を加算した後のベロシティー値は 1 ～ 127 の範囲を越えることはありません。

□ 操作 1

ADVANCED RECORDERボタンを押した後、R3（Bar Edit）ボタンを押し、R3（Velocity MOD）ボタンを押します。



- **Track（トラック）［L2］**
  Bar（バー）［L3/4］
  トラック（1 ～ 16）とその小節範囲を設定します。
- **Modify（モディファイ）［R2］**
  ベロシティー値を設定します。（-100 ～ +100）

□ 操作 2

L2～4,R2ボタンで設定項目を選択し、ダイヤルで値を入力、F7（EXEC）ボタンで実行します。

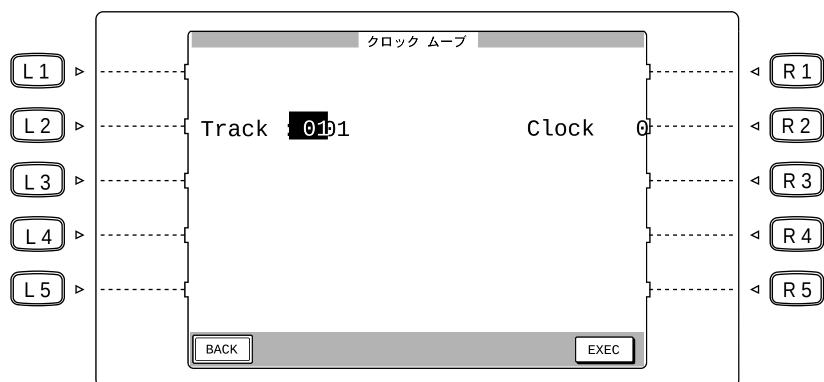
つづけて他のベロシティー設定ができます。

◇ クロック ムーブ（Clock Move）

トラック毎にタイミングを移動します。
複数のトラックに同じフレーズを録音し、少しづつずらすことでディレイをかけたような演奏にしたり、ドラムトラックをずらして曲全体のノリを変えたりできます。

□ 操作 1

ADVANCED RECORDERボタンを押した後、R3（Bar Edit）ボタンを押し、R4（Clock Move）ボタンを押します。



• **Track（トラック）［L2］**
タイミングをずらす**トラックです。（1〜16）**

• **Clock（クロック）［R2］**
ずらすタイミングの量です。(-999 ～ +999)
（クロック単位で♩のクロック長は 96 です。）

□ 操作 2

L2,R2ボタンで設定項目を選択し、ダイヤルで値を入力、F7（EXEC）ボタンで実行します。

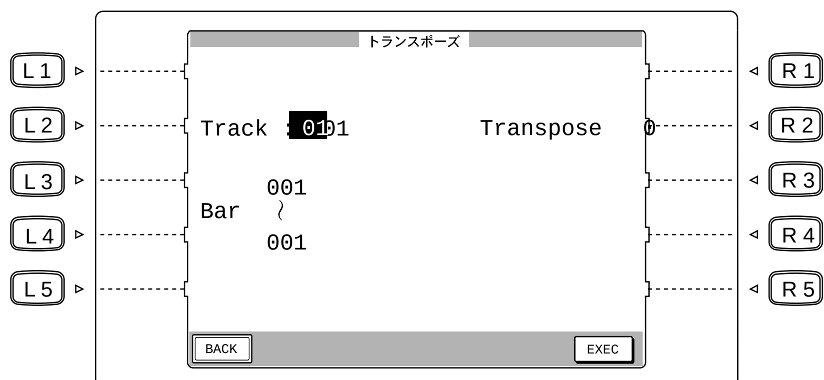
つづけて他のクロックムーブ設定ができます。

◇ トランスポーズ（Transpose）

演奏データの一部を -24 ～ +24 の範囲（上下 4 オクターブの範囲）で半音単位で移調します。

□ 操作 1

ADVANCED RECORDERボタンを押した後、R3（Bar Edit）ボタンを押し、R5（Transpose）ボタンを押します。



• **Track（トラック）［L2］**
Bar（バー）［L3/4］
移調するトラック（1 ～ 16）とその小節範囲です。

• **Transpose（トランスポーズ）［R2］**
移調する値です。(-24 ～ +24)

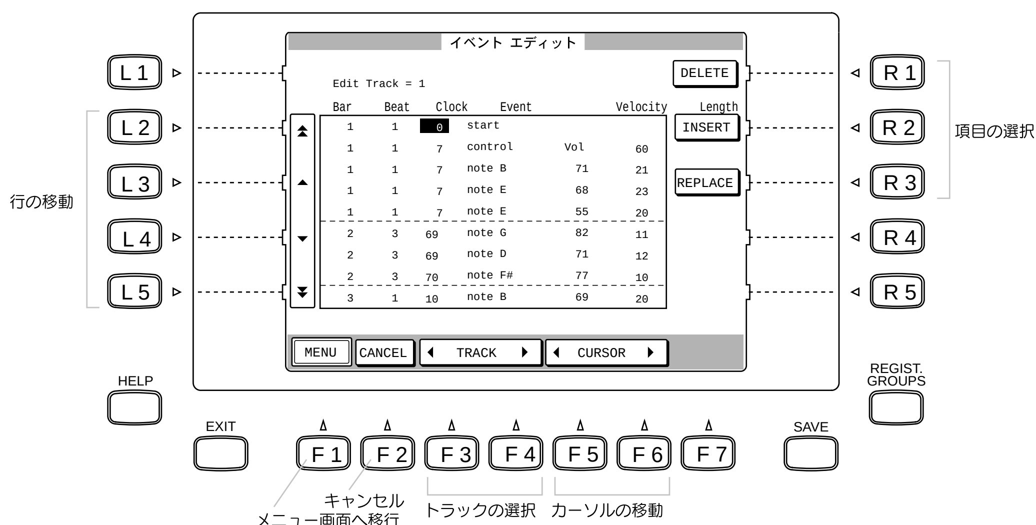
□ 操作 2
L2〜4,R2ボタンで設定項目を選択し、ダイヤルで値を入力、F7（EXEC）ボタンで実行します。

続けて他の箇所の設定ができます。

◆ イベント エディット（Event Edit）

トラックに録音されているイベント（ノートデータ、プログラムチェンジなど）をひとつひとつ表示してタイミングや内容の変更を行う機能です。

□ 操作 1
ADVANCED RECORDERボタンを押した後、R4（Event Edit）ボタンを押します。



- **Bar（バー）**
  小節数

- **Beat（ビート）**
  拍数

- **Clock（クロック）**
  1拍♩=96を単位とする音符のタイミングです。
  Beat 1 Clock 95 の次は、Beat 2 Clock 0 になります。（2拍目の先頭）

- **Event（イベント）**
  イベントの種類
  ・note C-2 〜 G8
  ・key pressure (キープレッシャー)
  ・Control (コントロールチェンジ) ナンバーとバリューで指定します。
  ・program (プログラムチェンジ)
  ・ch pressure (チャンネルプレッシャー)
  ・bender (ピッチベンダー)

- **Velocity（ベロシティー）**
  ・note の場合は、音のベロシティー（弾く強さ)1~127 。
  ・Control の場合は、コントロールチェンジの番号。
  ・program の場合は、プログラムチェンジの番号。
  ・ch.pressure の場合は、効果の深さ。
  ・key pressure の場合は、鍵盤。

- **Length（レングス）**
  ・note の場合は、音の長さ。（鍵盤が押されている時間)
  ・Control の場合は、コントロールチェンジの値。（深さ）
  ・benderの場合は、 ピッチベンドの幅。-8192〜8191
  ・key pressure の場合は、効果の深さ。

◆イベントに関する予備知識

・ノート情報
MIDIで伝えられる演奏情報のうち、最も基本的なものがノートメッセージです。ノートメッセージには、「ノートナンバー」「ノートオン/オフ」「ベロシティー」があり、どの鍵盤（ノートナンバー）がどのくらいの強さ（ベロシティー）で押されたか、あるいは離されたかという情報を伝えます。

・キープレッシャー（・チャンネルプレッシャー）
鍵盤を押し込む強さを伝達するためのメッセージで、アフタータッチともいいます。
鍵盤を弾いた後、さらに強く押し込むことによってさまざまな効果を得ることができます。
キープレッシャーは、1鍵盤を対象としたものです。
チャンネルプレッシャーは、全鍵盤を対象とします。

・コントロールチェンジ
鍵盤を押した離したの情報とは別に、ボリュームやビブラート、ホールド、ダンパーペダル、ソフトペダルのオン/オフなど、演奏中に操作する色々な機能も演奏情報として扱うことができます。これらの情報をコントロールチェンジといいます。
（使用頻度の高いピッチベンドは、独立した演奏情報として取り扱われます。）

・プログラムナンバー
内蔵されている音色に割り当てられている番号です。
一般にパネルの音色ボタンを押すことで、プログラムナンバーを接続している外部MIDI機器へ送信し接続楽器の音色を変えたりできます。
プログラムナンバーは、機種によっては音色以外に割り当てられている場合もあります。

・ピッチベンダー
ピッチベンダーを動かしたときのピッチの変化幅を伝えるメッセージです。

MIDIに関しては、Page...132を参照ください。

□ 操作 2

F3/4ボタンでトラックを選択します。

ディスプレイには、選択されているトラックの演奏データが、表示されます。

□ 操作 3

L2/5ボタンで小節単位で移動します。L3/4ボタンで1イベント単位で移動します。

ダイヤルでも移動することができます。

カーソル（反転）が Clock（クロック）の下にある場合は、同一タイミングの音は 1 ステップで移動し、和音で音を聴くことができます。
カーソルが、Event（イベント）の下にあるときは、同一タイミングの音でも 1 音づつサーチします。
和音の中の 1 音をエディットするときは、こちらにしておくほうが、便利です。

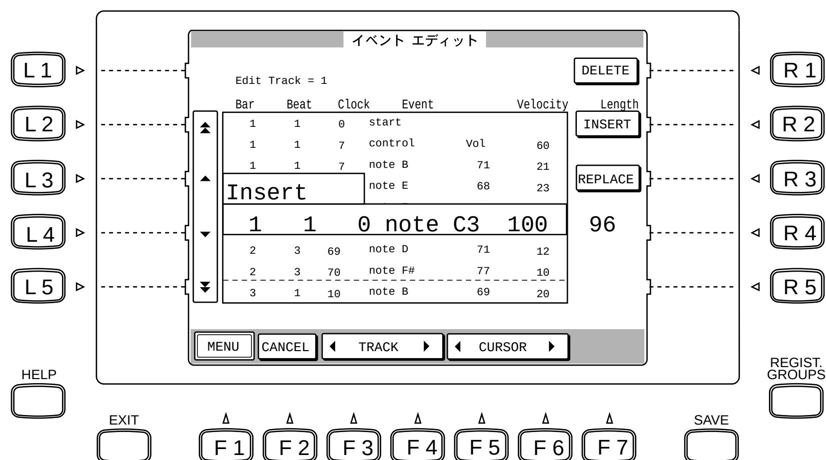
□ 操作 4

エディットしたいイベントがカーソル位置に来るようにします。

R1（DELETE）/R2（INSERT）/R3（REPLACE）ボタンでデータの削除/挿入/書き換え作業ができます。

- **DELETE（デリート）**
  カーソルのある行のデータを削除します。
- **INSERT（インサート）**
  カーソルのある行に新しく挿入します。タイミングも変更できます。
- **REPLACE（リプレース）**
  カーソルのある行のデータを書き換えます。タイミングも変更できます。

ボタンを押すと、そこのタイミングのデータが大きく表示されます。



□ 操作 6

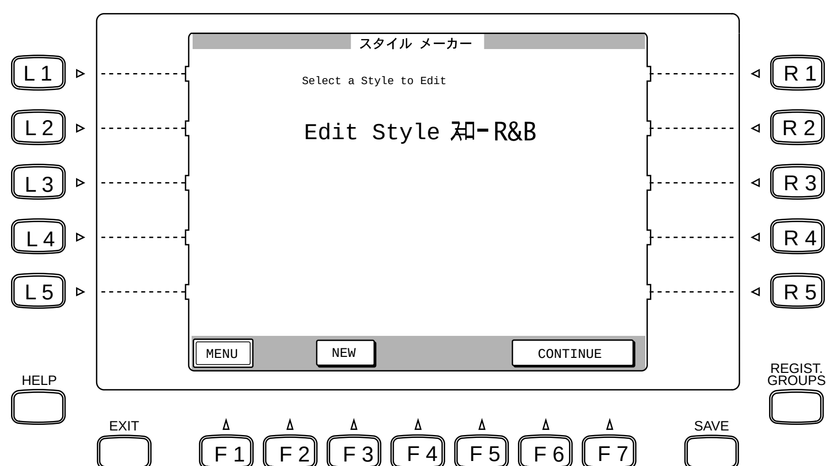
F5/6ボタンで、カーソルを移動させ、ダイヤルで値を選択します。

◆ スタイルメーカー（Style Maker）

スタイルメーカーでは、新しくオリジナルのスタイルを作成することができます。
内蔵のスタイルに含まれるフレーズを自由に組合せて作る「Phrase Combination」(フレーズ コンビネーション)とレコーダーのトラックから指定したフレーズを切り取ってスタイル化する「Get Phrase from Recorder」（ゲット フレーズ フロム レコーダー）という 2 通りの方法があります。
作成したスタイルは、ユーザースタイルとして本体内部に保存します。

□ 操作 1

ADVANCED RECORDERボタンを押した後、R5（Style Maker）ボタンを押します。



□ 操作 2

ダイヤルで元にするスタイルを選択できます。

内蔵スタイルを一部変更したいときには、そのスタイル名を指定します。

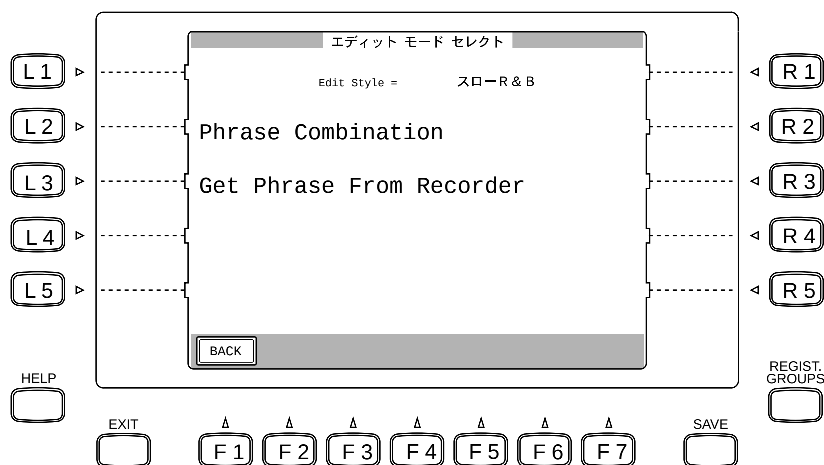
□ 操作 3

白紙の状態からスタイルを作る場合は、F3（NEW）ボタンを押します。

指定した内蔵スタイルを元にスタイルを作る場合は、F6/7（CONTINUE）ボタンを押します。

□ **操作 1**

ADVANCED RECORDERボタンを押した後、R5（Style Maker）ボタンを押し、F6/7（CONTINUE）ボタンを押します。



- **Phrase Combination（フレーズ　コンビネーション）**
  内蔵スタイルを使って選んだスタイルのパートのスタイルとフレーズの組合せを変更します。
  フレーズコンビネーションでは、イントロ / エンディングを組み替えることはできません。
  NEW を選んだ場合は、イントロ / エンディングは、空になります。

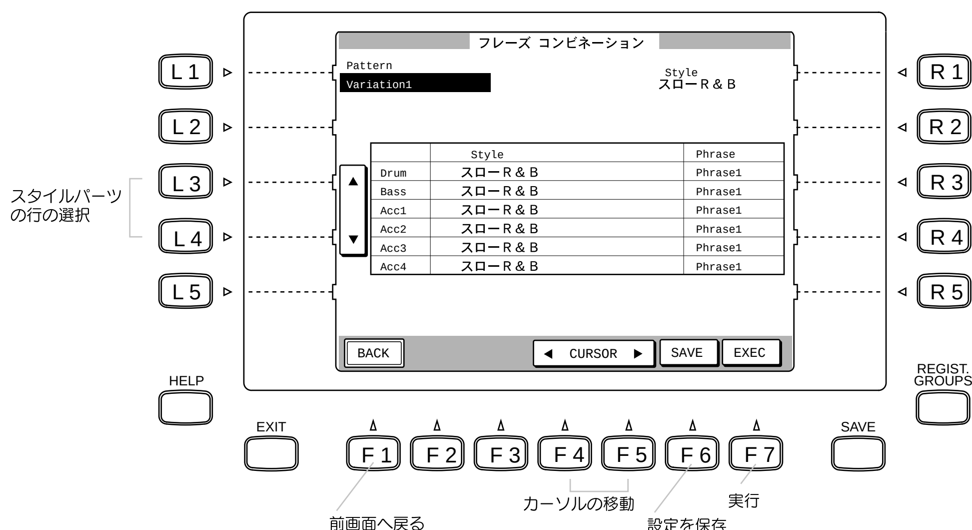
- **Get Phrase From Recorder（ゲット フレーズ レコーダー）**
  レコード内にある音楽フレーズを切り取ってスタイルを作成します。

● フレーズ　コンビネーション（Phrase Combination）

１つのスタイルは、４種類のバリエーションとフィルを持っています。また各バリエーションとフィルは、６つのパートから構成されてます。（スタイルの構成　Page...30 参照）
フレーズコンビネーションでは、内蔵スタイルを元に、各パートのフレーズをさまざまなスタイルから自由に持ってきて組合せることにより新しいスタイルを作成します。

□ 操作１

Page..84 のエディットモードセレクト画面より、L2（Phrase Combination）ボタンを押します。



上図では、新しく作るスタイルのバリエーション１の６つのパートに対して Style と Phrase の組合せを指定します。
初期状態は最初に選んだ元にするスタイルの内容がそのまま入っています。
例えば、バリエーション１のみを設定した場合は、残りのバリエーション２～4/ フィル１～４には最初に指定したスタイルと同じものが入ります。
START/STOP ボタンでバリエーション１を聴いて確認できます。

□ 操作２

L1ボタンで変更を加えるスタイルのバリエーション/フィル番号を指定します。

バリエーションは、Variation1～4，フィルは、Fill1～４を選択できます。

□ 操作３

L3/4ボタンで行を移動させパートを選択し、F4/5でカーソルを移動しスタイル名とフレーズ番号を選択します。
ダイヤルで内容を指定します。

同様に L1 ボタンを押してカーソルを「Variation1」へ移動し、ダイヤルで他のバリエーション / フィルを指定し、変更することができます。

□ **操作 4**

F7（EXEC）ボタンで設定内容を確定します。

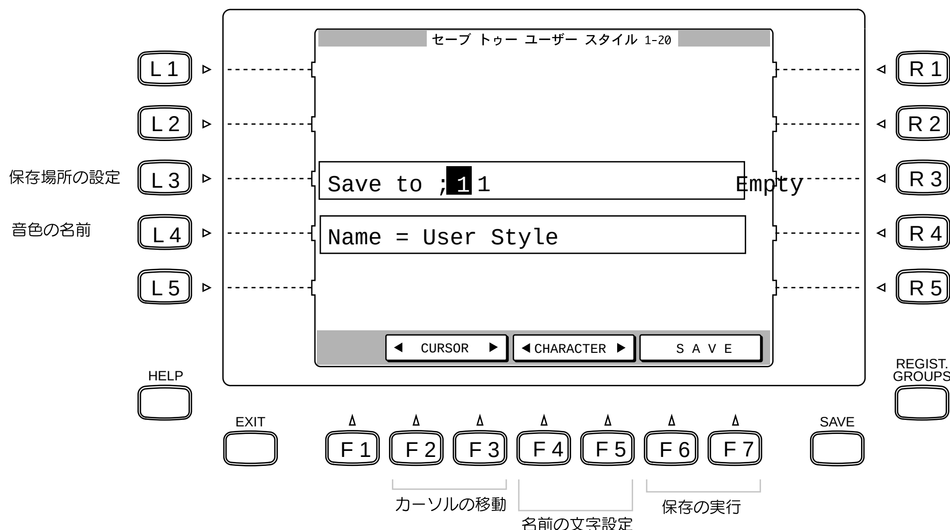
確定後は、START/STOPボタンで新しいスタイルを聴くことができます。

F7 を押すと変更内容が再生中でも演奏に反映されます。

□ **操作 5**

前までの操作で気に入ったスタイルができたら、

F6（SAVE）ボタンで保存画面へ移動し、保存場所と名前をつけて保存します。



□ **操作 6**

ダイヤルで保存場所のナンバーを設定します。

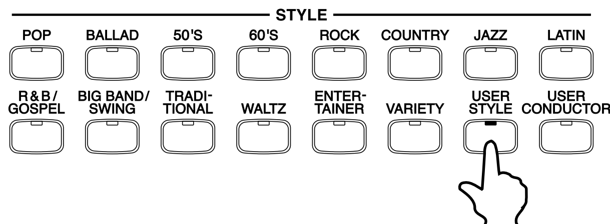
次にL4を押して行を移動し、F2/3（CURSOR）ボタンでカーソルを移動しながら、F4/5（CHARACTER）ボタンかダイヤルを使って文字を選びます。

□ **操作 7**

保存場所と名前をつけたら、F6/7（SAVE）ボタンを押して保存作業を実行します。

□ **操作 8**

保存したスタイルは、USER STYLEボタンを押して呼び出します。



内蔵スタイルと同様に選択することができます。

● ゲット フレーズ レコーダー（Get Phrase From Recorder）

16トラックあるレコーダーの中のソングデータより、各パートに対応する6つのトラックを選んでスタイルにする部分を切り取ってスタイルを作ります。
自分でゼロからレコーダーに各パートを録音して、これをスタイル化するという方法と、内蔵スタイルを録音し、これをStyle paste（スタイルペースト Page...61 参照）して、Bar Edit や Event Edit で部分的な変更をし、それをスタイル化する方法、また、市販の SMF（スタンダードミディファイル）の曲を LOAD（ロード）して気に入った演奏部分を切り取って、スタイル化する方法など、目的に応じて自由にスタイルをつくることができます。

□ 操作 1

ADVANCED RECORDERボタンを押した後、R5（Style Maker）ボタンを押し、L3（Get Phrase From Recorder）ボタンを押します。



ソングデータの 6 つのトラックを使ってスタイルを作ります。
画面上の「Start Bar」から「Bar Length」の値までの小節分をスタイルにします。
「Start Bar=4　」「Bar Length=8」と設定した場合、ソングの 4 小節から 11 小節までの 8 小節をスタイルにします。
（パート毎に別々に小節の Start Bar,Bar Length を指定できます。）
L4 の「Chord」でコードを指定します。レコーダーで演奏されているコードを入力します。C ～ B までで、メジャー ,マイナーの区別する必要はありません。例えば、Am が演奏されていれば、A と入力してください。（ドラムの場合はコードはありません。）
また、L5 の「Track」で、どこのトラックをどのパートへ持って行くか指定します。

□ 操作 2

L1～4ボタンでカーソルを移動し、ダイヤルで値を設定します。

パート毎に別々の設定が可能です。

□ 操作 3

L5/R5ボタンでカーソルを移動し、F2～7ボタンでスタイルパートを指定し、ダイヤルでフレーズの存在するトラックを指定します。

上の画面の場合、ソングの 10/9/12/14/15/16 トラックがそれぞれスタイルの DRUM/BASS/ACC1/ACC2/ACC3/ACC4 パートに移されます。
F2 ～ F7 ボタンを 2 回続けて押すと、パート名の反転が無くなって白地になります。
白地になったパートは、現在までのものがそのまま使われ Get Phrase による変更はされません。

□ 操作 4

R4（EXEC）ボタンで設定内容を確定します。

Start/Stop ボタンで、Get Phrase の結果を聴くことができます。

□ 操作 5

操作4までで気に入ったスタイルができたら、R2（SAVE）ボタンで保存画面へ移動し、保存場所と名前をつけて保存します。

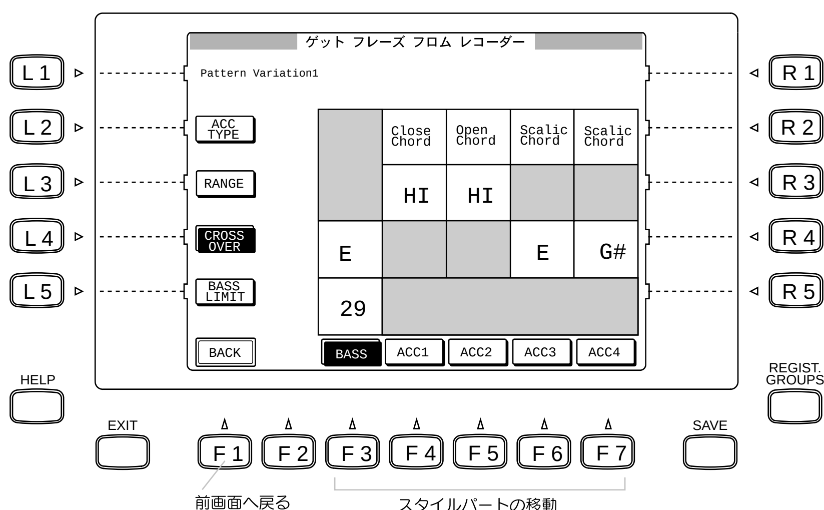
ダイヤルで保存場所のナンバーを設定します。
次に L4 を押して行を移動し、F2/3（CURSOR）ボタンでカーソルを移動しながら、F4/5（CHARACTER）ボタンかダイヤルを使って文字を選びます。

F6/7（SAVE）ボタンを押して保存作業を実行します。
保存したスタイルは、USER STYLE ボタンを押して呼び出します。

◇作ったスタイルに音域やコード演奏状態等の音楽的な調整をして、より自分のイメージに近づけることができます。

□ 操作 6

F1（MORE）ボタンを押します。



BASS,ACC1～4 パートの ACC TYPE/RANGE/CROSS OVER/BASS LIMIT の設定をします。
上デイスプレイ図の表でブランクの部分は調整できません。

●ACC TYPE（ACCタイプ）

ユーザがスタイルを用いてコード演奏する際に、スタイル中の各々のパートをコードパートとして発音させるのか、あるいは装飾音符や半音階などを含んだフレーズパートとして発音させるのかを設定するモードで、Acc. １～４の各パートに設定可能です。Bass パートは常にフレーズパートとして扱われます。

１）Close Chord

このモードではコードパートとして、クローズ・ボイシングで発音させることができます。また、コード演奏中のコードチェンジの際に、音飛びの少ない自然なボォイシング・チェンジが行われるのも特徴の一つです。ただし、発音されるノートは演奏しているコード音の範囲で、５和音以上のコード演奏の場合にはそのコードの中で音楽的に重要な４音が選ばれます。
ですから、このモードは通常のキーボード演奏パターンに向いているといえます。

２）Open Chord

このモードはコードパートとして、主にドロップ２ｎｄのオープンボイシングで発音させることができます。この特徴以外は Close Chord と全く同じ働きをします。
このモードは、ギターカッティング・パターンやジャズっぽいキーボード演奏パターンに向いているでしょう。

◆Close／Open Chordのためのノート入力のポイント

発音されるノートは演奏されるコード音の範囲ですが、ノート入力の際にはテンションノートを含まない４和音であれば特にどのコードタイプで入力すべきか、また常にその４和音だけで入力しなければいけないといった制約はありません。イメージするコードバッキング（コードフレーズ）をクローズ・ボイシングで自由に入力してみて下さい。ただし、コードルートは常に固定して入力することをお勧めします。
もう少し緻密にデータを作りたい方は、メジャーセブンス・コードだけを用いてセンスの良いパターンを工夫して入力することをお勧めします。何故なら、このモードでは如何なるノートが入力されても最終的にはメジャーセブンス・コードに変換されて録音されるからです。

★裏技データ入力

ノートは、基本的にはクローズ・ボイシングで入力されることをお勧めします。何故なら、クローズ・ボイシングで入力されたパターンでなければ、そのパターンに対して Close Chord、または Open Chord の各々のモードを設定してもコード演奏の際に音楽的に満足した結果が得られない場合があるからです。
ただし以下に説明する条件さえ守っていただければ、クローズ・ボイシングに限られることなく如何なるボイシングで入力しても音楽的に良い結果が得られる方法が一つあります。

ａ）クローズ、オープン問わず好きなボイシングでノートを入力。
ｂ）Acc TYPE を Close Chord に設定。
ｃ）RANGE（後述）を必ず“Ｈｉ”に設定。

以上のｂ）、ｃ）の設定さえすれば、ボイシングにとらわれることなく自由にノート入力できるので、音楽的に効果のあるボイシングを熟知している方は、この方法の方が簡単かもせれません。また、キーボード初心者やボイシングについてよくわからない方は、上記“ノート入力のポイント”で述べた基本的な入力方法をお勧めします。

３）Scalic Chord

フレーズパートとして発音させることができ、主に単音と３和音が混在したパターンに有効です。例えばメジャートライアド・コードがパターン中にあり、コード演奏時にメジャーセブンスやセブンス・コードなどの４和音が演奏された場合には、パターン中の５ｔｈ音を△７ｔｈや７ｔｈ音に置き換えて発音されます。つまり、パターン中に△７ｔｈや７ｔｈ音がなくても演奏されたコードタイプを忠実に発音します。
また、Close Chord や Open Chord モードでは装飾音符や半音階は発音できませんが、このモードではそれらも含めパターン中の細かなフレー ジングが表現できます。

◆Scalic Chordモードのためのノート入力のポイント

上述したように、どちらかというと単音よりコード演奏時の和音の再現性を重視したモードなので、息の長い上下の半音階フレーズやスムーズな抑揚のあるフレーズには適しません。その場合、もしこのモードを設定したなら、コード演奏時には多かれ少なかれ音飛びの多いフレーズとして発音されることでしょう。
また、コードを入力する際にも、サブドミナント系のコードを含むようなコードフレージングは避けトニック系のコードを用いることをお勧めします。

４）Scalic Phrase

フレーズパートとして発音させることができ、主に単音あるいは２声のフレーズやテンションノートも含めた４和音以上のコードが混在したパターンに有効です。また、このモードでも Scalic Chord 同様、装飾音符や半音階を含めたパターン中の細かなフレージングが再現できます。

◆Scalic Phraseモードのためのノート入力のポイント

Scalic Chord モードと違いこのモードでは、パターン中に存在しない音（テンションノートを含む）はコード演奏時に再現しません。例えば、コード演奏時にメジャーセブンス・コードを演奏しても、入力されたパターン中に△７ｔｈあるいは７ｔｈ音が入っていないとメジャーセブンスコードを再現できません。この場合３和音のコードを演奏しても４和音のコードを演奏しても同じ３和音系のコードが発音されることになります。

また、逆にパターン中に△７ｔｈや７ｔｈ音あるいはテンションノートが含まれている場合には、３和音系のコードを演奏してもセブンス系やテンションコードが発音されます。これは簡単な３和音系コードを演奏しても響きの豊かな演奏が再現できるので、４和音以上のコード演奏が不得意な方などに向いた方法かもしれません。

2．RANGE

RANGE とは、ACC TYPE において Close Chord あるいは Open Chord の設定をした場合にのみ有効なパラメータで、入力したパターンの転回型を別の転回型に変更することができます。また、転回型はＨｉ、Ｍｉｄ、Ｌｏの３種類が設定でき、それぞれ以下のような意味があります。

１）Ｈｉ　　パターン自体の転回型をそのまま発音します。
２）Ｍｉｄ　パターン自体の転回型より一つ音域の低い転回型。
３）Ｌｏ　　パターン自体の転回型より２つ音域の低い転回型。
（Ｍｉｄより一つ音域の低い転回型。）

ここでの設定は、演奏されるすべてのコードがその転回型に固定されることを意味しているわけではありません。この設定によりパターン自体の転回型を変更し、コード演奏される各々のコードに対しては、その変更された転回型のもつトップノートをなるべく保持する形で音飛びの少ない転回型（ボイシング）が自動的にシステムの中で選ばれます。
コード演奏時に Close Chord や Open Chord に設定したパートの音域を全体的に少し上げたい、あるいは下げたいといった場合に有効なパラメータだとお考え下さい。

3．CROSS OVER

CROSS OVER とは、ACC TYPEにおいて Scalic Chord あるいは Scalic Phrase の設定をした場合のみ有効なパラメータで、パターン自体のフレージングの型を変えることなく、演奏されるコードのルート音をもとに、パターン全体をどのような音域でトランスポーズするかを設定することができます。
トランスポーズする最高音域をルート音Ｃ～Ｂの何れかで設定します。例えば、CROSS OVER を“ Ｇ ”に設定した場合、Ｇ＃をルート音にもつ任意のコードタイプのコードを演奏した際に一番低い音域でパターンがトランスポーズされて鳴ります。

4．BASS LIMIT

BASS　LIMIT とは、Bass パートのみに有効なパラメータで、CROSS OVER の設定により、コード演奏時に低くなりすぎた個々のノートの音高そのものを１オクターブ上げることができます。
最低音にしたいノート・ネームを設定します。例えば、パターンがルート音をＣとして“ Ｃ１（ド）－Ｇ０（ソ）－Ｃ１－Ｇ０－・・・ ”と入力されている場合、CROSS OVER を“ Ｇ＃０ ”に設定すると、ルート音にＣをもつコードを演奏した際にパターン中のＧ０音は CROSS OVER の最低音設定“ Ｇ＃０ ”よりも半音低いので、パターン中にＧ０音が出てくる度に１オクターブ上の“ Ｇ１ ”音にシフトされて発音されます。
ここで、CROSS OVER が“ Ｃ ”以外の“ Ｃ＃ ”～“ Ｂ ”に設定されている場合にルート音にＣ＃をもつコードを演奏すると、パターン全体が半音トランスポーズされるので“ Ｃ＃１（ド＃）－Ｇ＃０（ソ＃）－Ｃ＃１－・・・ ”となります。この場合、BASS　ＬIMIT の最低音設定“ Ｇ＃０ ”以上のノートだけになるので、Ｌｏ　Ｌｉｍｉｔによるノートのシフトは何も発生しないことになります。

◆CROSS OVERとBASS　LIMITのパラメータの設定のポイント

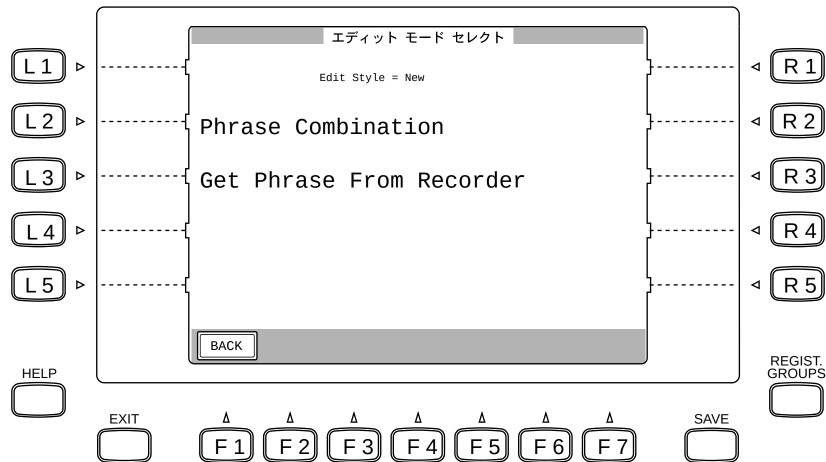
Bass パートの楽器というと、ベースではアコースティック・ベース、エレクトリック・ベース、シンセ・ベースなどがあげられますが、特にアコースティック・ベースやエレクトリック・ベースは生楽器であり、４弦ベースが一般的です。このため、自ずと最低音が決まっているわけで、１弦の開放によりＥ０音が最低音になります。
このことを CROSS OVER や BASS　L IMIT の設定に取り入れると、コード演奏時によりリアルなベースのフレージングが可能となります。例えば以下のような設定が考えられます。

１）CROSS OVER　　　Ｅｂ
　　BASS LIMIT　　　Ｅ０
この設定では CROSS OVER をＥｂにしているため、ルート音の最　低音域がＥ音となり、BASS LIMITの設定Ｅ０と重なるので、生ベースの開放弦フレージングを再現できます。また、コード演奏のキーや進行次第では、低音を重視したフレージングが再現できます。

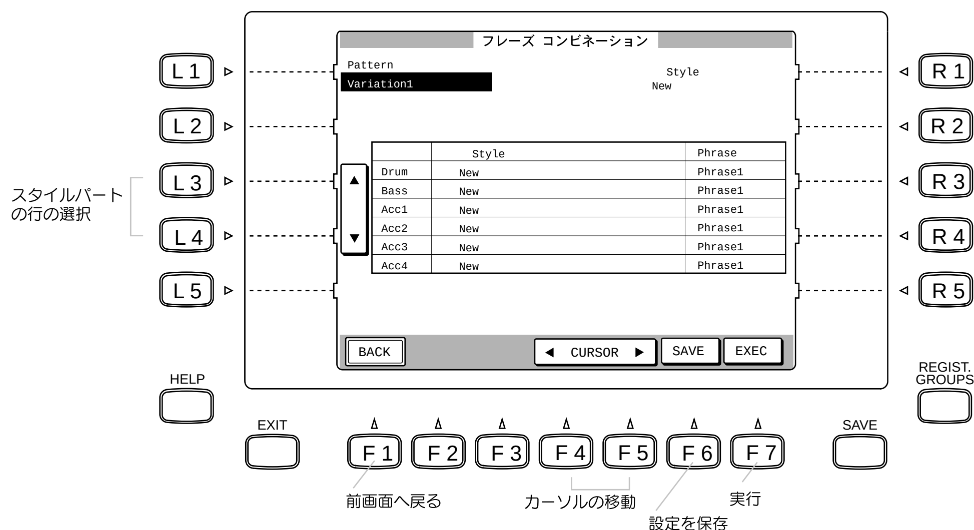
２）CROSS OVER　　　Ｅ
　　BASS LIMIT　　　Ｆ０
この設定では、BASS　L IMIT をＦ０にしている点がミソで、キーボード初心者や　コード進行を熟知していない方がよく用いる、キーがＣのコード演奏“ Ｃ－Ａｍ－Ｄｍ７－Ｇ７“ や ”Ｃ－Ｆ－Ｇ“ などのコード演奏時には、比較的コードチェンジの際　に音飛びの少ない自然なフレージングが再現できます。

◇ 白紙の状態からスタイルを作ります。

□ 操作 1
ADVANCED RECORDERボタンを押した後、R5（Style Maker）ボタンを押し、F3（NEW）ボタンを押します。



□ 操作 1
L2（Phrase Combination）ボタンを押します。



Page...83 操作 3 で「CONTINUE」を選択した時と同様に設定できます。
「CONTINUE」と「NEW」の違いは、既に指定したスタイルの演奏データが入っているかいないかの違いだけです。
「NEW」の場合は、上図の様に Style の箇所に「New」と表示されます。
New に設定して、Page...87 の操作 3 でドラムパートのみを指定（反転）して、ドラムトラックから「ゲットフレーズ」すれば、リズムのみのスタイルを作ることができます。

「Get Phrase From Recorder」も前説明と同様に設定します。

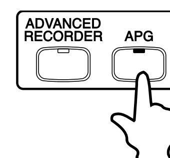
2）オートフレーズジェネレーター（APG）

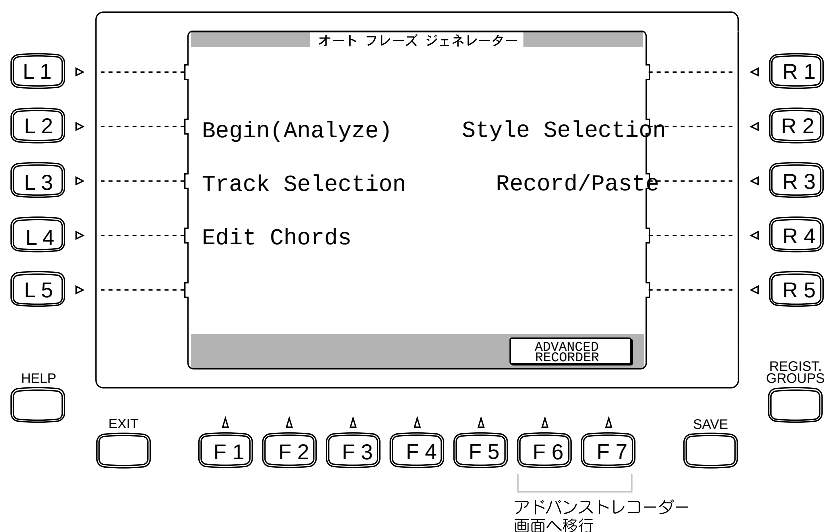
APGは、既に録音してあるトラックの演奏データを元に、自動的にコード進行を検出してそのコード進行に沿って指定した内蔵スタイルのフレーズを張り付け、新しいソングを作成する機能です。
1つのトラックを録音するだけで、後は簡単にコードトラックと最大6トラックの演奏をプラスしてソングを作成できます。
既に録音してあるスタイルトラックのコード進行を利用して別のスタイルのフレーズを発生させることもできます。

□ 操作 1

APGボタンを押します。

ボタンのランプが点灯し、機能の一覧がディスプレイに表示されます。（APG 画面）





- **Begin<Analyze>（ビギン）［L2］**
  コードトラックをどう作成するかを設定します。また検出の際トラックのどこの小節部分のコード進行を検出するか設定します。

- **Track Selection（トラックセレクション）［L3］**
  張り付ける内蔵スタイルの6つのパートをソングのどこのトラックに張り付けるか設定します。

- **Edit Chords（エディット コード）［L4］**
  コードトラックのコード進行を書き換えできます。

- **Style Selection（スタイル セレクション）［R2］**
  スタイルの選択をします。

- **Record/Paste（レコード/ペースト）［R3］**
  指定した内蔵スタイルのフレーズをソングのトラックに張り付けます。

◆ ビギン（Begin<Analyze>）

最初に、録音されているトラックの演奏データからコードトラックを生成するかしないかを設定します。
既にコードトラックにコード進行が入っていてそれを利用する場合は、コードトラックを生成する必要はありません。
コードトラックが空の場合は、コードトラックを生成します。

□ 操作 1

APGボタンを押した後、L2（Begin<Analyze>）ボタンを押します。



- **Use Existing Chords**
  （ユーズ イグジスティング コード）［L2］
  既にコードトラックにコード進行が入っていてそれを利用する場合指定します。

- **Start Bar（スタート バー）［L4］**
  コード進行を分析（アナライズ）するトラックの最初の小節です。

- **End Bar（エンド バー）［L5］**
  コード進行を分析するトラックの最後の小節です。

- **Analyze New Track/Track**
  （アナライズニュートラック）［R2/3］
  コードトラックを生成する場合指定します。
  またこのとき、どのトラックを使うか指定します。

- **Style Selection（スタイルセレクション）［R4］**
  スタイルの選択画面へ移行します。

□ 操作 2

L2,R2ボタンで既に録音されているコード進行を使用するか、録音されているトラックの演奏データより検出したコード進行を使用するか選択します。

R2ボタンを押してコード進行を生成する場合、R3を押した後ダイヤルで生成するトラックを指定します。

□ 操作 3

L4/5ボタンでコード進行を分析する小節範囲を設定します。

□ 操作 4

F6/7（CONTINUE）ボタンで次へ進みます。

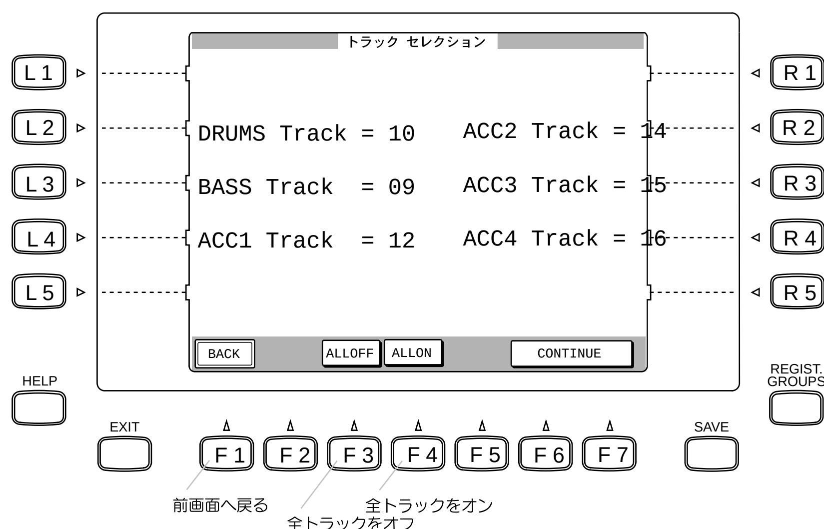
R4 ボタンでスタイルセクションへ行くこともできます。

◆ トラックセレクション（Track Selection）

後のページで説明する「スタイルセレクション」（Page...97参照）で選択したスタイルの各パートのフレーズを各トラックに張り付けますが、その張り付ける先のトラックナンバーを指定します。

□ 操作1

APGボタンを押した後、L3（Track Selection）ボタンを押します。



・DRUMS Track（ドラムトラック）,BASS Track（ベーストラック）,ACC1 Track（ACC1トラック）,ACC2 Track（ACC2トラック）,ACC3 Track（ACC3トラック）,ACC4 Track（ACC4トラック） [L2〜4,R2〜4]

ソング内のどのトラックにフレーズを張り付けるかトラックを指定します。（OFF,1〜16）

□ 操作2

L2〜4,R2〜4ボタンで設定項目を選択し、ダイヤルで値を設定します。

初期値では、上画面の通り、ドラムパートは10トラック、ベースパートは9トラックACC1パートは順に12,14,15,16となっています。

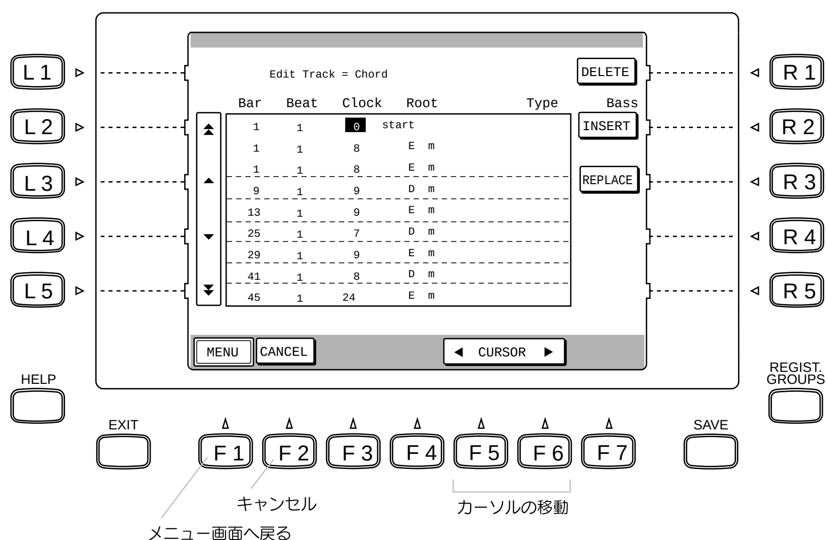
OFFを選択すると、そのパートはフレーズの張り付けがダイヤルで行われません。

◆ エディット コード（Edit Chords）

ここでは、コードトラック内のコード進行を書き換えることができます。
演奏データよりコード進行を生成した場合、思い通りのコード進行でない場合があります。
ここで、生成したコード進行を書き換えることができます。
（Page...80 のイベントエディットと基本操作は同じです。）

□ 操作 1

APGボタンを押した後、L4（Edit Chords）ボタンを押します。



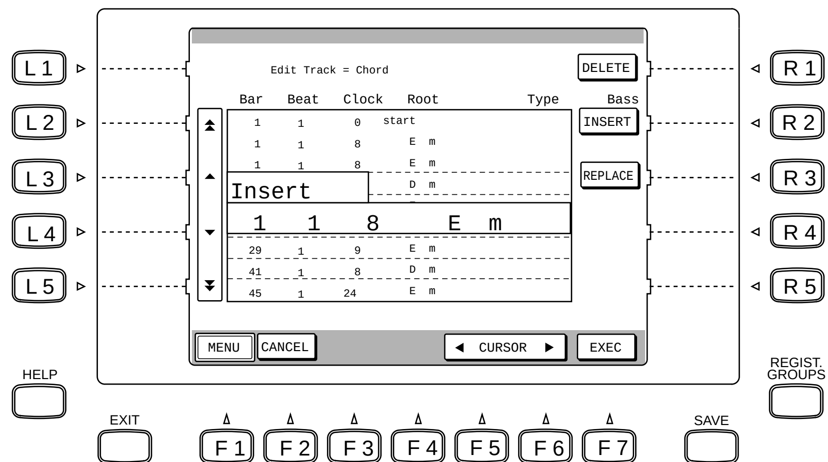
- **DELETE（デリート）［R1］**
  コードデータを削除します。
- **INSERT（インサート）［R2］**
  コードデータを新しく挿入します。
- **REPLACE（リプレース）［R3］**
  コードデータを書き換えます。

□ 操作 2

L2/5ボタンでページ移動、L3/4ボタンで1行づつ移動します。　ダイヤルでも移動することができます。

□ 操作 3

R1（DELETE）/R2（INSERT）/R3（REPLACE）ボタンでデータのエディットができます。
ボタンを押すと、カーソルがある箇所のデータが大きく表示されます。



□ **操作 4**

F5/6ボタンで、カーソルを移動させ、ダイヤルで値を選択します。

□ **操作 5**

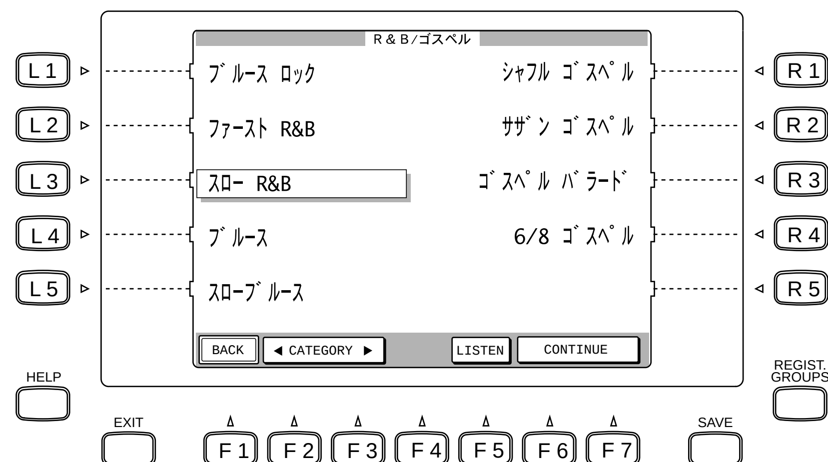
値が設定できたらF7（EXEC）ボタンを押して実行します。

◆ スタイルセレクション（Style Selection）

張り付けるスタイルを指定します。

□ **操作 1**

APGボタンを押した後、R2（Style Selection）ボタンを押します。



□ **操作 2**

L1〜5,R1〜5ボタンまたはダイヤルで選択します。F2,F3で、スタイルグループを変更できます。F5を押すと、選んだスタイルを聴くことができます。

□ **操作 3**

スタイルが選択できたら、F6/7（CONTINUE）ボタンを押して次の操作に移ります。

◆ レコード/ペースト（Record/Paste）

指定したスタイルのパートをソングのトラックに張り付けます。
張り付ける方法としてペースト　パート トラック / リアル タイム レコードの２通りあります。

□ 操作 1
APGボタンを押した後、R3（Record/Paste）ボタンを押します。



- **Paste Parts To Tracks（ペースト　パート ツー トラック）［L2］**
  選んだスタイルのパートを一気に張り付けます。

- **Real Time Record（リアル タイム レコード）［R2］**
  ソングとスタイルを再生しながら張り付けます。
  リアルタイムでバリエーションの変更が可能です。

・中央に表示されている小節は、「アナライズ」（Page..94）で設定した小節範囲が表示されます。

□ 操作 2
L2,R2ボタンでペースト パート ツー トラック/リアル タイム レコードを指定します。

□ 操作 3
張り付けられるフレーズが、どの音色で演奏させるかを指定します。
F2/3（USE TRACK SOUND）ボタンでソングトラックに指定されている音色をそのまま使用し（プログラムナンバーが書き込まれない）、F4/5（KEEP STYLE SOUND）ボタンでスタイルで設定されている音色を採用します。（そのプログラムナンバーがフレーズの先頭に書き込まれます。）

□ 操作 4
リアル タイム レコードを指定した場合、F7（RECORD）ボタンを押して張り付けを開始します。
ソングを再生しながら張り付けていきます。

ペースト　パート ツー トラックを指定した場合、F7（PASTE）ボタンを押します。
一気にスタイルのパートをトラックに張り付けていきます。

F6（LISTEN）ボタンで結果を聴いて確かめることができます。

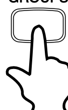
4. レジストレーション

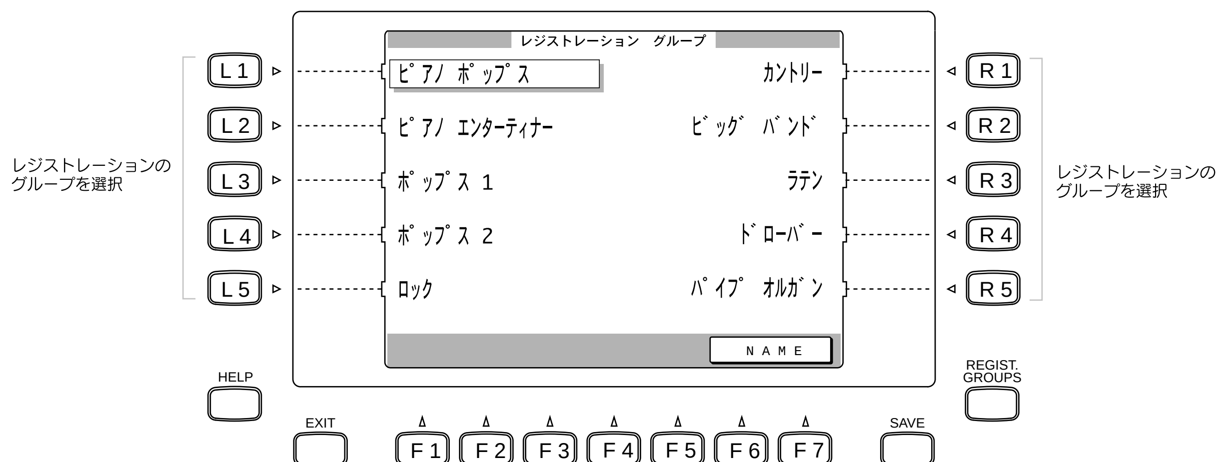
パネル上での設定を、レジストレーションといいます。
本機には、10のレジストレーショングループがあります。各グループは8つのレジストレーションからできており合計80種類のレジストレーションを本体内に記憶させることができます。

◆ レジストレーションの呼び出し

□ **操作 1**

REGIST.GROUPSボタンを押します。





□ **操作 2**

まず、L1~5, R1~5ボタンでレジストレーショングループを選び、次にパネルの8つのREGISTRATIONボタンのうち1つを押して選びます。

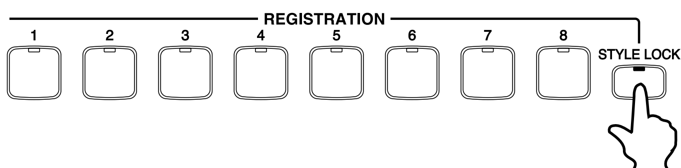
操作1で選んだレジストレーショングループの中の、押されたREGISTRATIONボタンのレジストレーションがパネルに呼び出されます。

◇ スタイルロック

スタイルロックでは、レジストレーションを変更した時、スタイルだけは変更されません。
スタイル演奏中にレジストレーションを変更するときにスタイル,テンポを変えずに音色だけを変更することができます。

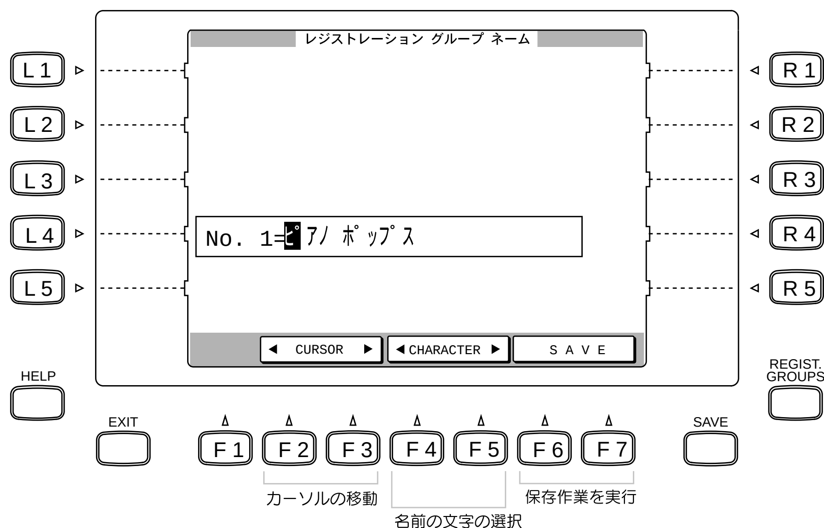
□ **操作 1**

STYLE LOCKボタンを押します。



◇ 10個のレジストレーショングループの名前を変更できます。

□ 操作 1
REGIST.GROUPSボタンを押した後、F6/7（NAME）ボタンを押します。



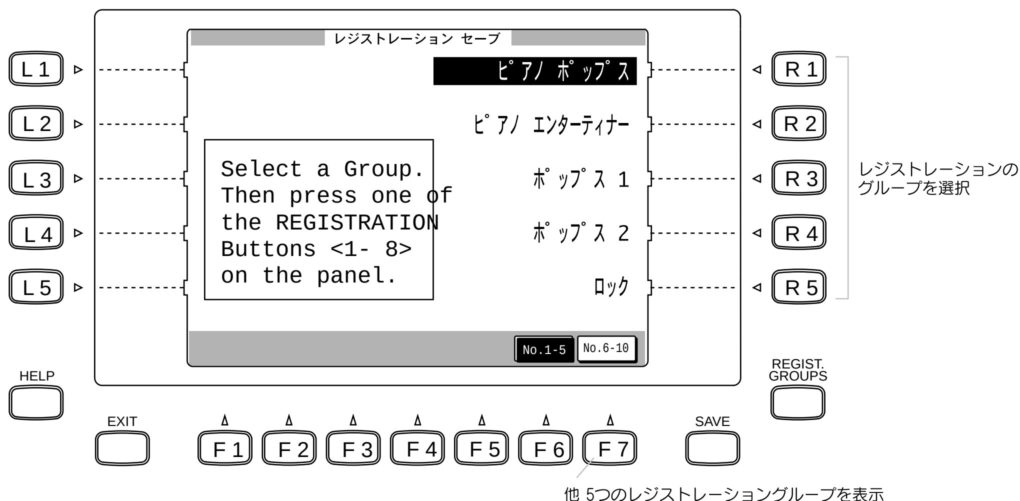
□ 操作 2
F2/3（CURSOR）ボタンでカーソルを移動し、F4/5（CHARACTER）ボタン又はダイヤルで文字を選択、F6/7（SAVE）ボタンで新しく付けた名前で保存します。

応用編
4 レジストレーション

◆ レジストレーションの本体内への書き込み

とっておきたいパネルセッティングは、本体内に保存することができます。
80 個のレジストレーションの１つとして保存します。
従って、新しく保存したレジストレーションの場所に、元々入っていたレジストレーションは、消えてしまいます。

□ 操作 1
保存しておきたいパネルのセッティングができたら、SAVEボタンを押します。



□ **操作 2**

F6,F7ボタンで前半の5つまたは後半の5つのレジストレーショングループ名を表示させ、R1～R5ボタンで10個のレジストレーショングループの中から1つ選択します。

次にパネルの8つのREGISTRATIONボタンのうちの1つを押せば、現在の状態がそのボタンに記憶されます。

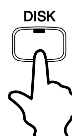
5. ディスク

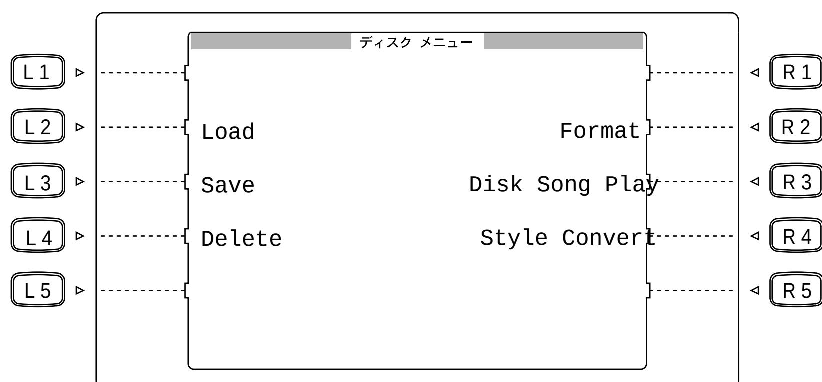
ここの章では、ディスクに関する操作機能を説明します。

□ 操作 1

DISKボタンを押します。

ディスクメニュー画面が表示されます。





- **Load（ロード）［L2］**
  ディスクの中のデータの読み込みます。
- **Save（セーブ）［L3］**
  データをディスクへ保存します。
- **Delete（デリート）［L4］**
  ディスクの中のデータの削除します。
- **Format（フォーマット）［R2］**
  ディスクをフォーマットします。
- **Disk Song Play（ディスク ソング プレイ）［R3］**
  ディスク内のソング再生をします。
- **Style Convert（スタイル コンバート）［R4］**
  各社のスタイルデータを読み込む機能です。

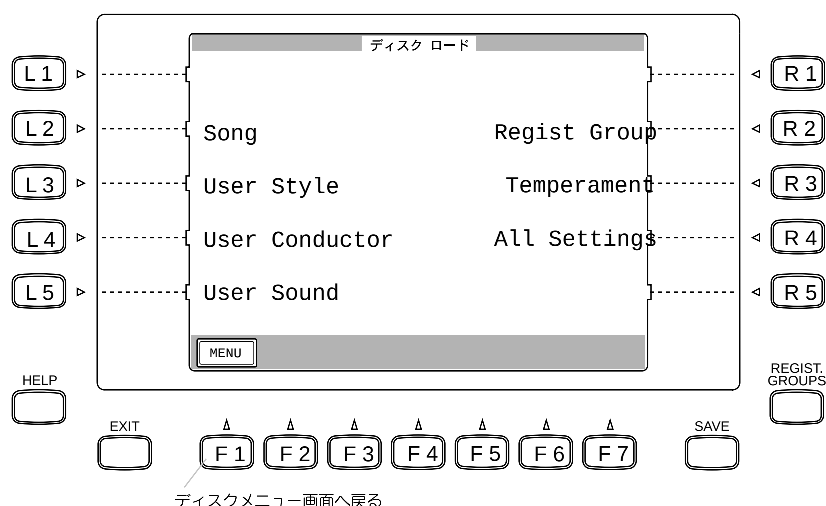
◆ ロード（Load）

ディスク内のデータを本体に読み込みます。

□ 操作 1

DISKボタンを押した後、L2（Load）ボタンを押します。

ディスプレイに読み込むデータの種類が表示されます。



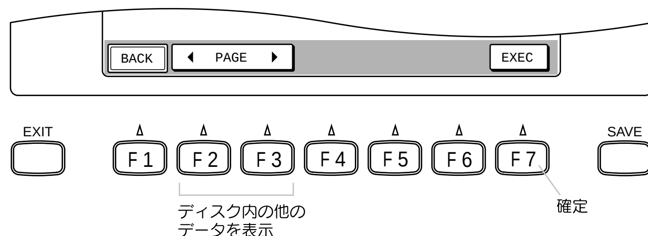
- **Song（ソング）［L2］**
  ソングのデータです。
- **User Style（ユーザースタイル）［L3］**
  ユーザースタイルのデータです。
- **User Conductor（ユーザーコンダクター）［L4］**
  ユーザーコンダクターのデータです。
- **User Sound（ユザーサウンド）［L5］**
  ユーザーサウンドのデータです。
- **Regist Group（レジスト グループ）［R2］**
  レジストレーションのデータです。
- **Temperament（音律）［R3］**
  音律設定の内容です。
- **All Settings（オールセッティング）［R4］**
  すべての設定です。

□ 操作 2

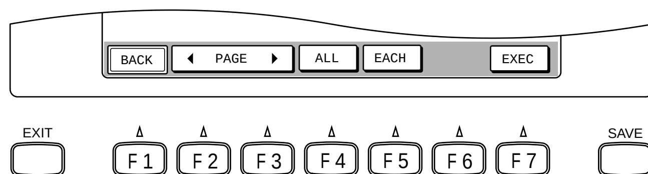
L2〜5, R2〜4ボタンでデータの種類を選びます。

データの一覧が表示されます。

• Song（ソング）/Temperament（音律）/All Settings（オールセッティング）の場合



• User Style（ユーザースタイル）/User Conductor（ユーザーコンダクター）/User Sound（ユーザーサウンド）の場合



ユーザースタイル / ユーザーコンダクター / ユーザーサウンドで「ALL...」で保存したデータを読み込む場合は、F4（ALL）ボタンを押して画面にデータの一覧を表示します。

□ 操作 3

F2/3（PAGE）ボタンで画面に表示しきれなかったディスク内の他のデータを表示します。

L1〜L5,R1〜R5ボタンで読み込みたいデータを指定し、F7（EXEC）ボタンで操作を実行します。

◆ セーブ（Save）

本体あるデータをディスクへ保存します。

□ 操作 1

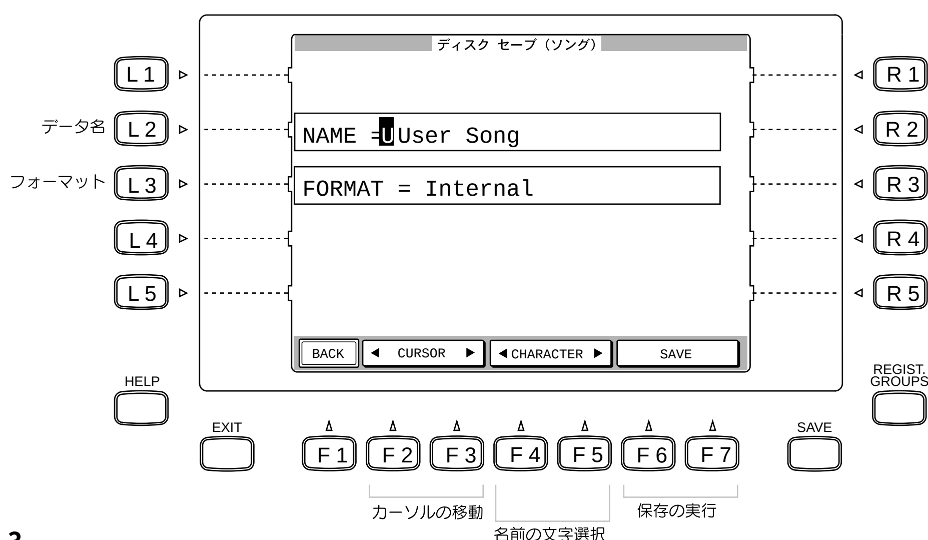
DISKボタンを押した後、L3（SAVE）ボタンを押します。

ロードの時と同様、ディスプレイにデータの種類が表示されます。

◇ ソングデータを保存する場合

□ 操作 2

L2（Song）ボタンを押します。



□ 操作 3

L2の行でソングデータに名前を付けます。

F2/3（CURSOR）ボタンでカーソルを移動しながら、F4/5（CHARACTER）ボタンかダイヤルを使って文字を選びます。

次にL3を押して行を移動し、ダイヤルでフォーマットを選択します。

●ソングのセーブの際の Format（フォーマット）について

• Internal（インターナル）

CP 本体独自のフォーマットで、コードトラック , スタイルトラック もそのまま保存されます。CP シリーズのみで使用可能で、外部の他のレコーダーでは使用できません。

• SMF（スタンダード ミディ ファイル）

この形式に対応しているすべてのレコーダーで読み取ることができます。

（注意）
本体内のレコーダーのスタイルトラックにデータ が存在する場合は、自動的に 9-16 トラックのデータが消去され、スタイルペーストが実行されますので、注意してください。
いらないスタイルデータが存在するときは、アドバンスト レコーダーのバー エディットのデリートでスタイル トラックを消去してください。
スタイルトラックが存在するかどうかは、アドバンスト レコーダーのトラックセッティングでスタイルトラックのStatus（ステータス）が Empty（エンプティー）であるかどうかで確認できます。エンプティーであれば、ペーストは実行されません。

• Stylist（ディスク ソング スタイリスト）

これは、現在のパネルの設定（レジストレーション）とレコーダー内のソングを組合せた形で保存されます。このデータは、本体のソングスタイリスト内の Disk Song Stylist（ディスク ソング スタイリスト）でのみ読み込むことができます。

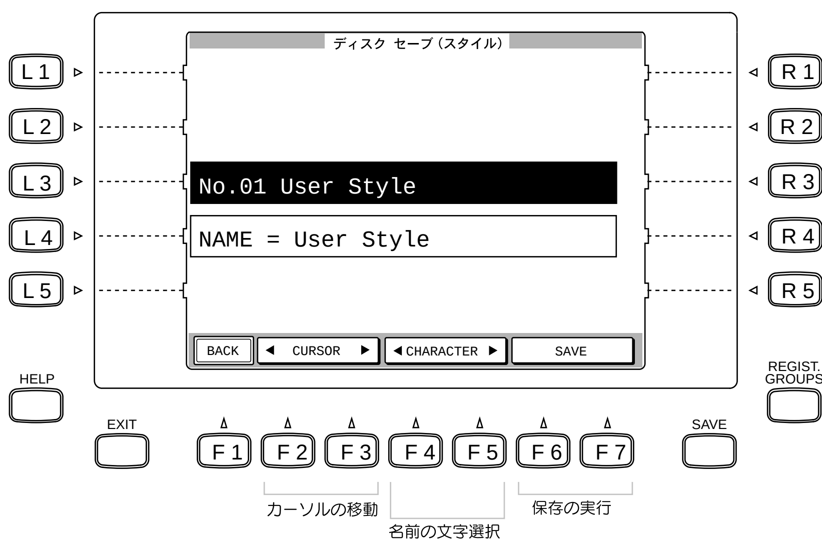
Stylist形式のファイルをディスクから読み込んでInternalフォーマットやSMFに変換することはできません。
内容をエディットしたり、本体以外のシーケンサーで使用する可能性があるときは、Internal/SMFフォーマットで保存しておくことをお薦めします。

◇ その他のデータを保存する場合

□ 操作 1

DISKボタンを押した後、L3（セーブ）ボタンを押し、L3〜5, R2〜4ボタンでデータの種類を選びます。

ユーザースタイルを保存する場合は、L3（User Style）ボタンを押します。



□ 操作 2

L3の行で保存するデータを指定します。ダイヤルで選択できます。

次にL4ボタンを押して行を移動し、データに名前を付けることができます。

F2/3（CURSOR）ボタンでカーソルを移動しながら、F4/5（CHARACTER）ボタンかダイヤルを使って文字を選びます。

Temperament（音律）のデータを保存する場合は、本体に1つしか保存できませんので、保存するデータを指定する行はありません。

□ 操作 3

F6/7（SAVE）ボタンを押して保存作業を実行します。

◆ デリート（Delete）

ディスク内のデータを消去します。

□ 操作 1

DISKボタンを押した後、L4（デリート）ボタンを押します。

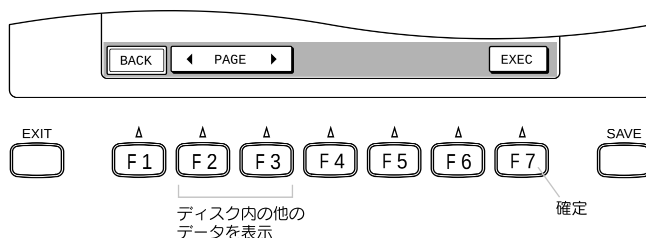
ディスプレイにデータの種類が表示されます。

□ 操作 2

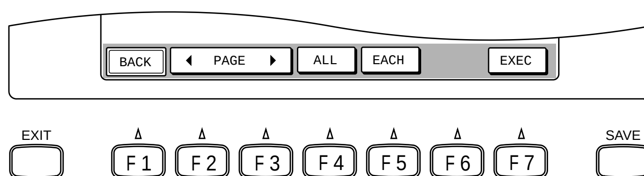
L2〜5, R2〜4ボタンでデータの種類を選びます。

・Song（ソング）/Temperament（音律）/All Settings（オールセッティング）の場合

ここで表示されるファイル名は、Internal,SMF,Stylist とも区別なく、すべて名称で表示されます。



・User Style（ユーザースタイル）/User Conductor（ユーザーコンダクター）/User Sound（ユーザーサウンド）



ユーザースタイル / ユーザーコンダクター / ユーザーサウンドで「ALL...」で保存したデータを読み込む場合は、F4（ALL）ボタンを押して画面にデータの一覧を表示します。

□ 操作 3

F2/3（PAGE）ボタンで画面に表示しきれなかった他のデータを表示します。

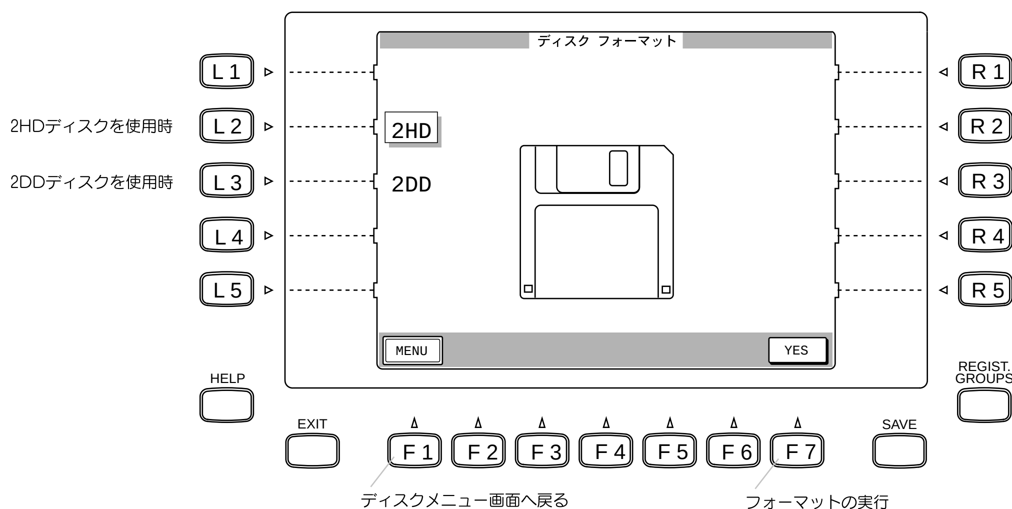
L1〜L5,R1〜R5ボタンで消去したいデータを指定します。

F7（EXEC）ボタンで操作を実行します。

◆ フォーマット（Format）

ディスクのフォーマットを行います。
ディスクのフォーマットを行えば、ディスク内のデータは全て消えてしまいますので、ご注意ください。

□ 操作 1
DISKボタンを押した後、R2ボタンを押します。



□ 操作 2
ディスクが2HDのときはL2ボタン, 2DDのときはL3を押します。

□ 操作 3
実行する場合は、F7（YES）ボタン, 中止する場合は、F1（MENU）ボタンを押します。

応用編
ディスク 5

◆ ディスク ソング プレイ（Disk Song Play）

ディスク内のソングを演奏します。
ソングセレクトと同じです。（Page...41 参照）

□ 操作 1
DISKボタンを押した後、R3ボタンを押します。

□ 操作 2
ディスプレイにディスク内のソングが、表示されます。
演奏させるソングを選びます。
ソングセレクトと同様の操作（Page...41参照）で演奏できます。

◆ スタイルコンバート（Style Convert）

本機の同梱物の１つに、ドイツのソフトウェア会社（EMC）のスタイルコンバートディスクがあります。このディスクは、カワイをはじめ他社のキーボード用のスタイルデータを本機で演奏させたい場合に使用します。
通常、メーカーがことなる場合、データの移管は、データの構造の違いのためうまくゆきませんが、この EMC のスタイルコンバートディスクを使用することで以下のメーカーの機種のディスクソフトのスタイルを本機で演奏させることができます。

• ROLAND（ローランド）
ローランドのキーボード E-66/86/96,RA-95,G-800 のスタイルを読むことができます。

• TECHNICS（テクニクス）
テクニクスのキーボード KN800/770,KN1000/750,KN2000/1200/601,KN3000/KN5000 に関しても変換可能です。
ただしこれらのスタイルデータは、全く異なったスタイルが含まれることのある、「ノーマルコンポーズモード」の場合、中には変換がうまく行かない場合があります。
「エクスパンデットモード」で作成されたスタイルに関しては、ほぼ問題無く変換できます。

• KORG（コルグ）
コルグの I シリーズ（i1,i2,i3,i4s,i5s,i5m）のスタイルは、読み込むことができます。
しかし、これらの機種のスタイルは本機の内部メモリーを超える膨大なデータが含まれる場合があります。この場合は、読み込むことはできません。

• KAWAI（カワイ）
ACR-20 で制作したスタイルもこのコンバートソフトで変換すれば本機で読み見込むことができます。
但し、ACR-20 の本体内蔵スタイルは、読み込むことはできません。

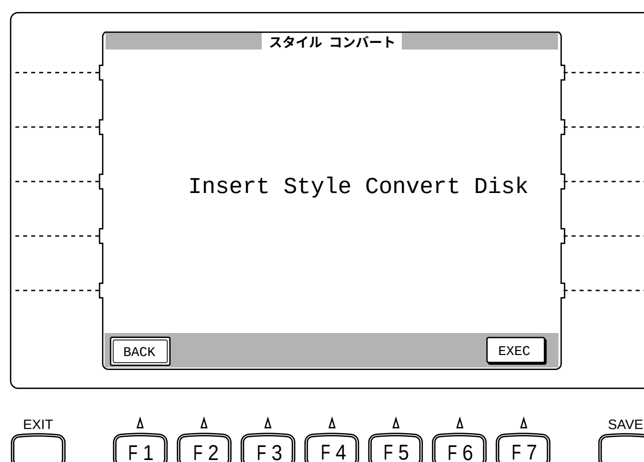
スタイルデータ量は、各社によって異なりますが、同時に内部に読み込むことのできるスタイルは 9 〜 10 個だけのこともあります。
エディットしたユーザー音色がスタイルに使われている場合は、自動的にピアノ音色に置き換えられます。

EMC では、ユーザーに対してサポート体制をとってます。
このスタイルコンバードディスクに関する問い合わせは、EMCもしくは河合楽器製作所　電子楽器事業本部へご連絡ください。

EMC Software
Further Weg 31
D-42799Leichlingen
Germany
Tel. @49/2175/72303　Fax. @49/2175/98010

□ 操作 1

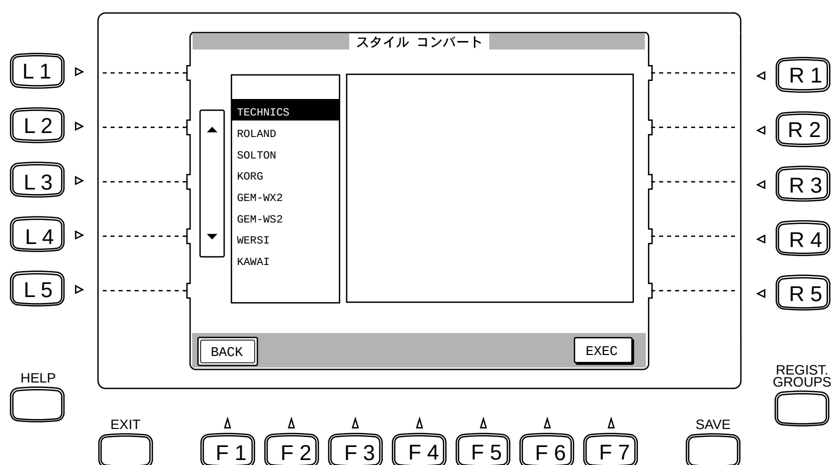
DISKボタンを押した後、R4ボタンを押します。



□ 操作 2

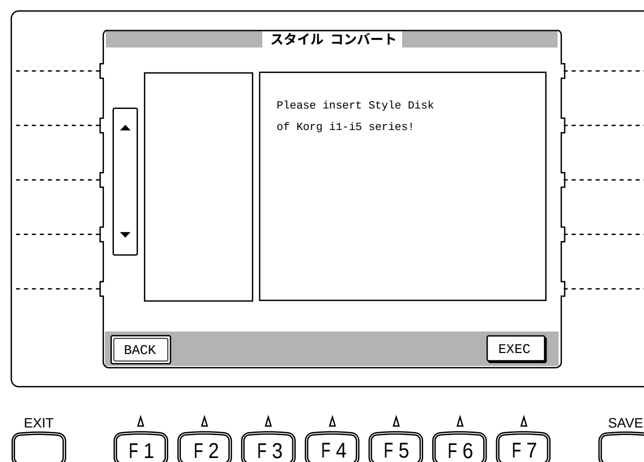
付属のコンバートディスクを挿入しF7（EXEC）ボタンを押します。

ディスクの中のコンバートディスクが本機に読み込まれます。



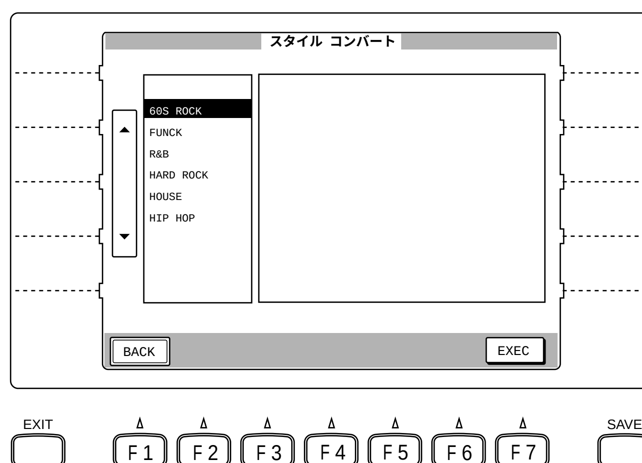
□ 操作 3

L2/4ボタンでこれから読み込むスタイルのメーカーを指定し、F7（EXEC）ボタンで実行します。



□ 操作 4

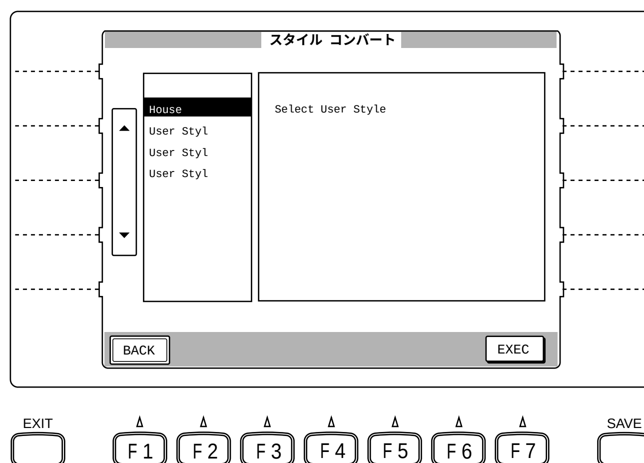
コンバートディスクを取り出し、指定したメーカーのスタイルディスクを挿入しF7（EXEC）ボタンを押します。

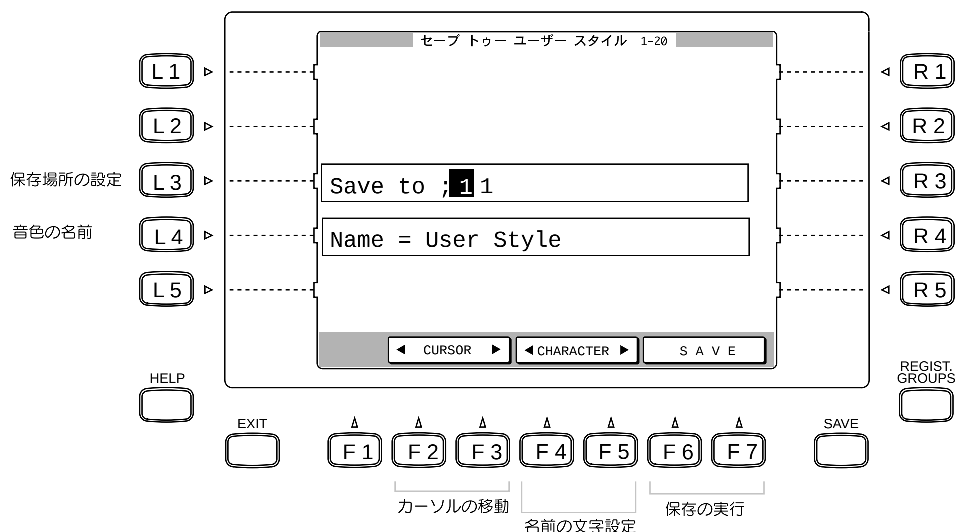


ディスク内のスタイルが表示されます。

□ 操作 5

L2/4ボタンで読み込むスタイルを指定し、F7（EXEC）ボタンで実行します。





□ 操作 6

ダイヤルで保存場所のナンバーを設定します。

次にL4を押して行を移動し、F2/3（CURSOR）ボタンでカーソルを移動しながら、F4/5（CHARACTER）ボタンかダイヤルを使って文字を選びます。

□ 操作 7

操作 6で保存場所と名前をつけたら、F6/7（SAVE）ボタンを押して保存作業を実行します。

□ 操作 8

保存したスタイルは、USER STYLEボタンを押して呼び出します。

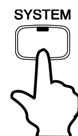
6. システム

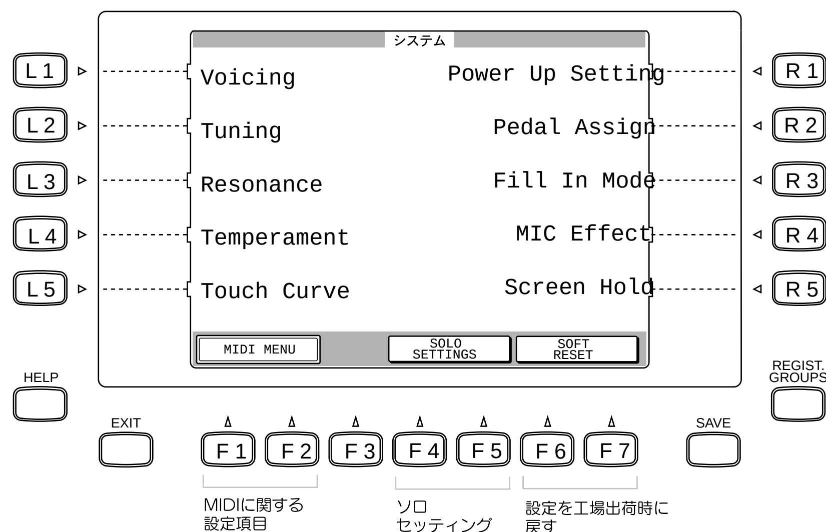
ここでは、本機の全体に関する設定を行います。

□ 操作

SYSTEMボタンを押します。

システムメニュー画面が表示されます。





L1～5, R1～5ボタンで設定項目の種類を選びます。

応用編
6 システム

- **Voicing（ボイシング）［L1］**
  ピアノ音色のニュアンスを設定します。

- **Tuning（チューニング）［L2］**
  他の楽器とのピッチ調整をします。

- **Resonance（レゾナンス）［L3］（CP150のみ）**
  ペダルリバーブを設定します。

- **Temperament（テンペラメント）［L4］**
  音律を設定します。

- **Touch Curve（タッチカーブ）［L5］**
  鍵盤を弾く強さと音量の関係（タッチカーブ）を設定します。

- **Power Up Setting（パワーアップセッティング）［R1］**
  電源を入れたときの状態を指定します。

- **Pedal Assign（ペダルアサイン）［R2］**
  ペダルの機能を設定します。

- **Fill In Mode（フィルインモード）［R3］**
  バリエーション変更時に自動的にフィルを入れる設定ができます。

- **MIC Effect（マイクエフェクト）［R4］（CP150のみ）**
  マイク接続時、エフェクトを設定します。

- **Screen Hold（スクリーンホールド）［R5］**
  ディスプレイの表示を自動的に切り替わらないようセットします。

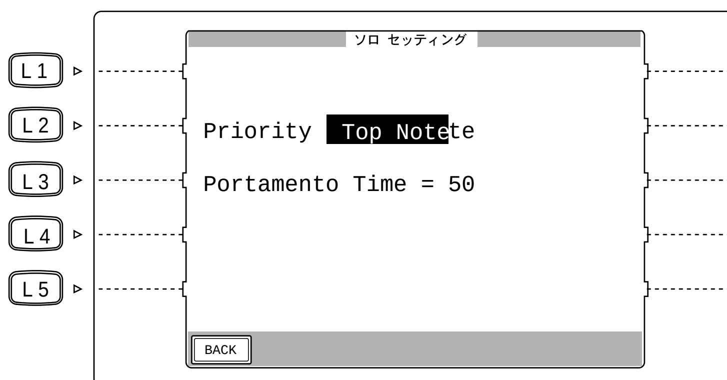
◆ ソロセッティング（SOLO SETTINGS）

ソロパートでは、複数の鍵盤を押しても１つの鍵盤の音しか発音されません。ここでは、ソロの発音のプライオリティ（優先順位）を設定できます。またポルタメントスピードも設定します。（Page...25 参照）

□ 操作 1

SYSTEMボタンを押した後、F4/5（SOLO SETTING）ボタンを押します。

パネル上の PORTAMENTO（ポルタメント）ボタンを押しつづけてもこの画面にジャンプします。



- **Priority（プライオリオティー）[L2]**
  - **Top Note　：押されている鍵盤の中で最も高い音で発音します。**
  - **Last Note　：高さに関係なく、最後に押された鍵盤の音程で発音します。**
  - **No Retrigger：2つ以上の鍵盤を弾いたとき、最後に押された鍵盤で発音するのですが、発音中の鍵盤をオフにしたとき、他の鍵盤が押されていても再発音しません。**

- **Portamento Time（ポルタメントタイム）[L3]**
  値を大きくするほど音程の変化がゆっくりとなります。

□ 操作 1

L2（Priority）ボタンを押し、ダイヤルで優先順位を設定します。

L3（Portamento Time）ボタンを押し、ダイヤルで値を設定します。

パネル上の PORTAMENTO（ポルタメント）ボタンを押しつづけてもこの画面にジャンプします。

◆ ソフトリセット（SOFT RESET）

本機内に記憶されている内容の一部を工場出荷時の状態に戻します。
ここでリセットされる内容は、以下の通りです。

●コンダクターのイージーエディットで変更したプリセットスタイル
●サウンドエディットでエフェクトセッティングを変更したプリセット音色
●ペダルアサイン,MIDIなどのシステムセッティング

□ 操作 1

SYSTEMボタンを押した後、F6かF7（SOFT RESET）ボタンを押します。

実行するならF7（YES）ボタン、やめるのならF6（NO）ボタンを押します。

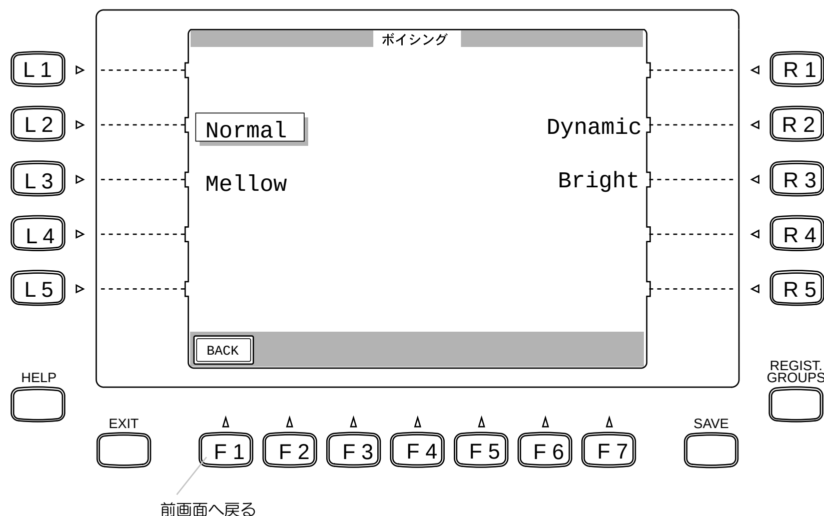
ユーザースタイル , ユーザーコンダクター , レジストレーション , ユーザーサウンド , レコーダーの内容は、そのまま維持されます。

1）システムメニュー（SYSTEM MENU）

◆ ボイシング（Voicing）

ピアノのハンマーの硬さ（整音の具合：ボイシング）をシミュレートした機能です。
全ピアノ音色に有効です。

□ 操作 1
SYSTEMボタンを押した後、L1ボタンを押します。



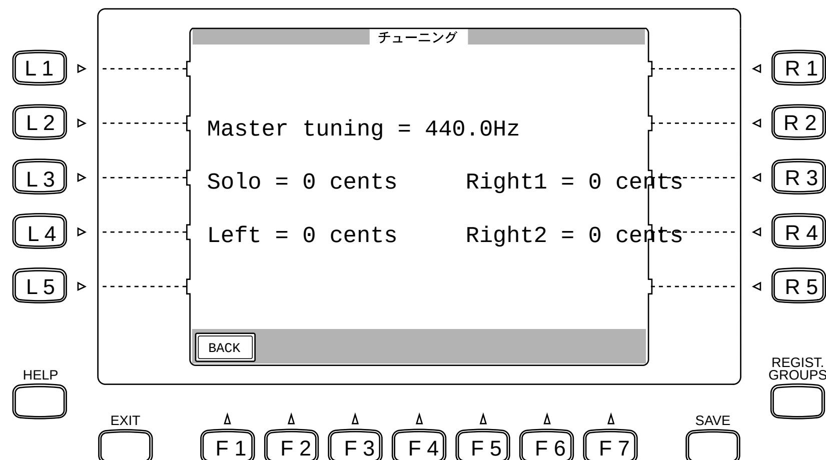
- **Normal（ノーマル）［L2］**
  通常の設定です。
- **Mellow（メロー）［L3］**
  柔らかめのハンマーをシミュレートした全体にソフトな音色になります。
- **Dynamic（ダイナミック）［R2］**
  ソフトな音色からブライトな音色までダイナミックに変化します。
- **Bright（ブライト）［R3］**
  硬めのハンマーをシミュレートした明るい音色になります。

□ 操作 2
L2/3,R2/3ボタンを押して選択します。

◆ チューニング（Tuning）

全体のチューニングと、４つの音色パート毎のチューニングを設定をします。
これにより、重ねて出す音のチューニングを少しづつ変えて、広がりのある音にすることができます。

□ 操作 1
SYSTEMボタンを押した後、L2ボタンを押します。



• Master tuning（マスターチューニング）［L2］
全体のチューニング調整。(427.0～453.0Hz)

• Solo（ソロ）［L3］
ソロパートのチューニング調整。
(-50 ～ +50cents)

• Left（レフト）［L4］
レフトパートのチューニング調整。
(-50 ～ +50cents)

• Right1（ライト1）［R3］
ライト 1 パートのチューニング調整。
(-50 ～ +50cents)

• Right2（ライト2）［R4］
ライト 2 パートのチューニング調整。
(-50 ～ +50cents)

［100cents=半音］

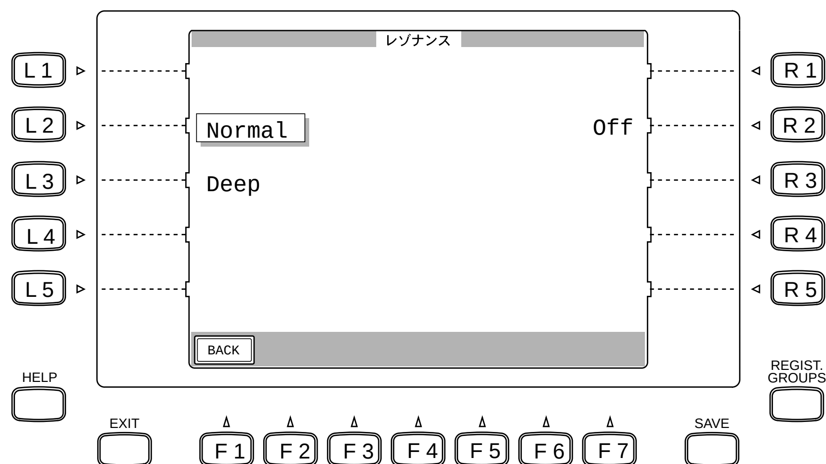
□ 操作 2
L2~4,R3/4ボタンを押して選択し、ダイヤルで値を設定します。

応用編 システム 6

◆ レゾナンス（Resonance）（CP150のみ）

生のピアノでは、ダンパーペダルを踏んだときに鍵盤を弾くと、ピアノ全体の共鳴音が響きます。
レゾナンスはこの共鳴音の量をシミュレートします。
Deep に設定するとより広がりのある音になります。（CP130 では、Effect の中の一つにこの機能があります。）

□ 操作 1
SYSTEMボタンを押した後、L3ボタンを押します。



- **Normal（ノーマル）［L2］**
  通常の設定です。
- **Deep（ディープ）［L3］**
  共鳴効果を深くします。
- **Off（オフ）［R2］**
  共鳴効果をオフにします。

□ 操作 2

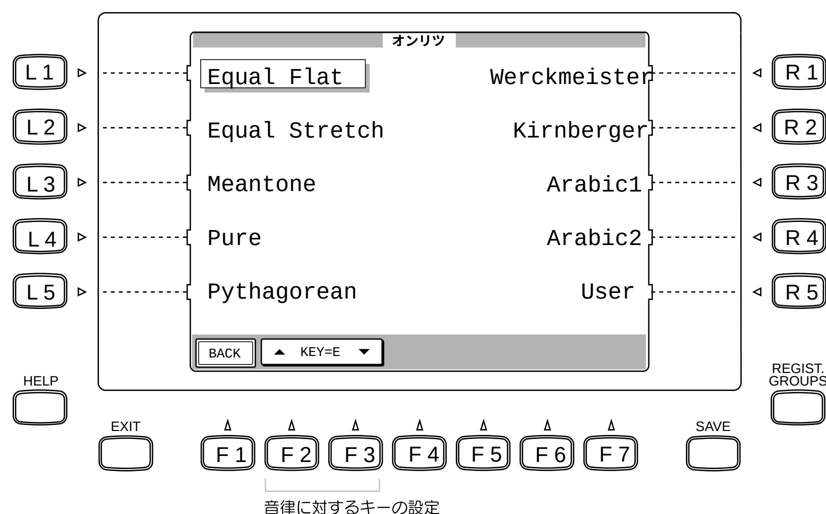
L2,L3,R2ボタンを押して選択します。

◆ テンペラメント（Temperament）

ユーザー音律を含めて、合計 10 種類の音律を保持することができます。

□ 操作 1

SYSTEMボタンを押した後、L4ボタンを押します。



• **Equal Flat**
（ピアノ調律曲線を使わない平坦な平均律）
どのように移調しても和音の響きが変わらないという特徴があります。

• **Equal Stretch**
（ピアノ調律曲線を使った平均律）
ピアノの調律法として最もポピュラーなもので、ピアノの調律曲線に沿った平均律です。

• **Meantone（中全音律）**
3 度のうなりをなくした調律法で純正律の特徴の 5 度が著しく不協和音であることを改良したもので、平均律よりも和音が美しく響きます。

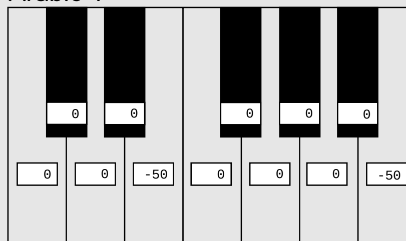
• **Pure（純正律）**
3度と5度のうなりをなくした調律法で、和音よりもメロディーを演奏すると非常に美しいのが特徴です。

• **Pythagorean（ピタゴラス音律）**
5 度のうなりをなくした調律法で、和音よりもメロディーを演奏すると非常に美しいのが特徴です。

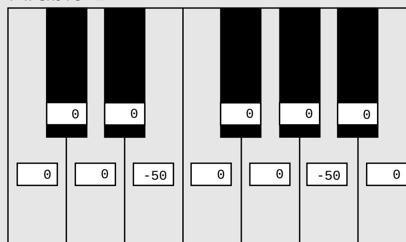
• **Werckmeister / Kirnberger**
（ヴェルクマイスター第III法 / キルンベルガー第III法）
調合の少ない調は、和音の美しい中全音律に近く、調合が増えるに従って、緊張感が高く、メロディーが美しいピタゴラス音律に近づけて行くもので、古典楽器の作曲家の意図した「調性の性格」を反映することのできる調律法です。

• **Arabic 1/Arabic 2（アラビック1/2）**
アラビヤ風の演奏が楽しめます。
設定は以下の通りです。
全て「0」で平均律となります。

Arabic 1



Arabic 2



• **User（ユーザー）**
ユーザーがオリジナルの音律を設定します。

応用編
システム 6

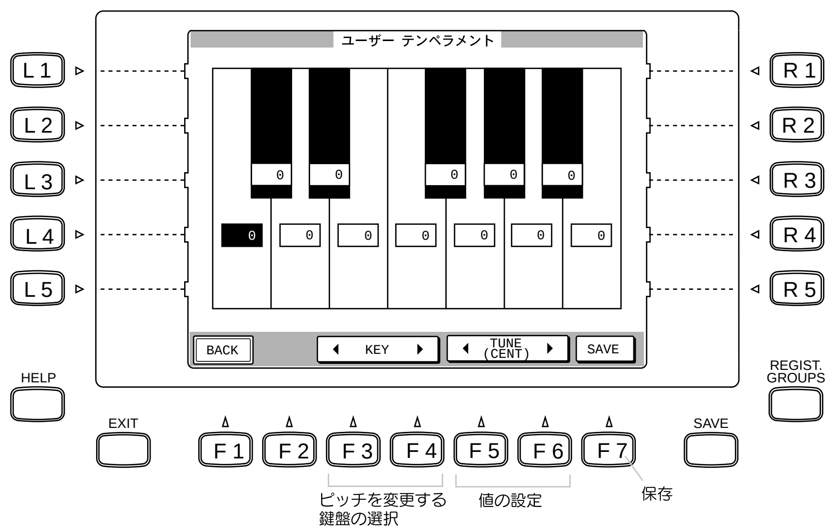
□ 操作 2
L1～5,R1～5ボタンを押して選択します。

□ 操作 3
F2,F3でキーを設定します。

◇ オリジナルの音律を設定します。

□ 操作 1

SYSTEMボタンを押した後、L4ボタンを押し、R5ボタンを押して「User」を選択します。



□ 操作 2

F3,4ボタンを押してピッチを変更する鍵盤を選択し、F5,6ボタンを押すかダイヤルを回して値を設定します。

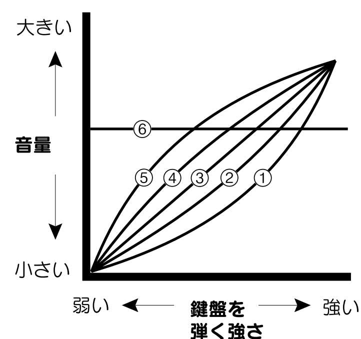
値は、CENT（セント）値で -50 ～ 50 セントの範囲で設定可能です。（100 セント = 半音）
全ての値を 0 に設定すれば、平均律（Equal Flat）となります。

□ 操作 3

設定ができたら、F7ボタンを押して保存します。

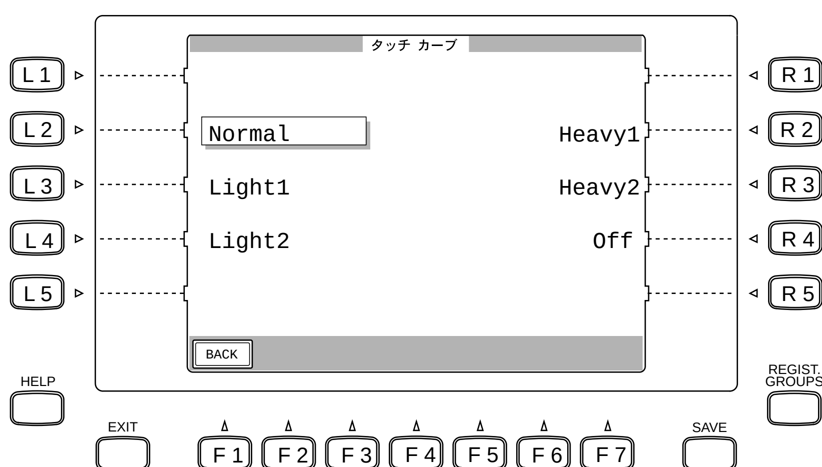
◆ タッチカーブ（Touch Curve）

ピアノでは、鍵盤を弾く力をだんだん強くしていくと、音量もだんだん大きくなっていきます。
この鍵盤を弾く強さと音量との関係を表わしたものをタッチカーブといいます。
本機では、6 種類のタッチカーブを選ぶことができます。



① Heavy 1　④ Light 1
② Heavy 2　⑤ Light 2
③ Normal　⑥ Off

□ 操作 1
SYSTEMボタンを押した後、L5ボタンを押します。



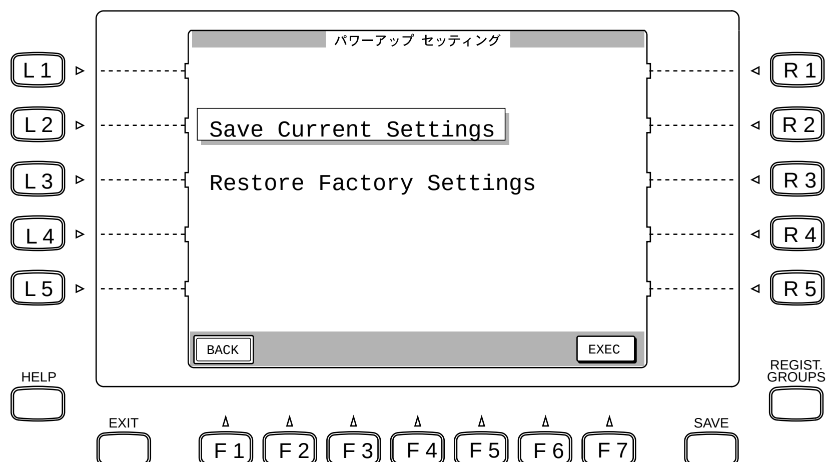
- **Normal（ノーマル）**
  アコースティックピアノと同程度のタッチで音量変化します。
- **Light 1（ライト1）/Light 2（ライト2）**
  弱いタッチで弾いても大きな音がでます。小さなお子様や、オルガンプレーヤー向きのタッチカーブです。
- **Heavy 1（ヘビー1）/Heavy 2（ヘビー2）**
  強いタッチで弾かないと大きな音がでません。指の力が強い人や練習向きのタッチカーブです。
- **Off（オフ）**
  タッチの強弱に関わらず一定の音量で発音します。

□ 操作 2
L2～4,R2～4ボタンを押して選択します。

◆ パワーアップセッティング（Power Up Setting）

電源オン時の、パネルの状態についての設定です。

□ 操作 1
SYSTEMボタンを押した後、R1ボタンを押します。



- **Save Current Settings（セーブ・カレント・セッティング）**
  L2ボタンを押して「Save Current Settings」を実行した時点でのパネル設定を記憶し、次回電源を入れたとき、その状態で立ち上がります。

- **Restore Factory Settings（リストア・ファクトリー・セッティング）**
  電源を入れたとき、工場出荷時の設定に戻します。
  ただし、ユーザーがユーザーエリアに書き込んだものは、そのまま残されています。

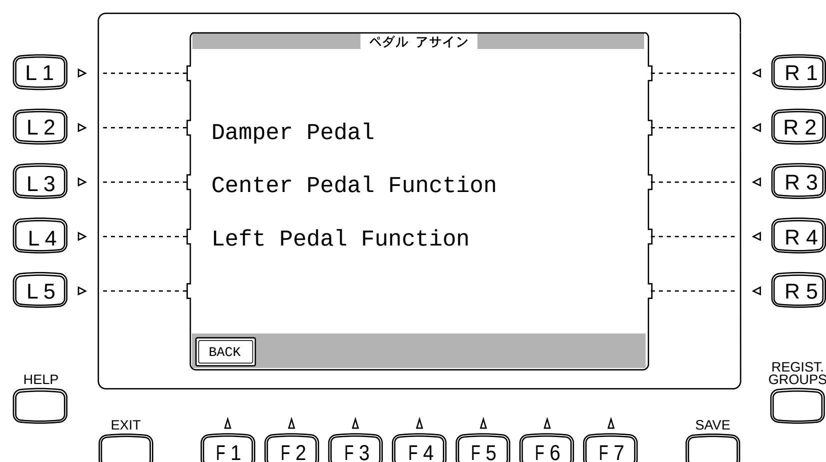
□ 操作 2
L2〜3ボタンを押して選択、F7（EXEC）ボタンで確定します。

◆ ペダルアサイン（Pedal Assign）

3 つのペダルには、あらかじめそれぞれ機能があります。（Page...11 参照）
ここでは、これらのペダルに他の機能を割り当てる事が出来ます。

□ 操作 1

SYSTEMボタンを押した後、R2ボタンを押します。



- **Damper Pedal（ダンパー ペダル） [L2]**
  ダンパー効果のオン / オフを音色パート毎に設定します。

- **Center Pedal Function（センター ペダル ファンクション） [L3]**
  中央のペダルにアサインする機能を設定します。工場出荷時は、ソステヌート機能が割り当てられています。

- **Left Pedal Function（レフト ペダル ファンクション） [L4]**
  左のペダルにアサインする機能を設定します。工場出荷時は、ソフト機能が割り当てられています。

□ 操作 2

L2～4ボタンを押して選択します。

- **注意 1**
  Left Pedal（レフト ペダル）の設定は、レジストレーションに記憶されますが、Center Pedal（センターペダル）の設定は、記憶されず、ここで変更したものは、レジストレーションを切り換えてもかわりません。

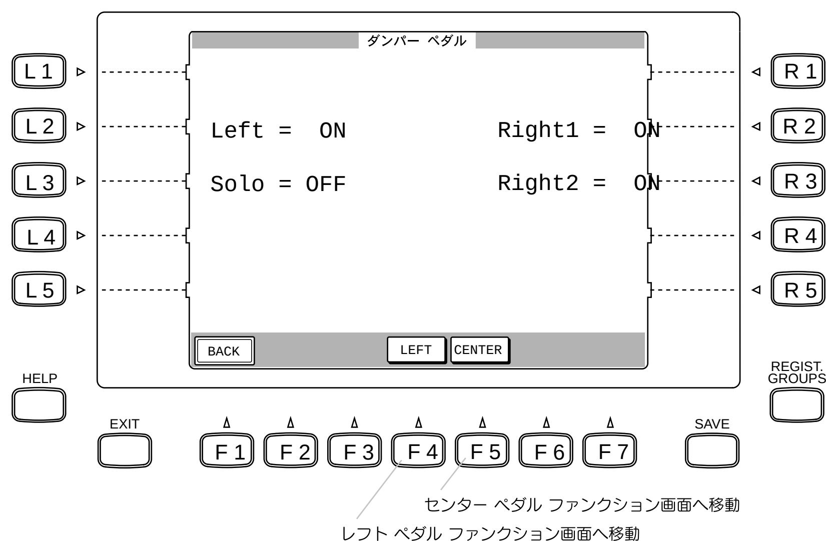
- **注意 2**
  Left Pedal（レフトペダル）の機能は、現在エフェクトに Rotary（ロータリー）が選ばれている場合は、自動的にロータリーの「fast/slow」の切り換えの機能になります。

- **注意 3**
  Center Pedal（センターペダル）は、パンチイン / アウトでペダルによるパンチイン / アウトを選択したときは、自動的にパンチイン / アウトをする機能に切り換わります。

◇ ダンパー ペダル（Damper Pedal）

各パート毎にダンパーペダルのオン / オフ（有効 / 無効）を設定します。

□ 操作 1
SYSTEMボタンを押した後、R2ボタンを押し、L3（Damper Pedal ）ボタンを押します。



□ 操作 2
L2/3,R2/3ボタンで音色パートを選択し、ダイヤルを回してオン/オフを選択します。

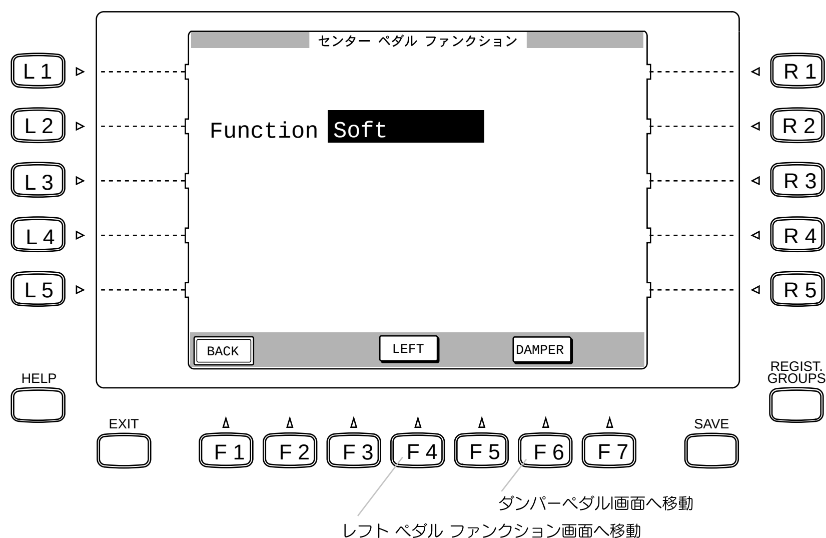
（CP150 のみハーフペダルが可能です。Page...11 参照）

□ 操作 3
F4/5ボタンでレフト ペダル ファンクション/センター ペダル ファンクションの設定画面へ移行します。

◇ ｾﾝﾀｰﾍﾟﾀﾞﾙﾌｧﾝｸｼｮﾝ（Center Pedal Function）/ﾚﾌﾄﾍﾟﾀﾞﾙﾌｧﾝｸｼｮﾝ（Left Pedal Function）

真ん中と左側にあるペダルの機能を設定します。

□ 操作 1
SYSTEMボタンを押した後、R2ボタンを押し、L3/L4ボタンを押します。



- **Soft（ソフト）**
  音色がやわらかくなり音量も小さくなります。

- **Sostenuto（ソステヌート）**
  鍵盤を押した後、指を離す前にこのペダルを踏むとその音だけにサスティンがかかります。

- **Start/stop（スタート / ストップ）**
  - **Style（スタイル）**
    スタイルのスタート / ストップを行います。

  - **Sequencer（シーケンサー）**
    録音したソングやディスク内のソングのスタート / ストップを行います。

- **Harmony on/off（ハーモニー オン / オフ）**
  ハーモニーを付加します。

- **Registration（レジストレーション）**
  - **Increment（インクリメント）**
    レジストレーションの番号を次のものに切り換えます。

  - **Decrement（デクリメント）**
    レジストレーションの番号を前の小さい番号のものに切り換えます。

- **Style Variation（スタイルバリエーション）**
  - **Increment（インクリメント）**
    スタイルバリエーション No. を増加します。

  - **Decrement（デクリメント）**
    スタイルバリエーション No. を減少します。

- **Intro/Ending（イントロ / エンディング）**
  スタイルのスタート / ストップをイントロ / エンディング付きで行います。

- **Fill In（フィルイン）**
  スタイル演奏時に、フィルを入れます。

- **Break（ブレーク）**
  スタイル演奏時、ペダルを踏んでいる間、ブレークを入れます。

- **Drums Only （ドラムス オンリー）**
  スタイル演奏時に、ドラムパート以外をミュートします。

- **Sync/Fade Out（シンク / フェードアウト）**
  スタイル演奏時に、音量を絞りながら演奏を終わらせます。
  また、スタイル演奏前にペダルを踏んで鍵盤を弾くと、自動的にスタイルも同時に演奏をスタートします。

- **Glide（グライド）**
  なめらかにピッチを変化させます。
  - **Amount（アマウント）**
    ピッチ変動の範囲を半音単位で -12 〜 +12 の範囲で設定します。
    プラスに設定すると、ペダルを踏んだときにピッチが上がり、マイナスにするとピッチが下がります。ペダルを戻すと元のピッチに戻ります。
  - **Bend Time（ベンドタイム）**
    ペダルを踏んだとき、ピッチを変える時間を設定します。
    大きな数値にすると、ゆっくりピッチが変わります。
  - **Return Time（リターンタイム）**
    ペダルを戻したとき、ピッチを元に戻す時間を設定します。

- **Modulation（モジュレーション）**
  ビブラートをかけます。
  - **Amount（アマウント）**
    かかり具合を 0 〜 127 の範囲で設定します。
  - **Time（タイム）**
    ビブラートのスピードを設定します。

- **Rotary Fast/Slow（ロータリーファースト/スロー）**
  音色に回転スピーカーの効果を与えます。

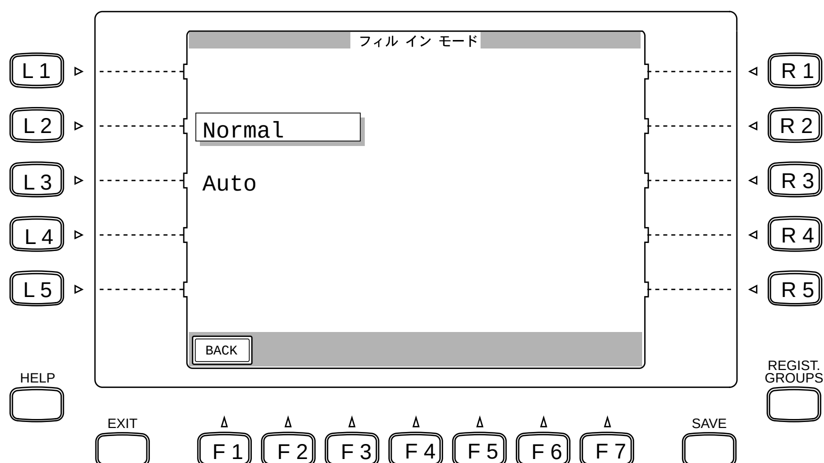
- **Left Hand Hold（レフトハンドホールド）**
  レフトパートがオンでかつACCがオンのとき、1度ペダルを踏むと、左手で押さえたコードの音がレフトパートの音色で伸びつづけます。再度ペダルを踏むと鳴りやみます。

□ 操作 2
ダイヤルを回してペダルの機能を選択します。

◆ フィルインモード（Fill In Mode）

本機には、スタイル演奏時にフィルインを入れたり、バリエーションを切り換えることができます。
ここは、フィルインとバリエーションに関する設定です。

□ 操作 1
SYSTEMボタンを押した後、R3ボタンを押します。



- **Normal（ノーマル）［L2］**
  通常通りの仕様です。
  FILL IN ボタンを押したら、押されたボタンのフィルが入ります。
  また VARIATION ボタンを押したら、押されたボタンのバリエーションに切り換わります。

- **Auto（オート）［L3］**
  バリエーション切り換え時、自動的に切り換え前のバリエーションと同じ番号のフィルが入れて切り換わります。
  バリエーション1を演奏時、VARIATION3 ボタンを押すと自動的にフィル1が演奏しバリエーション3へ切り換わります。

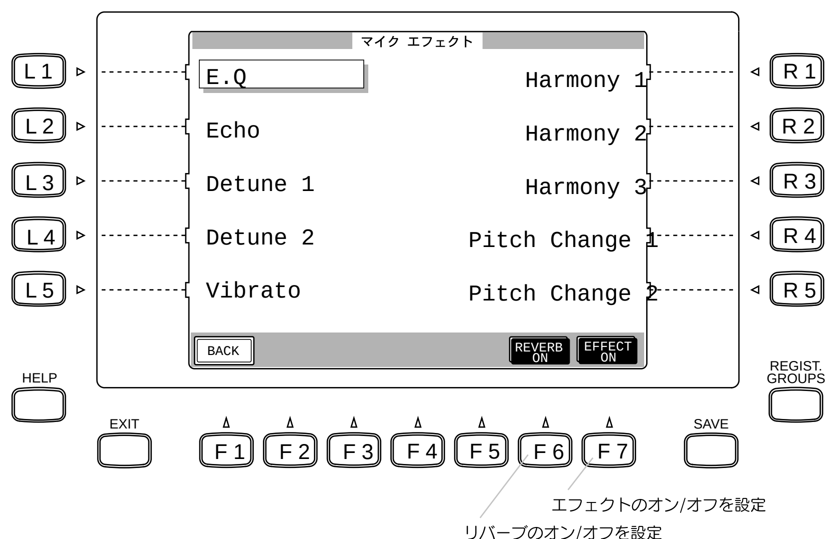
□ 操作 2
L2～3ボタンを押して選択します。

◆ マイクエフェクト（MIC Effect）（CP150のみ）

マイクにエフェクトを設定します。（CP130 には、ありません。）

□ 操作 1

SYSTEMボタンを押した後、R4ボタンを押します。



- **EQ（イコライザー）［L1］**
  イコライジングの調整をします。

- **Echo（エコー）［L2］**
  こだま効果のことです。

- **Detune1/2（ディチューン1/2）［L3/4］**
  元の声に少しだけピッチをずらした声を重ねます。厚みのある声になります。

- **Vibrato（ビブラート）［L5］**
  声を同じ音程で伸ばすと、自動的にやや遅れてビブラートを付加します。

- **Harmony1/2/3（ハーモニー1/2/3）［R1/2/3］**
  曲のキーを指定し、ハーモニーを付加。1人でも2人で歌っているような、コーラスが楽しめます。

- **Pitch Change1/2（ピッチ チェンジ1/2）［R4/5］**
  ピッチを変更します。

□ 操作 2

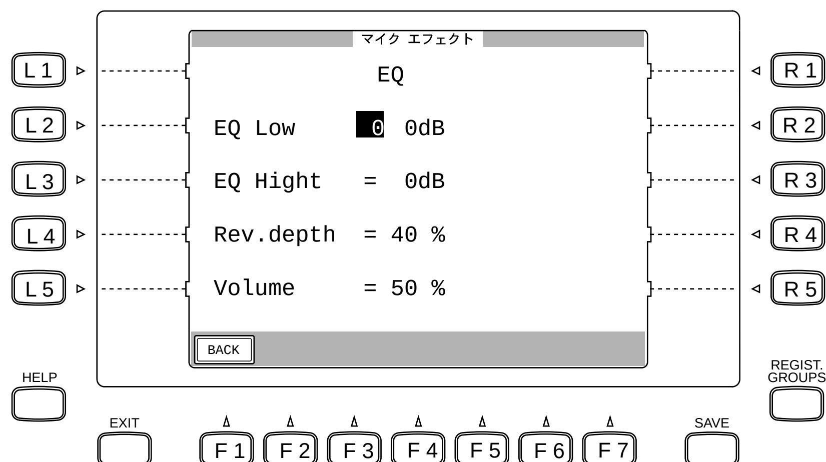
L1～5,R1～R5ボタンを押して選択します。

◇ イコライザー（EQ）

マイクの音の高音域と低音域を調整します。

□ 操作 1

SYSTEMボタンを押した後、R4ボタンを押し、L1ボタンを押します。



- **EQ Low（イコライザー　ロー）［L2］**
  低域周波数を-12～+12dBの範囲でブースト/カットします。
  プラス値でブースト、マイナス値でカットされます。

- **EQ Hight（イコライザー　ハイ）［L3］**
  高域周波数のブースト/カットします。

- **Rev. depth（リバーブ　デプス）［L4］**
  リバーブのかかり具合を調整します（0～100%)。

- **Volume（ボリューム）［L5］**
  ボリュームの調整をします（0～100%)。

  （注意）
  本体左下のマイク入力の横にもボリュームツマミがあります。マイクの音が歪むときは、このつまみのボリュームを下げて、こちらの[L5]のボリュームを上げてください。

応用編

6 システム

□ 操作 2

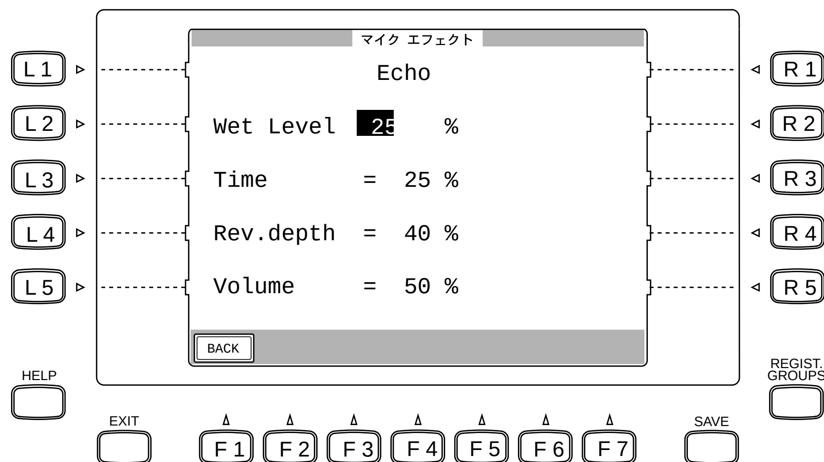
L2～5,ボタンを押して選択した後、ダイヤルで値を設定します。

◇ エコー（Echo）

マイクのエコーのかかり具合を調整します。

□ 操作 1

SYSTEMボタンを押した後、R4ボタンを押し、L2ボタンを押します。



- **Wet Level（ウエット　レベル）［L2］**
  エコーのかかる深さを設定します。（0～100%）
- **Time（タイム）［L3］**
  エコー（反射音）の繰り返しの時間間隔を設定します。（0～100%）
- **Rev. depth（リバーブ　デプス）［L4］**
  リバーブのかかり具合を調整します。（0～100%）
- **Volume（ボリューム）［L5］**
  ボリュームを調整します。（0～100%）

□ **操作 2**

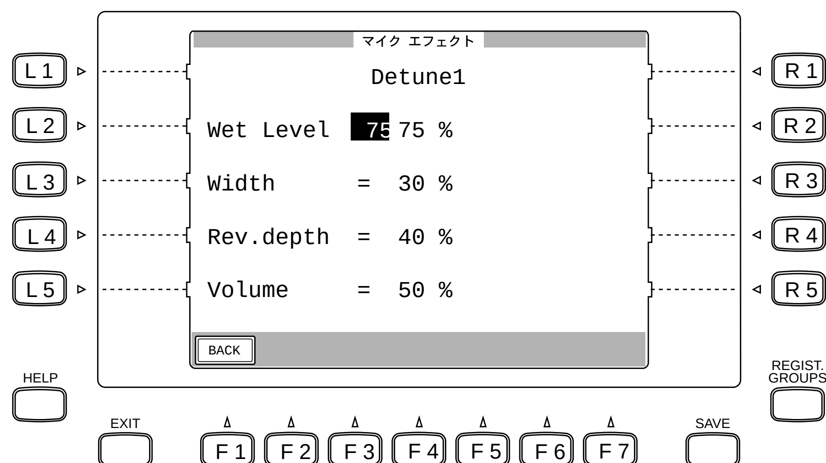
L2～5,ボタンを押して選択した後、ダイヤルで値を設定します。

◇ ディチューン1/2（Detune1/2）

ディチューン１では、元の声に微量のピッチ変更を加えた声を重ね合わせます。
ディチューン２では、元の声に微量のピッチ変更を加えた声を左右から合わせます。右はプラスのピッチ変更、左はマイナスのピッチ変更しています。

□ **操作 1**

SYSTEMボタンを押した後、R4ボタンを押し、L3/4ボタンを押します。



• **Wet Level（ウエット　レベル）［L2］**
元の声に重ねるピッチをずらした声のレベルを改定します。（0～100%）

• **Width（ウィドス）［L3］**
ピッチ変更幅を調整します。（0～100%/100% = 半音）

• **Rev. depth（リバーブ　デプス）［L4］**
リバーブのかかり具合を調整します。（0～100%）

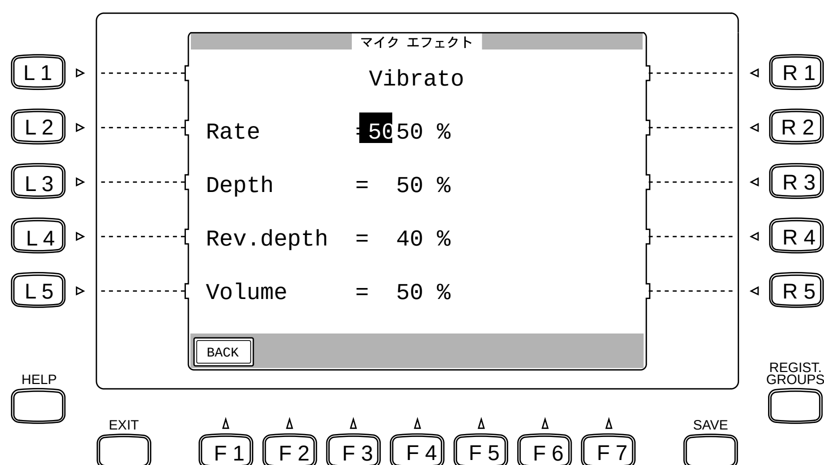
• **Volume（ボリューム）［L5］**
ボリュームの調整をします。（0～100%）

□ **操作 2**
L2～5ボタンを押して選択した後、ダイヤルで値を設定します。

◇ ビブラート（Vibrato）

声を一定の音程で伸ばすと、ビブラートが自動的にかかります。

□ **操作 1**
SYSTEMボタンを押した後、R4ボタンを押し、L5ボタンを押します。



• **Rate（レイト）［L2］**
ビブラートのスピードを調整します。（0～100%）

• **Depth（デプス）［L3］**
ビブラートの深さを調整します。（0～100%）

• **Rev. depth（リバーブ　デプス）［L4］**
リバーブのかかり具合を調整します。（0～100%）

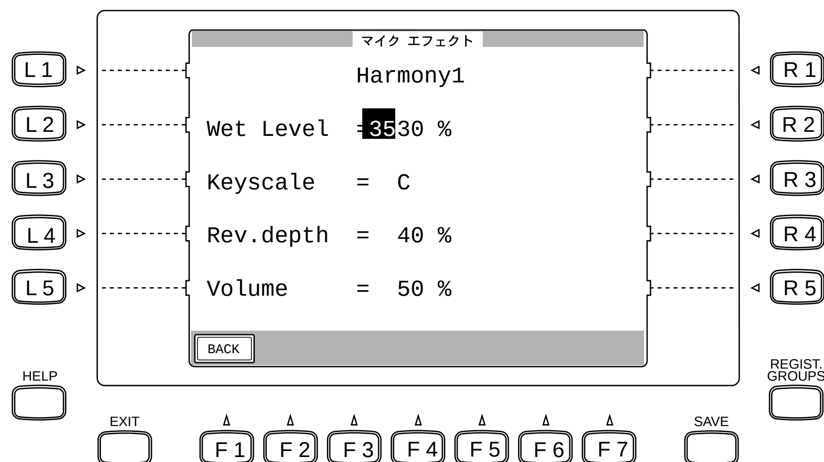
• **Volume（ボリューム）［L5］**
ボリュームを調整します。（0～100%）

□ **操作 2**
L2～5ボタンを押して選択した後、ダイヤルで値を設定します。

◇ ハーモニー1/2/3（Harmony1/2/3）

・Harmony1（ハーモニー 1）は、曲のキーを指定し、元の声の音程に 3 度上の音を自動的に付け加えることにより、ハーモニーを付けます。1 人で 2 人のコーラスが楽しめます。
・Harmony2（ハーモニー 2）は、元の声の音程に 3 度下のハーモニーを付加します。
・Harmony3（ハーモニー 3）は、元の声の音程に± OCT, ± 5th のいずれかの音を付加します。

□ 操作 1
SYSTEMボタンを押した後、R4ボタンを押し、R1/2/3ボタンを押します。



• Wet Level（ウエット　レベル）［L2］
ハーモニーの音量を調整します。（0 ～ 100%）

• Keyscale（キースケール）［L3］（Harmony1/2の時）
歌う時の調を指定します。（Cm ～ Bm,C ～ B）
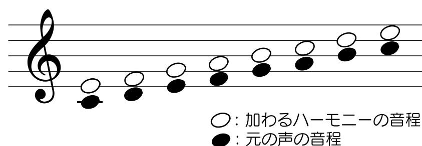
• Note Interval（ノートインターバル）［L3］（Harmony3の時）
-OCT,-5th,+5th,+OCTの音を付加してハーモニーを付けることができます。

• Rev. depth（リバーブ　デプス）［L4］
リバーブのかかり具合を調整します。（0 ～ 100%）

• Volume（ボリューム）［L5］
ボリュームの調整を調整します。（0 ～ 100%）
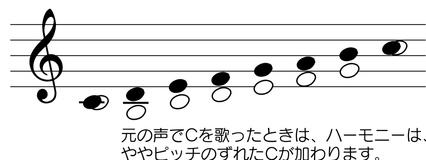
□ 操作 2
L2～5,ボタンを押して選択した後、ダイヤルで値を設定します。

● Harmony1のとき（キースケール=Cのとき）



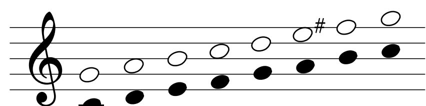
○：加わるハーモニーの音程
●：元の声の音程

● Harmony2のとき（キースケール=Cのとき）



元の声でCを歌ったときは、ハーモニーは、ややピッチのずれたCが加わります。

● Harmony3のとき（ノート インターバル=+5 th のとき）



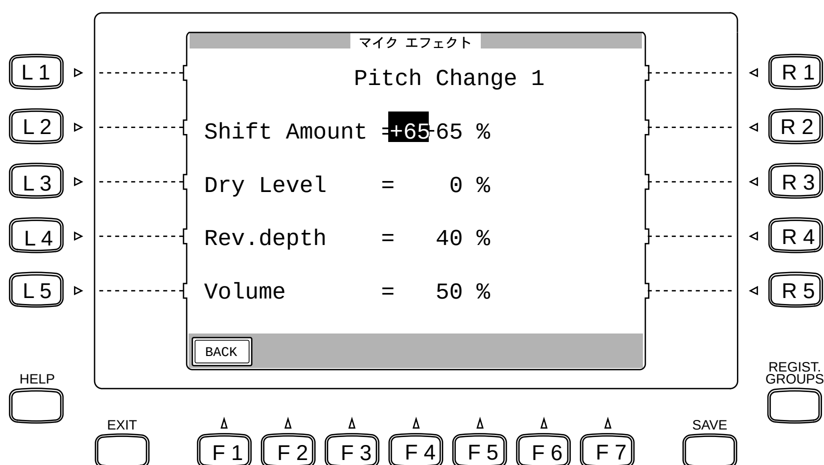
応用編 システム 6

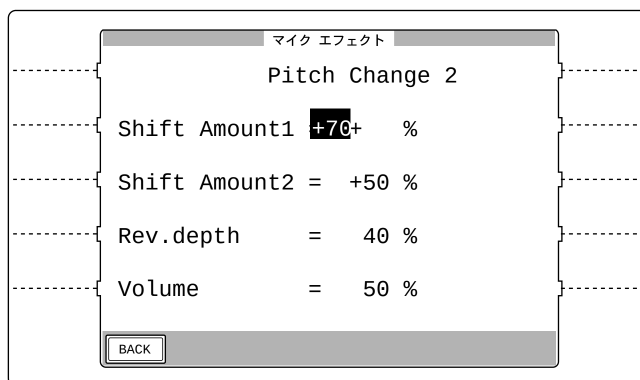
◇ ピッチチェンジ1/2（Pitch Change1/2）

ピッチチェンジ１では、元の声とピッチを上下にずらした声とを同時に発音することができます。
ピッチチェンジ２では、ピッチをそれぞれ個別にずらしたした２つの声を同時に発音することができます。

□ 操作 1

SYSTEMボタンを押した後、R4ボタンを押し、R4/5ボタンを押します。





- **Shift Amount（シフト　アマウント）［L2］**
  ピッチをずらす量です。
  （-100～100%/100%=オクターブ）

- **Dry Level（ドライレベル）［L3］（Pitch Change1の時）**
  原音の音量です。（0～100%）

- **Rev. depth（リバーブ　デプス）［L4］**
  リバーブのかかり具合です。（0～100%）

- **Volume（ボリューム）［L5］**
  ボリュームの調整です。（0～100%）

◆ スクリーン ホールド（Screen Hold）

本機では、メイン画面から音色やスタイルボタンを押して、音色 / スタイルのリストの表示に切り換えた後、何も操作しないで一定時間が過ぎると、自動的にメイン画面へ戻ります。
ここでは、メイン画面へ戻るまでの時間を設定したり、自動的に画面が戻らないように設定します。

□ 操作 1
SYSTEMボタンを押した後、R5ボタンを押します。



- **Screen Hold（スクリーン ホールド）［L2］**
  自動的にディスプレイがメイン画面へ戻らないようにするか否かをオン / オフで設定します。
  オンに設定した場合、ディスプレイは自動的に戻ることはありません。

- **Off Time（オフタイム）［L3］**
  スクリーン ホールドをオフ設定した場合、無操作時にディスプレイが切り換わるまでの時間を設定します。
  （5 ～ 20sec）

□ 操作 2
L2～3ボタンを押して選択し、ダイヤルで値を設定します。

2）MIDIメニュー（MIDI MENU）

◆ MIDI（ミディ）について

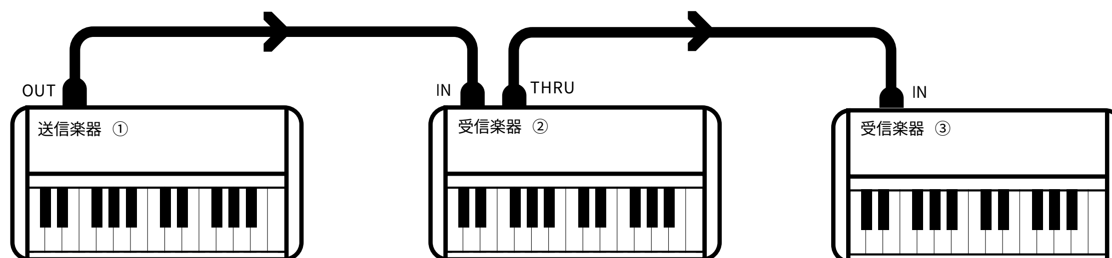
MIDI について簡単に説明します。
MIDI（ミディ）とは、Musical Instrument Digital Interface の略称で、シンセサイザーやシーケンサーなどの電子楽器間を接続しお互いの情報をやりとりするするための世界統一規格です。

MIDI 端子には、IN，OUT，THRU の３つの種類があります。いずれも MIDI 専用ケーブルで接続します。

IN	：	鍵盤情報や音色情報を受信します。
OUT	：	鍵盤情報や音色情報を送信します。
THRU	：	受信した情報をそのまま他の楽器に転送します。

MIDI には、チャンネルというものがあります。チャンネルには、受信チャンネルと送信チャンネルの２種類があり、通常の場合、MIDI 機能をもった楽器はこの両者を備えています。
受信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器から情報を受信する場合のチャンネルで、送信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器へ情報を送信する場合のチャンネルです。

例えば３台の楽器を次のように接続して演奏するとします。



送信楽器① は、送信チャンネルと共に鍵盤情報等を受信楽器 ②，③ に送ります。
受信楽器 ②，③ には、この情報が送られて来ます。基本的には 受信楽器 ②，③ の受信チャンネルと送信楽器① の送信チャンネルが一致していれば、送られた情報を受け取りますが、一致していなければ受け取らないということになります。
チャンネル番号は、送信，受信とも１ ～ １６までの番号を使用することが出来ます。

本機も MIDI ケーブルでシケンサーなどの電子機器と接続することでお互いの MIDI 情報をやりとりすることができます。

◇本機の内蔵レコーダーのトラックのMIDIチャンネル

本機には、16 トラックのレコーダーを内蔵しています。

各トラックには、下のように MIDI IN/OUT チャンネルが固定で設定されています。
各トラックのデータは、レコーダー演奏時、このチャンネルで送信されます。

トラック	ＭＩＤＩ ＩＮ／ＯＵＴ
トラック　１	１
トラック　２	２
トラック　３	３
トラック　４	４
トラック　５	５
トラック　６	６
トラック　７	７
トラック　８	８
トラック　９	９
トラック１０	１０
トラック１１	１１
トラック１２	１２
トラック１３	１３
トラック１４	１４
トラック１５	１５
トラック１６	１６

また、外部から MIDI 信号を受信したときは、このトラックで設定されている音色でなります。
外部からのプログラムチェンジでこれらの音色は変更することができます。

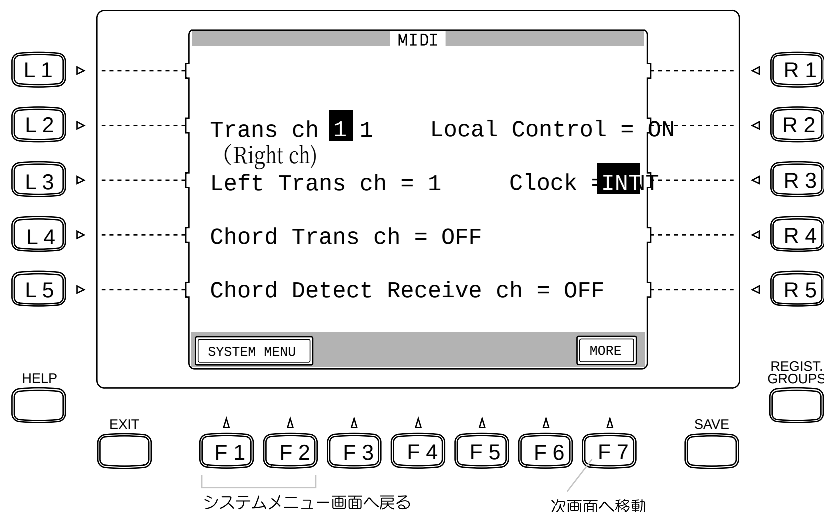
また自動伴奏（アカンパニメント）演奏時は、下記のチャンネルナンバーで演奏情報を MIDI 送信します。

スタイル　パート	ＭＩＤＩ　ＯＵＴチ
ドラム	１０
ベース	９
ＡＣＣ１	１２
ＡＣＣ１　サブ	１３
ＡＣＣ２	１４
ＡＣＣ３	１５
ＡＣＣ４	１６

◆ ミディ（MIDI）

本機の鍵盤で弾かれた情報は、ここで設定するTrans ch（トランスチャンネル）で設定することができます。スプリット時には、高音側（Trans ch）と低音側（Left ch）で別々の送信チャンネルを設定することができます。

□ 操作 1
SYSTEMボタンを押した後、F1またはF2ボタンを押します。



- **Trans ch（トランス チャンネル）［L2］**
  送信チャンネルを設定します。

- **Left Trans ch（レフト トランス チャンネル）［L3］**
  レフトパートの送信チャンネルを設定します。

- **Chord Trans ch（コード トランス チャンネル）［L4］**
  コード検出時、コードを構成するノートデータ（Cのときは、C,E,G）を送信するチャンネルを指定します。

- **Chord Detect Receive ch（コード ディテクト レシーブ チャンネル）［L5］**
  外部接続機器を使って本体のコードを変更するとき、コード検出する MIDI 情報の受信チャンネルを指定します。

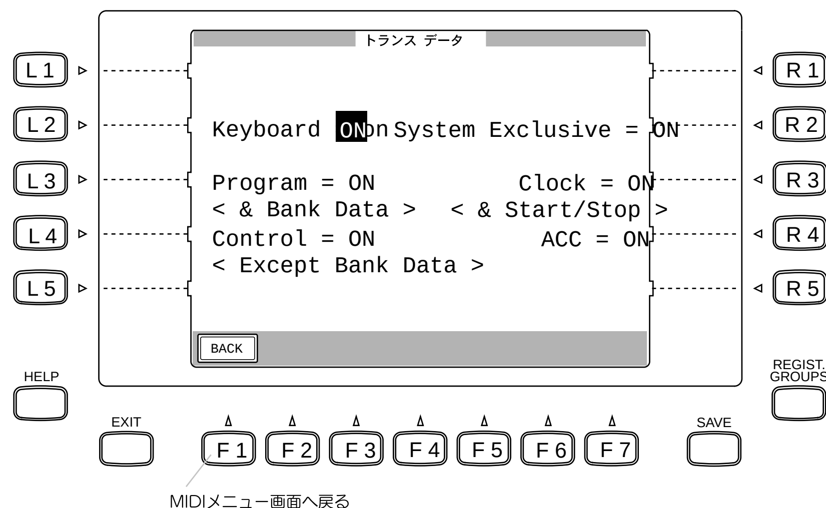
- **Local Control（ローカル コントロール）［R2］**
  本機の鍵盤を弾いて音を出すか、出さないかを設定します。オフのときは、音が出なくなります。

- **Clock（クロック）［R3］**
  スタイルやレコーダーの演奏テンポを、内部クロックに合わせるか、接続した外部機器のクロックに合わせるか設定します。

□ 操作 2
L2〜5,R2〜R3ボタンを押して選択し、ダイヤルで値を設定します。

◆ トランスデータ（Trans data）

□ 操作 1
SYSTEMボタンを押した後、F1またはF2ボタンを押し、F7ボタンを押します。



- **Keyboard（キーボード）［L2］**
  鍵盤を弾いたときのノート情報を送信する（ON）か否（OFF）かを設定します。

- **Program（プログラム）［L3］**
  音色切り換え時、その音色に付けられている番号（プログラムナンバー）を送信する（ON）か否（OFF）かを設定します。

- **Control（コントロール）［L4］**
  ボリューム情報やダンパー情報などのコントロール情報を送信する（ON）か否（OFF）かを設定します。

- **System Exclusive（システムエクスクルーシブ）［R2］**
  エクスクルーシブデータを送信する（ON）か否（OFF）かを設定します。

- **Clock（クロック）［R3］**
  クロックを送信する（ON）か否（OFF）かを設定します。

- **ACC（アカンパニメント）［R4］**
  自動伴奏のデータを送信する（ON）か否（OFF）かを設定します。

□ 操作 2
L2～4,R2～R4ボタンを押して選択し、ダイヤルで値を設定します。

7. 付　録

◆ サウンド-リスト

PIANO		ORGAN		DRAWBAR		STRING		BRASS	
1	コンサートグランドピアノ	21	フルパイプオルガン	41	コンボオルガン	61	ビューティフルストリングス	80	ソロトランペット
2	スタジオグランドピアノ	22	スモールアンサンブルオルガン	42	ジャズオルガン	62	ストリングアンサンブル	81	ミュートトランペット
3	モダンピアノ	23	8セレステオルガン	43	ハイローオルガン	63	ストリングアンサンブル2	82	カップミュートトランペット
4	エレクトリックグランドピアノ	24	チャーチオルガン	44	フルオルガン	64	シンセストリングス	83	トランペット
5	オクターブピアノ	25	チャーチオルガン2	45	メローオルガン	65	シンセストリングス2	84	トロンボーン
6	クラシックEピアノ	26	エレクトリックオルガン	46	ドローバーオルガン	66	バイオリン	85	ホルンセクション
7	モダンEピアノ	27	ロックオルガン	47	パーカッシブオルガン	67	ビオラ	86	チューバ
8	モダンEピアノ2	28	ミキサーオルガン	48	パーカッシブオルガン2	68	チェロ	87	ブラスセクション
9	60's Eピアノ	29	シアターオルガン	49	4パーカッションオルガン	69	コントラバス	88	シンセブラス
10	トレモロEピアノ	30	シアターオルガン2	50	22/3パーカスオルガン	70	ハープ	89	シンセブラス2
SOUNDVARIATION		SOUNDVARIATION		SOUNDVARIATION		SOUNDVARIATION		SOUNDVARIATION	
11	メロウグランドピアノ	31	パイプリード	51	コンボオルガン2	71	ストリングカルテット	90	フリューゲルホーン
12	ロックピアノ	32	バロックミックスオルガン	52	コンボオルガン3	72	ストリングスアンドブラス	91	ミュートトランペット2
13	ホンキートンクピアノ	33	8ディアパソン	53	オッドマンオルガン	73	ウォームストリングス	92	カップミュートトロンボーン
14	エレクトリックグランドピアノ	34	チャーチオルガン3	54	スクリーミングオルガン	74	シンセストリングス3	93	ブライトトロンボーン
15	オクターブピアノ	35	パフオルガン	55	ホローオルガン	75	60sストリングス	94	トロンボーン2
16	クラシックEピアノ2	36	エレクトリックオルガン2	56	ドローバーオルガン2	76	スローバイオリン	95	ウォームフレンチホルン
17	クラシックEピアノ3	37	60sオルガン	57	パーカッシブオルガン3	77	トレモロストリングス	96	ジャンプブラス
18	モダンEピアノ3	38	リードオルガン	58	ドローバーオルガン3	78	ピチカート	97	ブラスセクション2
19	レジェンドEピアノ	39	シアターオルガン3	59	ソフトソロオルガン	79	オーケストラヒット	98	シンセブラス3
20	フェイスEピアノ	40	シアターオルガン4	60	オルガンキークリック			99	シンセブラス4

GUITAR		BASS		SYNTH		HARPSI&MALLET		WOOD WIND	
100	ナイロンギター	120	アコースティックベース	140	クラシックシンセ	160	ハープシコード	179	アルトサックス
101	ナイロンギター2	121	エレクトリックベース	141	クラシックシンセ2	161	クラビ	180	テナーサックス
102	フォークギター	122	フィンガーベース	142	スクエアリード	162	チェレスタ	181	バリトンサックス
103	エレクトリックギター	123	ピックベース	143	サインウエブ	163	ハンドベル	182	ソプラノサックス
104	ジャズギター	123	フレットレスベース	144	チフリード	164	チャーチベル	183	ビッグバンドウインド
105	ペダルスティール	125	ベース&ライドシンバル	145	ベース&リード	165	スティールドラム	184	フルート
106	カントリーリードギター	126	スラップベース	146	ワイアーリード	166	ビブラフォン	185	クラリネット
107	ミュートエレクトリックギター	127	シンセベース	147	クリスタル	167	マリンバ	186	パンフルート
108	オーバードライブ	128	シンセベース2	148	シンセレイン	168	シロホン	187	オーボエ
109	ディストーション	129	アタックベース	149	アナログブラス	169	ミュージックボックス	188	オーケストラウインド
SOUNDVARIATION		SOUNDVARIATlON		SOUNDVARIATION			SOUNDVARIATION	SOUNDVARIATION	
110	ナイロンギター3	130	アコースティックベース2	150	クラシックシンセ3	170	オクターブハープシコード	189	ソフトアルトサックス
111	フォークギター2	131	フィンガースラップベース	151	フィフスリード	171	シンセクラビ	190	ソフトテナーサックス
112	12ゲンギター	132	ウォームシンセベース	152	スクエアリード2	172	グロッケン	191	アレステナーサックス
113	エレクトリックギター2	133	クラビベース	153	シーケンスアナログ	173	カリヨン	192	サックスセクション
114	エレクトリックギター3	134	ハンマーベース	154	チャラング	174	チューブラベル	193	ピッコロ
115	ハワイアンギター	135	ベース&ライドシンバル	155	シンセリード1	175	ローリングスティールドラム	194	ジャズフルート
116	リズムギター	136	スラップベース2	156	ソフトワイアーリード	176	ローリングビブラフォン	195	ジャズクラリネット
117	ウクレレ	137	シンセベース3	157	エコーベル	177	ローリングマリンバ	196	リコーダー
118	カッティングギター	138	シンセベース4	158	シンセカリオペ	178	シンセマレット	197	イングリッシュホルン
119	ギターハーモニックス	139	ラバーベース	159	アナログブラス2			198	バスーン

VOCAL&PAD		DRUM&PERC		SPECIALTY 1		SPECIAL 2		SFX	
199	クワイヤーアー	219	スタンダードキット	239	ストラミングアコギター	257	アコーディオン	277	SFXキット
200	ボイスウー	220	ジャズキット	240	ストラミングアコギター2	258	フレンチアコーディオン	278	バゲシュ
201	イトーピア	221	ブラシキット	241	ピッキングアコギター	259	フレンチアコーディオン2	279	アメ
202	ウォームパッド	222	ルームキット	242	ピッキングアコギター2	260	オカリナ	280	カミナリ
203	ブライトネス	223	パワーキット	243	マンドリン	261	シャクハチ	281	カゼ
204	アトモスフィア	224	アナログキット	244	バンジョー	262	シタール	282	ナミ
205	ニューエイジパッド	225	ダンスキット	245	ピッキングバンジョー	263	ボトルブロー	283	トリノサエズリ
206	スウィープパッド	226	エレクトリックキット	246	ハーモニカ	264	6thヒット	284	ワライゴエ
207	ポリシンセ	227	オーケストラキット	247	フィドル	265	ベースヒットブラス	285	サケビゴエ
208	シンセボイス	228	スタンダードキット2			266	ユーロヒット	286	デンワ
SOUNDVARIATION		SOUNDVARIATION		SOUNDVARIATION		SOUNDVARIATlON		SOUNDVARIATION	
209	クワイヤーアー2	229	ティンパニ	248	ストラミングエレキーター	267	タンゴアコーディオン	287	シンバル&バスドラム
210	ハミング	230	ローリングティンパニ	249	ピッキングエレキギター	268	アコーディオン2	288	ヘリコプター
211	シンセクワイヤー	231	タイコ	250	ピッキンストラミングギター	269	カリンバ	289	ジュウセイ
212	サインパッド	232	メロディックタム	251	ヒッキンストラミングギター2	270	クチブエ	290	バクハツ
213	ハローパッド	233	コンサートバスドラム	252	ストラミングマンドリン	271	シャミセン	291	ゴブリン
214	シンセボーカル	234	ウッドブロック	253	ストラミングバンジョー	272	シャナイ	292	エコーズ
215	ボウドパッド	235	アゴーゴー	254	ブルースハーモニカ	273	コト	293	サイエンスフィクション
216	メタリックパッド	236	ティンクルベル	255	ワウハーモニカ	274	バグパイプ	294	ギターフレットノイズ
217	サウンドトラック	237	カスタネット	256	ダルシマー	275	フィードバックディストーション	295	ブレスノイズ
218	アナログボイス	238	リバースシンバル			276	ディストーションリズムギター		

◆ スタイル-リスト

スタイルグループ	カタカナ表示	英語表示
POP		
1	ポップ1	Pop1
2	ポップ2	POP2
3	70sポップバラード	70'PopBallad
4	70sリズム&ブルース1	70'sR&B1
5	70sリズム&ブルース2	70'sR&B2
6	ラテンポップ	LatinPOP
7	フォークポップ	FokPOP
8	ディスコ1	Disco1
9	ディスコ2	DiSC02
10	ストリングスバラード	StringsBallad
Ballad		
11	モダンバラード	ModemBallad1
12	モダンバラード	ModemBallad2
13	モダンバラード	ModemBallad3
14	ポップバラード1	PopBallad1
15	ポップバラード2	PopBallad2
16	フォーク0ソクバラード	Fdk/RockBalladl
17	リズム&ブルースバラード	R&BBallad
18	ロックパラード	RockBa"ad
19	60sバラード	60'sBallad
20	カントリーポップバラード	CountryPopBallad
50's		
21	50sロック1	50'sRock1
22	50sロック2	50'sRock2
23	50sロック3	50'sRock3
24	ロックルンバ	RockRhumba
25	50sフォーク	50'sFolk
26	50sバラード	50'sBallad1
27	50sバラード	50'sBallad2
28	50sオケストラバラード	50'sOrch.Ballad
60's		
29	60sホツブ1	60'sPop1
30	60sボップ2	60'sPop2
31	60sロック1	601sRock1
32	60sロック2	60'sRock2
33	60sフォークロック	60'sFolkRock
34	サーフロック	Surf Rock
35	60sリズム&ブルース	60'sR&B
36	60sモータウン	60'sMotown
37	60sブリティッシュロック	60'sBritishRock1
38	60sブリティッシュロック2	60'sBritishRock2

スタイルグループ	カタカナ表示	英語表示
Rock		
39	80sロック1	80'sRockI
40	カントリーロック1	CountryRock1
41	カントリーロック2	Count～Rock2
42	フォークロック	FolkRock
43	シャフルロック	Shu什1eRock
44	ボップロック	Pop/Rock
45	クラシックロック	ClassicRock
46	スローロック	SlowRock
47	ポップレゲエ1	PopReggae
48	レゲエ	Reggae
Country		
49	シャフルカントリー	CountryShuffle
50	ブルーグラス	Bluegrass
51	2ビートブートスクーティン	BootScootin2Beat
52	テキサススウィング	TexasSwing
53	2ビートカントリー	Country2Beat
54	モダントレインビート	ModemTrainBeat
55	カントリーボップ	CountryPOP
56	カントリーバラード	CountryBallad
57	モダンカントリーバラード	Mod.CountryBllad
Jazz		
58	ジャズポップ	JazzPop
59	ジャズリズム&ブルース	JazzR&B
60	ラテンジャズ1	LatinJazz1
61	ラテンジャズ2	LatinJazz2
62	ファンクフュージョン	FunkFision
63	ラテンフュージョン	LatinFusion
64	ビパツプ	Be-BaP
65	クールジャズ	CoolJazz
Latin		
66	ボサノバ1	BossaNova1
67	ボサノバ2	BossaNova2
68	サルサ	SaIsall
69	サンバ	Samba
70	ルンバ	Rhumba
71	チャチャ1	ChaCha1
72	チャチャ2	ChaCha2
73	マンボ	Mamb
74	ビギン	Beguine
75	モダンラテン	ModemLatin

スタイル グループ	カタカナ表示	英語表示
R&B/Gospel		
76	ブルースロツク	Blues/Rock
77	ファーストリズム&ブルース	FastR&8
78	78スローリズム&ブルース	SlowR&B
79	ブルース	Blues
80	スローブルース	SlowBlues
81	シヤフルゴスペル	GospelShuffle
82	サザンゴスペル	SouthemGospel
83	ゴスペルハ・ラード	GospelBallad
84	16/8ゴスペル	6/8Gospel
Big Band/Swing		
85	ファーストピッグバンド	FastBigBand1
86	ファーストビツグバンド2	FastBigBand2
87	ミデイアムビツグバンド	MediumBigBand
88	スロービツグバンド	SlowBigBand
89	ミディアムスウィング1	MediumSwing1
90	ミディアムスウィング2	MediumSwing2
91	スロースウィング	SlowSwing
Traditional		
92	ファーストショービート	FastShowBeat
93	ミディアムショービート	MediumShowBeat
94	フォックストロット	Foxtrot
95	マーチ	March
96	ディキシーラント	Dixie
97	ハワイアン	Hawaiian
98	タンゴ	Tango
99	ポルカ	Polka
Waltz		
100	トラディショナルワルツ1	TraditionalWaltz1
101	トラディショナルワルツ2	TraditionalWaltz2
102	トラディショナルワルツ3	TraditionalWaltz3
103	クラシックワルツ	ClassicWaltz
104	ウィンナワルツ	MennaWaltz
105	フレンチワルツ	FrenchWaltz
106	カントリーワルツ1	CountryWaltz1
107	カントリーワルツ2	CountryWaltz2
108	モダンワルツ	ModemWaltz
109	ジャズワルツ	JazzWaltz

スタイル グループ	カタカナ表示	英語表示
Entertainer		
110	ショーマン	Showman
111	ラグタイム1	Ragtime
112	ピアノポップス	PopsPiano
113	ピアノロック	RockPianof
114	ピアノカントリー	CountryPiano
115	ブギウギ	Boogie
116	ポップディスコ	PopDisco
117	オーケストラワルツ	OrchestraWaltz
118	ピアノムードジャズ	MoodPiano
Variety		
119	グループサウンズ	GroupSounds
120	エンカ1	Enka1
121	エンカ2	Enka2
122	シャフルエンカ	Enkashuffle
123	シャフルポップ	ShufflePop
124	モータウンポップ	MotownPOP
125	ギターポップ	GuitarPOP
126	ブラスポップ	BrassPOP
127	ポップロックバラード	Pop/RockBllad
128	ピアノバラード	PianoBallad

◆ コンサートマジック用曲-リスト

No.	歌詞	曲名	ディスプレイ表示
●こどもの歌(13)			
1	○	小さい秋見つけた	小さい秋見つけた
2	○	赤とんぼ	赤とんぼ
3	○	おぼろ月夜	おぼろ月夜
4	○	荒城の月	荒城の月
5	○	さくらさくら	さくらさくら
6	○	夏の思いで	夏の思い出
7	○	浜辺のうた	浜辺の歌
8	○	花	花
9	○	ふるさと	ふるさと
10	○	もみじ	もみじ
11	×	山の音楽家	山の音楽家
12	×	わらの中の七面鳥	わらの中の七面鳥
13	×	10人のインディアン	10人のインディン
●ポップス(7)			
14	○	あなたに逢いたくて	あなたに逢いたくて
15	○	いい日旅立ち	いい日旅立ち
16	○	いとしのエリー	いとしのエリー
17	○	オリビアを聴きながら	オリビア聴きながら
18	○	世界中の誰よりきっと	世界中の誰より
19	○	座業写真	卒業写真
20	○	てんとう虫のサンバ	てんとう虫のサンバ
●アニメ/スクリーン(5)			
21	×	エンタテイナー	エンタテイナー
22	○	サザエさん	サザエさん
23	○	となりのトトロ	となりのトトロ
24	○	ミッキーマウスマーチ	ミッキーマウス
25	×	魅惑のつワルツ	魅惑のワルツ
●演歌(5)			
26	○	天城越え	天城越え
27	○	居酒屋	居酒屋
28	○	北国の春	北国の春
29	○	北酒場	北酒場
30	○	瀬戸の花嫁	瀬戸の花嫁
●クラシック(34)			
31	×	アヴェ・マリア	アヴェ・マリア
32	×	アメリカン・パトロール	アメリカンパトロール
33	×	威風堂々	威風堂々
34	×	ウィリアムテル序曲	ウィリアムテル序曲
35	×	美しく青きドナウ	美しく青きドナウ
36	×	エリーゼのために	エリーゼのために
37	×	凱旋行進曲	凱旋行進曲
38	×	ガボット	ガボット
39	×	口笛ふきと子犬	口笛ふきと子犬
40	×	軍隊行進曲	軍隊行進曲
41	×	皇帝円舞曲	皇帝円舞曲
42	×	こうもり	こうもり
43	×	ジプシーの歌	ジプシーの歌
44	×	ジムノペディ1番	ジムノペディ1番
45	×	新世界より	新世界より
46	×	スケーターズ・ワルツ	スケーターズワルツ
47	×	プレリュードイ長調	前奏曲イ長調
48	×	双頭のわしの旗のもとに	双頭の鷲の旗の下に
49	×	月の光	月の光
50	×	天国と地獄	天国と地獄
51	×	闘牛士の歌	闘牛士の歌
52	×	眠れる森の美女	眠れる森の美女
53	×	ノルウェイ舞曲	ノルウェー舞曲
54	×	花のワルツ	花のワルツ
55	×	春の声音の声	音の声
56	×	ピーターと狼	ピーターと狼
57	×	ピチカート・ポルカ	ピチカートポルカ
58	×	びっくりシンフォニー	びっくり交響曲
59	×	未完成交響曲	未完成交響曲
60	×	メヌエット ト長調	メヌエット ト長調
61	×	喜びの歌	喜びの歌
62	×	ロミオとジュリエット	ロミオとジュリエット
63	×	ロンドー	ロンドー
64	×	ワシントン・ポスト	ワシントン・ポスト
●World/Occasion(7)			
65	○	アニー・ローリー	AnnleLaune
66	○	ほたるの光	AuldLangSyne
67	○	婚礼の合唱	BrldalChorus
68	○	フニクリ・フニクラ	lFuniculiFunicula
69	○	HavaNagilah	HavaNagllah
70	○	サンタ・ルチア	SantaLucia
71	○	WhatAFriend	WhatAFriend
●Christmas(11)			
72	○	AllYeFaithful	AllYeFaithful
73	○	アメージング・グレース	AmaZlngGrace
74	○	AngelsOnHigh	AngelsOnHlgh
75	○	ひいらぎかざろう	DeckTheHalls
76	○	ジングルベル	JlngleBells
77	○	もろ人こぞりて	JoyToTheWorld
78	○	おめでとうクリスマス	MerryChnstmas
79	○	もみの木	ChnstmasTree
80	○	SilentMght	SilentNlght
81	○	TheFirstNoel	TheFIrstNoel
82	○	グリーン・スリーブス	WhatChlldIsThls
●Chibren(13)			
83	○	ブラームスの子守歌	BrahmlsLullaby
84	○	鐘の音	FrereJacques
85	○	ハッピー・バースデイ	GoodMomlng
86	○	茶色の小びん	UtUeBrownJu9
87	○	ロンドン橋	LondonBndge
88	○	メリーさんの羊	MaryUttleLamb
89	○	OldMacDonald	OldMacDonald
90	○	PollyWllyDoodle	PollyWollyDoodle
91	○	ポップ・ザ・ウイーゼル	PopTheWeasel
92	○	RockAByeBaby	RockAByeBaby
93	○	She ¶ BeComin9	She1BeComln9
94	○	ThreeBlindMice	ThreeBlindMice
95	○	キラキラ星	TwinkleTwinkle
●Americanqassics(15)			
96	○	いかりを上げて主	AnchorsAwelgh
97	○	BattleHymnl	BatdeHymn
98	○	いとしのクレメンタイン幸	Clementine
99	○	ダニー・ボーイヨ	DannyBoy
100	○	じいさんの古時計	GrandfatherClock
101	○	峠のわが家	HomeOnTheRange
102	○	はにゅうの宿	HomeSweetHome
103	○	JohnnyComesHome	JohnnyComesHome
104	○	マイ・ボニー	MyBonnle
105	○	故郷の人々	OldFdksAtHome
106	○	ケンタッキーのわが家	OldKentuckyHome
107	○	線路は続くよどこまでも	OnTheRailroad
108	○	草競馬	TheCamptownRaces
109	○	聖者が町にやって来る	WhenTheSaints
110	○	アルプス一万尺	YankeeDoodle

◆ ソングスタイリスト用曲リスト

No.	曲名/ディスプレイ	曲名
ソングスタイリストポップス1		
1	愛のメモリー	愛のメモリー
2	赤いスイトピー	赤いスイトピー
3	あなた	あなた
4	あなたに逢いたくて	あなたに逢いたくて
5	あの素晴らしい	あの素晴らしい愛をもう一度
6	あの日に帰りたい	あの日に帰りたい
7	いい日旅立ち	いい日旅立ち
8	いとしのエリー	いとしのエリー
9	上を向いて歩こう	上を向いて歩こう
10	贈る言葉	贈る言葉
ソングスタイリストポップス2		
11	オリビアを聴きながら	オリビアを聴きながら
12	神田川	神田川
13	君がいるだけで	君がいるだけで
14	君といつまでも	君といつまでも
15	クリスマス・イブ	クリスマス・イブ
16	黒猫のタンゴ黒猫のタンゴ	16黒猫のタンゴ黒猫のタンゴ
17	恋の季節	恋の季節
18	恋人がサンタ	恋人がサンタクロース
19	心の旅	心の旅
20	これが私の生きる道	これが私の生きる道
ソングスタイリストポップス3		
21	シクラメンのかほり	シクラメンのかほり
22	ジュリアに傷心	ジュリアに傷心
23	すばる	昴
24	セイ・イエス	セイ・イエス
25	青春時代	青春時代
26	世界中の誰より	世界中の誰よりきっと
27	戦争を知らない	戦争を知らない子供達
28	空と君とのあいだに	空と君とのあいだに
29	タイム・コーズバイ	タイム・ゴーズ・バイ
30	旅人よ	旅人よ
ソングスタイリストポップス4		
31	ダイヤモンド	ダイヤモンド
32	チェリー	チェリー
33	中央フリーウエイ	中央フリーウエイ
34	つぐない	つぐない
35	てんとう虫のサンバ	てんとう虫のサンバ
36	遠くへ行きたい	遠くへ行きたい
37	時の流れに身を	時の流れに身をまかせ
38	長い間	長い間
39	なごり雪	なごり雪
40	晴れたらいいね	晴れたらいいね
ソングスタイリストポップス5		
41	ひだまりの詩	ひだまりの詩
42	プライド	プライド
43	星降る街角	星降る街角
44	まっかな太陽	まっかな太陽
45	真夏の夜の出来事	真夏の夜の出来事
46	見上げてごらん	見上げてごらん夜の星を
ソングスタイリストポップス6		
47	岬めぐり	岬めぐり
48	もしもピアノが	もしもピアノが弾けたなら
49	ヤング・マン	ヤング・マン
50	ルビーの指環	ルビーの指環
51	ロビンソン	ロビンソン
52	我が良き友よ	我が良き友よ
ソングスタイリストエンカ		
53	居酒屋	居酒屋
54	北国の春	北国の春信
55	北の宿から	北の宿から
56	銀座の恋の物語	銀座の恋の物語
57	くちなしの花	くちなしの花
58	瀬戸の花嫁	瀬戸の花嫁
59	津軽海峡・冬景色	津軽海峡・冬景色
60	長崎は今日も雨	長崎は今日も雨だった
61	雪国	雪国
62	私の城下町	私の城下町
ソングスタイリストグループサウンズ		
63	青い鳥	青い鳥
64	想い出の渚	想い出の渚
65	小さなスナック	小さなスナック
66	長い髪の少女	長い髪の少女
67	花の首飾り	花の首飾り
68	ブルーシャドー	ブルーシャドー
69	バラ色の雲	バラ色の雲
70	モナリザの微笑み	モナリザの微笑み
ソングスタイリストリバプールサウンズ1		
71	イエスタデイ	Yesterday
72	ウイズアリトルヘルプ	With A Little Help
73	オールマイラビング	All My Lovin'
74	サムシング	Something
75	シーラブズユー	She Loves You
76	ハードデイズナイト	A Hard Day's Night
ソングスタイリストリバプールサウンズ2		
77	フェンアイム64	When l'm 64
78	ヘイジュード	Hey Jude
79	ヘルプ	Help!
80	ペニーレイン	Penny Lane
81	レットイツトビー	Let lt Be
82	ロング&ワインディング	The Long And Winding Road
ソングスタイリストベストヒッツUSA1		
83	イッツトゥーレイト	It's Too Late
84	イエスタデイワンスモア	Yesterday Once More
85	イマジン	lmagine
86	ウキウキウェイクミーアップ	Wake Me Up Before You Go-Go
87	エボニー&アイボリー	Ebony And lvory
88	エンドレスラブ	Endless Love
89	オネスティ	Honesty
90	オンリーユー	Only You
91	カントリーロード	Take Me Home, Country Road
92	サウンドオブサイレンス	The Sounds Of Silence

No.	曲名/ディスプレイ	曲名
ソングスタイリストベストヒッツUSA2		
93	セイユーセイミー	Say You Say Me
94	タイムアフタータイム	Time After Time
95	ダンシングクイーン	Dancing Queen
96	テイクイットイージー	Take It Easy
97	テネシーワルツ	Tennessee Waltz
98	ナイントゥファイブ	9 to 5 (MorningTrain)
99	ニューヨークシティセレナーデ	NewYorkCitySerenade
100	ノーウーマン,ノークライ	NoWoman,NoCry
101	ヘイポーラ	ヘイ!ポーラ/Hey!Paula
102	ロコモーション	ロコモーション/TheLocomotion
ソングスタイリストベストヒッツUSA3		
103	コンドルは	コンドルは飛んで行く/El CondorPasa
104	さよならハリウッド	さよならハリウッド/SayGoodByeToHollywood
105	素顔のままで	素顔のままで/JustTheWayYouAre
106	好きにならずに	好きにならずにいられない/CanItHelpFallingInLove
107	素直になれなくて	素直になれなくて/HardToSayIImSorry
108	僕の歌は君の歌	撲の歌は君の歌/YourSong
ソングスタイリストアニメTV/エイガ1		
109	アンパンマン	アンパンマンのマーチ
110	いつか王子様が言	いつか王子様が
111	踊るポンポコリン	踊るポンポコリン
112	およげたいやき君	およげたいやき君
113	サザエさん	サザエさん
114	さんぽ	さんぽ(となりのトトロ)
115	セサミストリート	セサミストリートのテーマ
ソングスタイリストアニメTV/エイガ2		
116	小さな世界	小さな世界
117	となりのトトロ	となりのトトロ
118	ドラえもんのうた	ドラえもんのうた
119	星に願いを	星に願いを
120	ミッキーマウス	ミッキーマウスマーチ
121	ムーンライト伝説	ムーンライト伝説
122	もののけ姫	もののけ姫
ソングスタイリストエイガオンガク		
123	ある愛の詩	ある愛の詩
124	いそしぎ	いそしぎ
125	エーデルワイス	エーデルワイス
126	ゴッドファーザー	ゴットファーザー愛のテーマ
127	太陽がいっぱい	太陽がいっぱい
128	ムーンリバー	ムーンリバー
ソングスタイリストドウヨウ/ショウカ/クリスマス1		
129	赤トンボ	赤トンボ
130	伏きな古時計	大きな古時計
131	おぼろ月夜	おぼろ月夜
132	荒城の月	荒城の月
133	花	花
134	ふるさと	ふるさと
135	蛍の光	蛍の光

No.	曲名/ディスプレイ	曲名
ソングスタイリストドウヨウ/ショウカ/クリスマス2		
136	もみじ	もみじ
137	赤鼻のトナカイ	赤鼻のトナカイ
138	きよしこの夜	きよしこの夜
139	クリスマスソング	クリスマス・ソング
140	ジングルベル	ジングルベル
141	ホワイトクリスマス	ホワイト・クリスマス
ソングスタイリスト50sinUSA		
142	At The Hop	
143	Blue Moon	
144	Biue Suede Shoes	
145	Blue Velvet	
146	Blueberry Hill	
147	Don't Be Cruel	
148	Earth Angel	
149	Great Balls O Fire	
150	Hound Dog	
151	It's My Party	
ソングスタイリスト50s2inUSA		
152	It's Now Or Never	
153	Jailhouse Rock	
154	Johnny B.Goode	
155	Love Me Tender	
156	Rock Around Clock	
157	Tutti Frutti	
158	Twist,The	
ソングスタイリストBalladinUSA		
159	A Summer Place	
160	A Whole New World	
161	Always A Woman	
162	Arthur's Theme	
163	Beauty & The Beast	
164	Best Of My Love	
165	Bridge Over Water	
166	Can You Feel Love	
167	Candle in The Wind	
168	Can't Smile	
ソングスタイリストBallad2inUSA		
169	Careless Whisper	
170	Chances Are	
171	Change The World	
172	Cherish	
173	Close To You	
174	Colors Of The Wind	
175	DidnItWeAlmost,	
176	bontLetTheSun1士	
177	EverythingIDo}	
178	EyesOfLove	

No.	曲名/ディスプレイ曲名	
ソングスタイリストBallad 3 in USA		
179	Friends Are For	
180	From A Distance	
181	Glory Of Love.The	
182	Heart Will Go On	
183	Heaven	
184	How Am l Supposed	
185	I Only Have Eyes	
186	l Will Always Love	
187	I Write The Songs	
188	Just Once	
ソングスタイリストBallad 4 in USA		
189	Nadia's Theme	
190	Open Arms	
191	Piano Man	
192	Rocket Man	
193	Smoke Gets in Eyes	
194	Sunny Gets Blue	
195	Tears in Heaven	
196	The Greatest Love	
197	The Rose	
198	The Way We Were	
ソングスタイリストBallads 5 in USA		
199	Three Times A Lady	
200	Unchained Melody	
201	Unforgettable	
202	Up Where We Beiong	
203	We Are The World	
204	We've Got Tonight	
205	We've Only Begun	
ソングスタイリストBallad 6 in USA		
206	Wind Beneath Wings	
207	Woman	
208	Wonderful Wold	
209	Yellow Brick Road	
210	You Light Up Life	
211	You Send Me	
ソングスタイリストChristmas in USA		
212	Here Comes Santa	
213	I'll Be Home Xmas	
214	Merry Little Xmas	
215	Rockin' Xmas Tree	
216	Sleigh Ride	

No.	曲名/ディスプレイ	曲名
ソング スタイリストCountryl in USA		
217	Always On My Mind	
218	Blue Bayou	
219	Can't Stop Loving	
220	Crazy	
221	Desparado	
222	Don't Fall In Love	
223	Elvira	
224	King Of The Road	
225	Lucille	
226	Release Me	
ソングスタイリストCountry2 in USA		
227	Rhinestone Cowboy	
228	Rose Garden	
229	Snow Bird	
230	Stand By Your Man	
231	Summertime Blues	
232	Your Cheatin Heart	
ソングスタイリストGospel in USA		
233	Amazing Grace	
234	Just As I Am	
235	Peace ln Valley	
236	Precious Memories	
237	Saints Go Marching	
238	What A Friend	
ソングスタイリストLatin in USA		
239	Begin The Beguine	
240	Blue Bossa	
241	Corcovado	
242	Desafinado	
243	Girl From Ipanema	
244	How lnsensitive	
245	Shadow Your Smile	
246	Spanish Eyes	
237	Summer Samba	
238	Wave	
ソングスタイリストMotown1 in USA		
249	Ain't No Woman	
250	Ain't Too Proud	
251	Can't Hurry Love	
252	Couldlt Be I'm	
253	Crusln'	
254	Dancin'in Street	
255	Just My Imagin...	
256	Lets Get It On	

No.	曲名/ディスプレイ	曲名
ソングスタイリストMotown2 in USA		
257	Let's Stay Togethr	
258	Mldnight Hour	
259	Rescue Me	
260	Then Came You	
261	Think	
262	Under Boardwalk	
263	Where Did Love Go	
ソングスタイリストPops1 in USA		
264	American Pie	
265	Brick House	
266	Copacabana	
267	Dock Of The Bay	
268	Every Breath You	
269	I Get Around	
270	I Just Called To	
271	Isn't She Lovely	
272	Look Of Love	
273	Lovin' Feeling	
ソングスタイリストPops2 in USA		
274	Margaritaville	
275	Music Box Dancer	
276	My Cherie Amore	
277	Peanuts'Theme	
278	Physical	
279	Song Sung Blue	
280	Sunny	
ソングスタイリストPops3 in USA		
281	Sweet Caroiine	
282	Tequila	
283	This Masquerade	
284	Top Of The World	
285	Walk On By	
286	You've Got Friend	
ソングスタイリストR&B in USA		
287	Chain Of Fods	
288	Dance To Themusic	
289	Georgia On My Mind	
290	If You Don't Know	
291	Kansas City	
292	Respect	
293	Soul Man	
294	Stand By Me	
295	When A Man Loves A	
296	When Can I See You	

No.	曲名/ディスプレイ	曲名
ソングスタイリストReggae in USA		
297	Everybody Plays	
298	I Shot The Sheriff	
299	Red Red Wine	
300	The Way You Do	
ソンクスタイリストRock1 in USA		
301	All I Wanna Do	
302	Annie's Song	
303	Bad Leroy Brown}	
304	Benny And The Jets	
305	Brown Eyed Girl	
306	Bye Bye Love	
307	California Girls	
308	California Dreamin	
309	Fire & Rain	
310	Free Ride	
ソングスタイリストRock2 in USA		
311	Fun,Fun,Fun	
312	Gimme Some Lovin'	
313	Green Onions	
314	Handy Man	
315	Hurts So Good	
316	I Got A Name	
317	La Bamba	
318	Lay Down Sally	
319	Leaving Jet Plane	
320	Light My Fire	
ソングスタイリストRock3 in USA		
321	Lyin Eyes	
322	Monday Monday	
323	Mr.Bojangles	
324	Mrs.Robinson	
325	New Kid In Town	
326	Old Time R & R	
327	Peaceful Easy Feel	
328	Pretty Woman	
329	Proud Mary	
330	Puff Magic Dragon	
ソングスタイリストRock4 in USA		
331	Rocky Mtn High	
332	Satisfaction	
333	Surfin USA	
334	Sweet Home Alabama	
335	Takin'Care Of	
336	Tequila Sunrise	
337	Time In A Bottle	

No.	曲名/ディスプレイ	曲名
ソングスタイリストRock5 in USA		
338	Twist & Shout	
339	Ventura Highway	
340	Wake Little Susie	
341	Wipe Out	
342	You're 16	
343	You're So Vain	
344	I'm A Believer	
ソングスタイリストShow in USA		
345	Baby Face	
346	Cabaret	
347	Don't Cry For Me	
348	Memory	
349	One(Chorus Line)	
350	Sound Of Music	
351	The Pink Panther	
ソングスタイリストStandard1 in USA		
352	All Of Me	
353	Anything Goes	
354	As Time Goes By	
355	Autumn Leaves	
356	Body And Soul	
357	Canadian Sunset	
358	Can't Get Started	
359	Chicago	
360	Days Of Wine Roses	
361	Deep Purple	
ソングスタイリストStandard2 in USA.		
362	Don't Get Around	
363	Fascination	
364	I Got Rhythm	
365	Isn't It Romantic	
366	It Had To Be You	
367	Just A Gigolo	
368	Mack The Knife	
369	My Funny Valentine	
3?0	New York,New York	
371	Night And Day	
ソングスタイリストStandard3 in USA		
372	Over The Rainbow	
373	San Francisco	
374	Satin Doll	
375	Stompin' Savoy	
376	Stormy Weather	
377	Summertime	

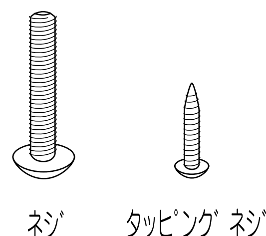
No.	曲名/ディスプレイ	曲名
ソンケスタイリストSwing in USA		
378	Boy From NY City	
379	Chatt.ChooChoo	
380	In The Mood	
381	Penn.6-5000	
382	String Of Pearls	
383	Take The A Train	
384	Thanks For Memory	
385	You Make Me Young	
ソングスタイリストTraditional in USA		
386	Aloha Oe	
387	Beer Barrel Polka	
388	Bill Bailey	
389	Hawaiian Wedding	
390	It's A Small World	
391	Tiny Bubbles	
ソングスタイリストWaltz in USA		
392	Edelweiss	
393	Happy Birthday	
394	Moon River	
395	My Favorite Things	
396	My Wild Irish Rose	
397	Que Sera, Sera	
398	Some Day My Prince	
399	Try To Remember	
400	When Irish Eyes	

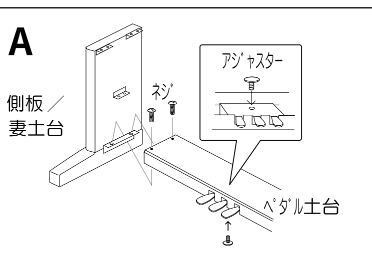
◆ memo

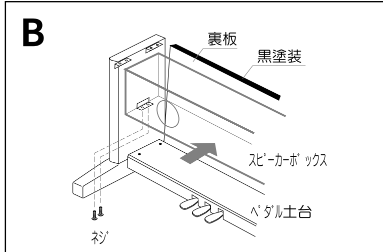
◆ CP150 スタンド組立て方

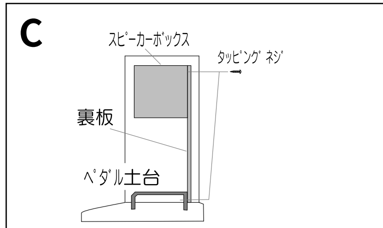
■パーツ（同梱品）

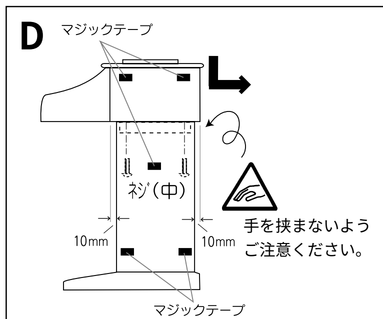
①側板 / 妻土台 .... 2（左右）
②ペダル土台 1
③裏板 1
④スピーカーボックス 1
⑤スピーカーカバー 1
⑥親板 .... 2（左右）
⑦ネジ 12
⑧タッピングネジ 8
⑨アジャスター 1
⑩コードクランプ 2

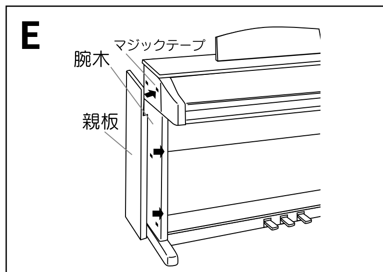


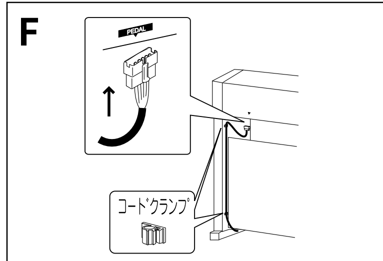


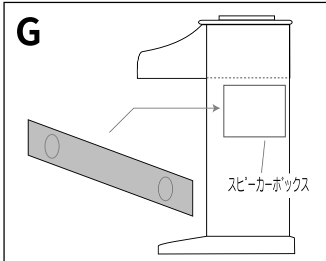


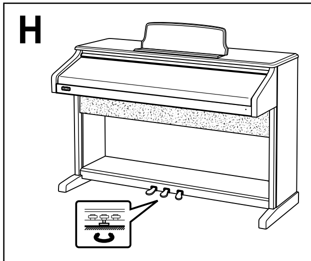












■組み立て順序

1.ペダル土台の裏側からアジャスター（高さ調整ネジ）を1cmぐらいはめこみます。また、ペダル土台に結ばれているペダル接続コードをほどいて、ペダル接続コードを引き出しておいてください。

2.側板/妻土台とペダル土台を4本のネジで固定します。この時、側板/妻土台とペダル土台を密着させて取り付けください。側板と妻土台は、左右あるので組み合わせに注意してください。

3.裏板を側板の間にはめ込みます。裏板には上下向きがあります。黒塗装面を上にしてください。ネジで裏板を固定する前にスピーカーボックスを取付けます。

4.側板に付いている上下2つの金具の間に滑りこませる様に入れ下の金具の下から4本のネジで固定します。

5.スピーカーボックスをネジで固定した後、裏板をタッピングネジで固定します。まずタッピングネジ4本で上部のスピーカーボックスと固定した後、タッピングネジ4本で下部のペダル土台と固定します。

6.本体をスタンドに静かに載せます。真上から見て、本体の後ろに金具の穴が見えるくらい本体の前方に載せます。
スタンドを固定して、本体が傾いて落ちないように一方の手で前部を支えながら本体を後ろにスライドさせると、本体のフックが側板の金具に引っかかります。この時、本体の後ろを支持している手を、側板と本体の間ではさまないように注意してください。

7.本体とスタンドを4本のネジで固定します。
まず、ネジを軽く締めて、4本のネジがすべてまっすぐ入るように本体の位置を調整してから、きちんとネジを締めるようにしてください。



必ず本体とスタンドをネジで固定すること。
固定しないと、本体がスタンドから落ち、大変危険です。

8.親板を側板に密着するようにはめこみます。親板と腕木の側面に「L」「R」のスタンプが押してあります。親板「L」は腕木「L」の側板へ、親板「R」は腕木「R」の側板へはめこみます。親板と側板には、マジックテープが片面5箇所貼ってあり、取付けることができます。この時表面からマジックテープがあるあたりを強く押してよく張り付けてください。

9.ペダル土台から出ているペダル接続コードを端子の突起部を手前にして本体のペダル端子に差し込み、コードクランプでとめます。（コードクランプは、コードが適当な位置になるような場所に裏面のシールを剥がして取り付けてください。）同様にスピーカーボックスから出ている接続コードもスピーカーボックス端子に差し込んでください。

10.スピーカーカバーをスピーカーボックスの上より取付けます。マジックテープが付いており強く押し付けると取付けが完了します。

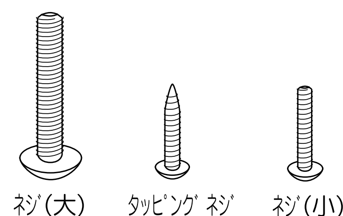
11.ペダル土台の裏にはめたアジャスターを、床にピッタリ付くまで回してペダル土台を補強します。

◆ CP130 スタンド組立て方

A

■パーツ（同梱品）

①側板 / 妻土台 .... 2（左右）
②ペダル土台 1
③裏板 1
④ネジ（大）... 8
⑤ネジ（小）... 4
⑥タッピングネジ 4
⑦アジャスター 1
⑧コードクランプ 2



B

■組み立て順序

1.ペダル土台の裏側からアジャスター（高さ調整ネジ）を1cmぐらいはめこみます。また、ペダル土台に結ばれているペダル接続コードをほどいて、ペダル接続コードを引き出しておいてください。

2.側板/妻土台とペダル土台を4本のネジで固定します。この時、側板/妻土台とペダル土台を密着させて取り付けください。側板と妻土台は、左右あるので組み合わせに注意してください。

3.裏板を側板の間にはめ込みます。裏板には上下向きがあります。黒塗装面を上にしてください。

C

4.裏板は、ネジ（小）4本とタッピングネジ4本で固定します。まずネジ（小）4本で側板上部の金具と固定した後、タッピングネジ4本で下部のペダル土台と固定します。

D

5.本体をスタンドに静かに載せます。真上から見て、本体の後ろに金具の穴が見えるくらい本体の前方に載せます。
スタンドを固定して、本体が傾いて落ちないように一方の手で前部を支えながら本体を後ろにスライドさせると、本体のフックが側板の金具に引っかかります。この時、本体の後ろを支持している手を、側板と本体の間ではさまないように注意してください。

6.本体とスタンドを4本のネジ（大）で固定します。
まず、軽く締めて、4本のネジがすべてまっすぐ入るように本体の位置を調整してから、きちんとネジを締めてください。



必ず本体とスタンドをネジで固定すること。
固定しないと、本体がスタンドから落ち、大変危険です。

E

7.ペダル土台から出ているペダル接続コードを端子の突起部を手前にして本体のペダル端子に差し込み、コードクランプでとめます。（コードクランプは、コードが適当な位置になるような場所に裏面のシールを剥がして取り付けてください。

F

8.ペダル土台の裏にはめたアジャスターを、床にピッタリ付くまで回してペダル土台を補強します。

Exclusive Data Structure

1	F0	Start code
2	40	Kawai's ID number
3	00-0F,7F	MIDI channel(7F:Multi)
4	10	Function code
5	00	Group code.00 indicates an electronic instrument. 04 indicates an electronic piano.
6	42	Machine code. 42 indicates the SP-10. 04 indicates the CP Series Piano.
7	Command MSB	See the following table. mmH
8	Command LSB	See the following table. llH
9	Date	See the following table. vvH
10	F7	End code

Exclusive Data - Receiving

System Parameter MIDI channel.=7FH,Group code=00H,Machine code=42H

MSB	LSB	DATA			
00H	7FH	01H	System reset		
00H	00H	v0H-v3H	Master tuning	(v0H,v1H,v2H,v3H=nibbled 4bit data) vv:0018H-0400H-07E8H(-100-0-+100cents)	default=0400H
00H	04H	vvH	Master volume	vv:00H-7FH	default=7FH
00H	05H	vvH	Master coarse tuning	vv:28H-58FH(-24-0-+24 semitones)	default=40H
00H	06H	vvH	Master panpot	vv:00H-40H-7FH(L64-0-R63)	default=40H

Reverb & Chorus Parameter MIDI channel.=7FH,Group code=00H,Machine code=42H

01H	30H	vvH	Reverb macro	v0:Room2,v1:Room1,v2:Stage2,v3:	default=04H
01H	38H	vvH	Chorus macro	v0:Chorus1,v1:Chorus2,v2:Chorus3,	default=02H
01H	3FH	vvH	Chorus send to reverb	vv:00H-7FH(0-100%)	default=00H

Part ParameterMIDI channel.=0H-FH,Grroup code=00H,Machine code=42H

10H	15H	vvH	Drum part on/off vv:0,1(off,on)		default=00H,(10ch:01H)
10H	1FH	vvH	Universal Control change number	vv:00H-5FH(0-95)	default=10H
10H	40H	v0H-vBH	Scale tuning	v0:C,v1:C#,v2:D,v3:D#,v4:E,v5:F,v6:F#,v7:G,v8:G#,v9:A,vA:A#,vB:B 00H-40H-7FH(-64-0-+64 cents)	default=40H
20H	00H	vvH	Modulation/Pitch	vv:28H-40H-4CH(-24-0-+12semito)	default=40H
20H	01H	vvH	Modulation/Filter cutoff	vv:00H-40H-7FH(-64-0-+64)	default=40H
20H	02H	vvH	Modulation/DCA level	vv:00H-40H-7FH(-100-0-+100%)	default=40H
20H	03H	vvH	Modulation/LFO speed	vv:00H-40H-7FH(-64-0-+64)	default=40H
20H	04H	vvH	Modulation/Vibrato depth	vv:00H-40H-7FH(0-127)	default=0AH
20H	05H	vvH	Modulation/Growl depth	vv:00H-40H-7FH(0-127)	default=00H
20H	06H	vvH	Modulation/Tremolo depth	vv:00H-40H-7FH(0-127)	default=00H
20H	10H	vvH	Bender/Pitch	vv:28H-40H-4CH(-24-0-+12semito)	default=42H
20H	11H	vvH	Bender/Filter cutoff	vv:00H-40H-7FH(-64-0-+64)	default=40H
20H	12H	vvH	Bender/DCA level	vv:00H-40H-7FH(-100-0-+100%)	default=40H
20H	13H	vvH	Bender/LFO speed	vv:00H-40H-7FH(-64-0-+64)	default=40H
20H	14H	vvH	Bender/Vibrato depth	vv:00H-40H-7FH(0-127)	default=00H
20H	15H	vvH	Bender/Growl depth	vv:00H-40H-7FH(0-127)	default=00H
20H	16H	vvH	Bender/Tremolo depth	vv:00H-40H-7FH(0-127)	default=00H
20H	20H	vvH	Channel Pressure/Pitch	vv:28H-40H-4CH(-24-0-+12semito)	default=40H
20H	21H	vvH	Channel Pressure/Filter cutoff	vv:00H-40H-7FH(-64-0-+64)	default=40H
20H	22H	vvH	Channel Pressure/DCA level	vv:00H-40H-7FH(-100-0-+100%)	default=40H
20H	23H	vvH	Channel Pressure/LFO speed	vv:00H-40H-7FH(-64-0-+64)	default=40H
20H	24H	vvH	Channel Pressure/Vibrato depth	vv:00H-40H-7FH(0-127)	default=00H
20H	25H	vvH	Channel Pressure/Growl depth	vv:00H-40H-7FH(0-127)	default=00H
20H	26H	vvH	Channel Pressure/Tremolo depth	vv:00H-40H-7FH(0-127)	default=00H
20H	40H	vvH	Universal control/Pitch	vv:28H-40H-4CH(-24-0-+12semito)	default=40H
20H	41H	vvH	Universal control/Filter cutoff	vv:00H-40H-7FH(-64-0-+64)	default=40H
20H	42H	vvH	Universal control/DCA level	vv:00H-40H-7FH(-100-0-+100%)	default=40H
20H	43H	vvH	Universal control/LFO speed	vv:00H-40H-7FH(-64-0-+64)	default=40H
20H	44H	vvH	Universal control/Vibrato depth	vv:00H-40H-7FH(0-127)	default=00H
20H	45H	vvH	Universal control/Growl depth	vv:00H-40H-7FH(0-127)	default=00H
20H	46H	vvH	Universal control/Tremolo depth	vv:00H-40H-7FH(0-127)	default=00H

Effects MIDI channel.=7FH,Group code=04H,Machine code=04H

10H	00H	vvH	Effect type(Parameter1,2.Default=2)
10H	01H	vvH	Parameter1
10H	02H	vvH	Parameter2
10H	03H	mmH,llH	Effect on/off for MIDI Channel. mm:0-Fch,ll:1=on,0=off GM Reset turns all channels off
10H	04H	vvH	Effect exclusive part. vv=0:Solo,1:Right1,2:Right2,3:Left
10H	05H	vvH	Effect send to Reverb vv:0-7F(0-100%)
10H	06H	vvH	Effect send to Chorus vv:0-7F(0-100%)

Exclusive Data-Transmitting

```
Reverb & Chorus Parameter MIDI channel.=7FH,Group code=00H,Machine code=42H
        01H     30H     vvH             Reverb macro(Reverb in the Mixer)
        01H     38H     vvH             Chorus macro(Chorus Select)

Part Parameter           MIDI channel.=0H-7FH,Group code=00H,Machine code=42H
        10H     15H     vvH             Drum part setting (Sound Select)

Effects                 MIDI channel.=7FH,Group code=04H,Machine code=04H
        10H     00H     vvH             Effect type(Effect Select)
        10H     01H     vvH             Parameter1(Effect Select)
        10H     02H     vvH             Parameter1(Effect Select)
        10H     03H     ppH,vvH         Effect on/off(Effect Select)
```

Universal Exclusive-Receiving

```
Non-real-time
        GM reset

Real-time
        Master volume
        Master fine tuning
        Master coarse tuning
```

Universal Exclusive-Transmitting

```
Real-time
        Master volume
```

Additional Control Change-Receiving

```
RPN MSB/LSB
        00/00   Pitchbend sensitivity
        00/01   Fine tuning
        00/02   Coarse tuning
        7F/7F   RPN null

NRPN MSB/LSB
        01/08   Vibrato rate                        value=-50-0-+50(0×0e-0×40-0×72)
        01/09   Vibrato depth                       value=-50-0-+50(0×0e-0×40-0×72)
        01/0A   Vibrato delay                       value=-50-0-+50(0×0e-0×40-0×72)
        01/20   Brightness(Filter cutoff)           value=-50-0-+50(0×0e-0×40-0×72)
        01/21   Harmonic content(Filter resonance   (0×0e-0×4a)
        01/63   Attack time                         value=-50-0-+50(0×0e-0×40-0×72)
        01/64   Decaly time                         value=-50-0-+50(0×0e-0×40-0×72)
        01/66   Release time                        value=-50-0-+50(0×0e-0×40-0×72)

        18/kk   Coarse tuning for individual key    value=0×00-0×7f,kk=note number
        1A/kk   Level for individual key            value=0×00-0×7f,kk=note number
        1C/kk   Panpot for individual key           value=0×00-0×7f,kk=note number
        1D/kk   Reverb send for individual key      value=0×00-0×7f,kk=note number
        1E/kk   Chorus send for individual key      value=0×00-0×7f,kk=note number
```

Additional Control Change-Transmitting

```
RPN MSB/LSB
        00/00   Pitchbend sensitivity(Glide pedal)

NRPN MSB/LSB
        01/08   Vibrato rate(Modulation pedal)
```

KAWAI［Model CP150 /130］

MIDI インプリメンテーションチャート

Date : Jan '99
Version : 1. 0

ファンクション		送 信*	受 信	備 考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1** 1～16,** Off	1～16 ×	**Accompaniment 9,10,11～16
モード	電源ON時 メッセージ 代用	3 × *********	3 3,4（M=1） *********	
ノート ナンバー	音域	0～127 *********	0～127 0～127	
ベロシティ	ノート．オン ノート．オフ	○ 9nH v=1～127 × 9nH v=1	○ × 8nH,9nH v=0	
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	× ×*	× ○	
ピッチ．ベンド		○	○	
コントロール チェンジ	0，32	○	○	バンクセレクト
	1	○	○	モジュレーション
	5	×	○	ポルタメントタイム
	6，38	○	○	データエントリー
	7	○	○	ボリューム
	10	○	○	パンポット
	11	×	○	エクスプレッション
	64	○	○	ホールド1
	65	×	○	ポルタメント
	66	○	○	ソステヌート
	67	○	○	ソフト
	69	○	○	ホールド2
	84	×	○	ポルタメント コントロール
	91	○	○	リバーブ センド レベル
	93	○	○	コーラス センド レベル
	98，99	○	○	NRPN LSB/MSB
	100，101	○	○	RPN LSB/MSB
プログラムチェンジ 設定可能範囲		○ *********	○ 0～127***	*** Number 1～128
エクスクルーシブ		○	○	
コモン	ソングポジション ソングセレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアル タイム	クロック コマンド	○ ○	○ ○	
その他	オールサウンドオフ リセットオールコントローラー ローカル オンオフ オールノートオフ アクティブセンシング リセット	× × ○ ○ ×	○ ○ ○ ○ ×	
備 考		＊レコーダー機能では、この内容は準じません。 モード1：オムニオン、ポリ　モード2：オムニオン、モノ　○：Yes モード3：オムニオフ、ポリ　モード4：オムニオフ、モノ　×：No		

主な仕様

	【CP150】	【CP130】
◆ 鍵盤	・88鍵（木製、AWAグランド鍵盤スーパー）	・88鍵（アドバンストハンマーアクション鍵盤）
◆ 音色	・295音色（ユーザー：20音色）	
◆ 同時発音数	・最大128音	・最大64音
◆ エフェクト	・リバーブ［ﾎｰﾙ1，ﾎｰﾙ2，ｽﾃｰｼﾞ1，ｽﾃｰｼﾞ2，ﾙｰﾑ1，ﾙｰﾑ2，ﾌﾟﾚｰﾄ］（7種類）	
	・エフェクト［ｺｰﾗｽ，ﾌﾗﾝｼﾞｬｰ1/2，ｱﾝｻﾝﾌﾞﾙ，ｾﾚｽﾀ，ﾃﾞｨﾚｲ1/2/3，ｵｰﾄﾊﾟﾝ，ﾄﾚﾓﾛ，ﾄﾚﾐｭﾗﾝﾄ，ﾌｪｰｻﾞｰ1/2，ﾛｰﾀﾘｰ1/2/3，ｵｰﾄﾜｳ，ｴﾝﾊﾝｻｰ，ﾃﾞｨｽﾄｰｼｮﾝ］（19種類）	
	・コーラス1/2/3/4（4種類）	
	・3D	
◆ スタイル	・128パターン×4バリエーション（ユーザー：20/ユーザーコンダクター：40）	
◆ デモ曲	・メインデモ：1曲　・サウンドデモ：15曲　・スタイルデモ：14曲	
◆ コンサートマジック	・110曲	
◆ ソングスタイリスト	・400曲	
◆ レジストレーション	・レジストレーション：80	
◆ ディスプレイ	・320ドット×240ドット　（バックライト付き）	
◆ 音律	・平均律（2）・純正律・ピタゴラス音律・中全音律・ヴェルクマイスター第III法	
	・キルンベルガー第III法・アラビック1/2・ユーザー	
◆ レコーダー	・16トラック	
◆ メトロノーム	・1/4・2/4・3/4・4/4・5/4・6/8・7/8・9/8・12/8拍子	
◆ ペダル	・ダンパー（CP150のみハーフペダル可能）・*ソフト・*ソステヌート（*他の機能の設定可能）	
◆ ディスク	・フロッピーディスク　（3.5インチ2DD/2HD）	
◆ 接続端子	・ヘッドホン端子（ステレオ標準ジャック）×2	
	・MIDI端子：IN,OUT,THRU	
	・シリアルインターフェース	
	・ラインアウト端子：L/MONO,R（標準ジャック）	
	・ラインイン端子：L/R（ピンジャック）	
	・マイク端子（標準ジャック）	
◆ 出力	・ 40W×2	・30W×2
◆ スピーカー	・ 16cm×2 / ドームツィーター×2	・16cm×2
◆ 電源	・AC100V（50/60Hz）	
◆ 消費電力	・ 80W	・ 60W
◆ 寸法/重量	・1,408(W)×615(D)×941(H)（mm） セットアップ時/　101（Kg）	・1,386(W)×615(D)×938(H)（mm） セットアップ時/　78（Kg）
◆ 付属品	・電源コード・日本語パネルシート・スタイルコンバートディスク・取扱説明書	
	・専用高低自在椅子（WB-30）	・専用椅子（WB-11D）

（網掛け）の箇所は、CP150とCP130との共通仕様です。

【索　引】

KAWAI

株式会社河合楽器製作所

電子楽器事業本部

〒430-8665　浜松市寺島町200番地

TEL.<053>457-1277 / FAX.<053>457-1279

http://www.kawai.co.jp

9902S

Printed in Japan